

2023 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関する
アンケート調査
【調査結果報告書】

2024 年 6 月

西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査」については、本文中「就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査」と略称表記（以下同様）

目次

第1章 卒業生アンケート	1
1. 調査の概要	1
【調査結果の見方】	1
2. 調査結果	2
〔1〕 回答者について	2
〔2〕 現在の仕事について	3
〔3〕 転職の状況について	12
〔4〕 未就業の状況について	16
〔5〕 仕事についての感想（自由意見）	19
〔6〕 大学・短大で受けた教育について	25
① 達成度と必要性（全体）	25
② 達成度と必要性（学科別）	27
③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）	31
④ 仕事をする上で重要だと思う事	37
〔7〕 大学時代で有意義だった授業	39
〔8〕 更にあればよかった授業の具体案	45
〔9〕 大学の講義以外で希望する支援・経験	49
〔10〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	53
3. 調査結果のまとめ	57
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート	61
1. 調査の概要	61
【調査結果の見方】	61
2. 調査結果	62
〔1〕 回答者について	62
〔2〕 仕事に必要な能力	63
① 必要性和達成度（全体）	63
② 必要性和達成度（学科別）	65
③ 採用の際に重要視する能力	69
〔3〕 事業所の概要	71
〔4〕 学生に希望する資格や検定	74
〔5〕 大学生の人間形成に必要な支援	76
〔6〕 採用について	78
〔7〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	83
3. 調査結果のまとめ	87
第3章 調査票	89

第1章 卒業生アンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2021年3月卒業生
調査方法	郵送配布・回収、Web、FAX回収
回収数	182人
調査時期	2023年12月11日～2024年3月13日
回収率	下表の通り

	依頼卒業生数	回答人数			回収率
		合計	郵送	Web	
看護学科	110	48	6	42	43.6%(31.1%)
福祉学科	81	32	6	26	39.5%(34.8%)
栄養学科	68	22	4	18	32.3%(26.7%)
英語学科	45	18	3	15	40.0%(47.5%)
観光文化学科	55	27	2	25	49.1%(42.0%)
助産別科	16	7	1	6	43.8%(25.0%)
全体	375	154	22	132	41.1%(33.7%)

()内は前年度回収率

	依頼卒業生数	回答人数			回収率
		合計	郵送	Web	
保育科	74	28	7	21	37.8%(22.4%)
全体	74	28	7	21	37.8%(22.4%)

()内は前年度回収率

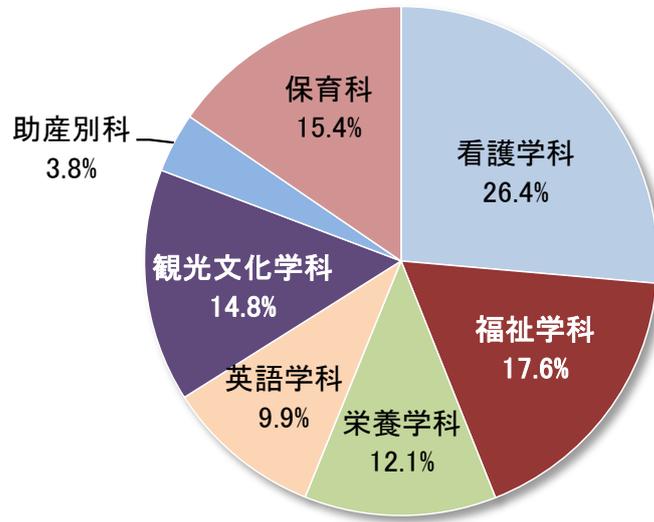
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。なお、調査票は大学・短期大学部ともに同様の調査票を使用しているため、大学用の調査票を添付するものとし、短期大学部用の調査票の添付は省略する。

2. 調査結果

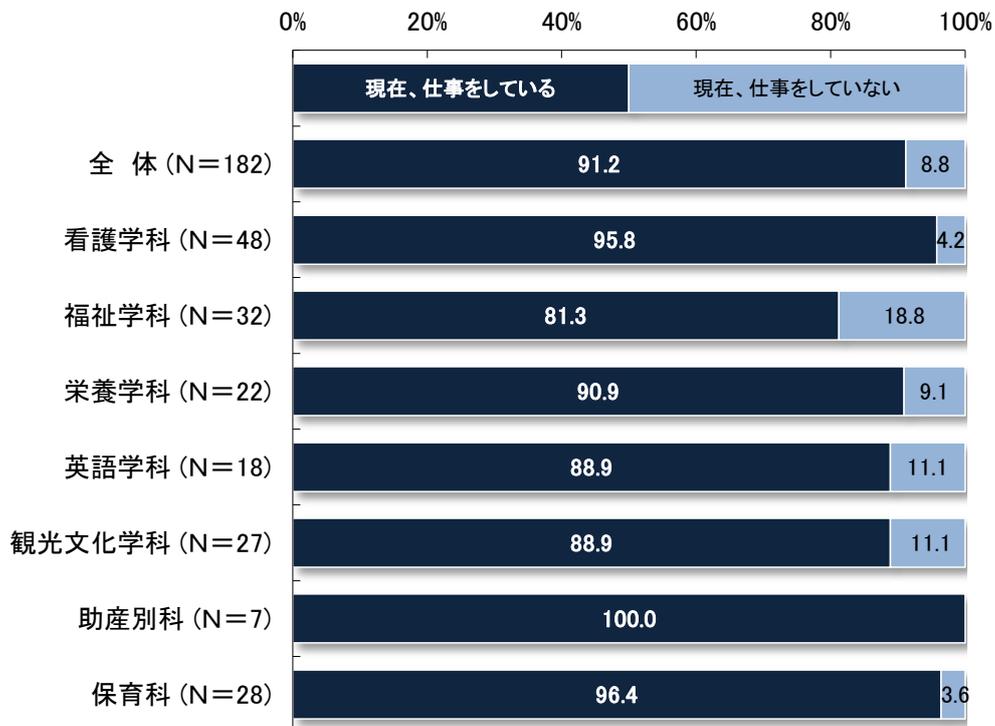
〔1〕 回答者について

【卒業した学科】



全体(N=182)

【現在の状況】



〔2〕現在の仕事について

問 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

現在の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(33.1%)が最も多く、次いで「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(10.2%)、「幼稚園」(10.2%)となっている。

学科別にみると、看護学科、栄養学科、助産別科は「一般病院」(看護学科：80.4%、栄養学科：40.0%、助産別科：100.0%)、福祉学科、英語学科は「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(福祉学科：23.1%、英語学科：18.8%)、観光文化学科は「サービス業」(29.2%)、保育科は「幼稚園」(59.3%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先の主たる業種が異なることがうかがえる。



第1章 卒業生アンケート

【学科別 業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	一般病院	教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校・専門学校等)	幼稚園	サービス業	保育園	情報通信業	児童施設	公務	金融・保険業	卸売・小売業	障がい児・者施設
全体	166	33.1	10.2	10.2	7.2	6.0	4.2	3.6	3.6	3.0	2.4	2.4
看護学科	46	80.4	8.7	-	-	2.2	-	-	4.3	-	-	-
福祉学科	26	11.5	23.1	3.8	3.8	3.8	-	15.4	3.8	-	-	15.4
栄養学科	20	40.0	10.0	-	-	20.0	5.0	-	5.0	-	5.0	-
英語学科	16	-	18.8	-	18.8	-	6.3	-	-	12.5	6.3	-
観光文化学科	24	-	-	-	29.2	-	20.8	-	8.3	12.5	8.3	-
助産別科	7	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	27	-	7.4	59.3	3.7	14.8	-	7.4	-	-	-	-

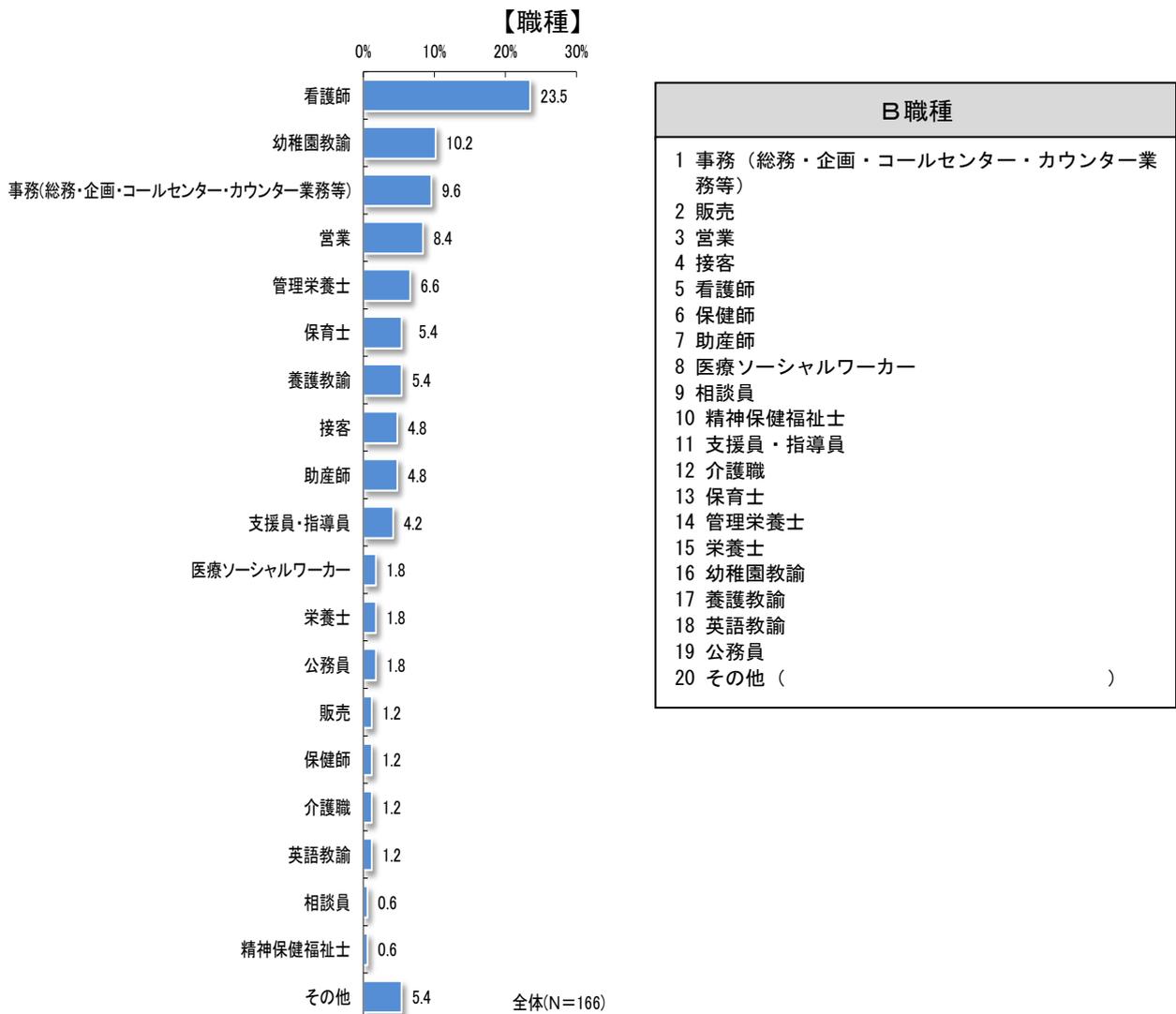
【学科別 業種 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	運輸業	クリニック	建設業	宿泊業	高齢者施設	農業	製造業	不動産業、 物品賃貸業	飲食業	精神科病院	その他
全体	166	1.8	1.8	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	3.6
看護学科	46	-	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2
福祉学科	26	-	3.8	-	-	3.8	-	3.8	-	-	3.8	3.8
栄養学科	20	5.0	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0
英語学科	16	-	-	12.5	6.3	6.3	-	-	-	-	-	12.5
観光文化学科	24	-	-	-	4.2	-	4.2	-	4.2	4.2	-	4.2
助産別科	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	27	7.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在の勤務先で携わっている主たる職種は、大学全体では「看護師」(23.5%)が最も多く、次いで「幼稚園教諭」(10.2%)、「事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)」(9.6%)、「営業」(8.4%)となっている。

学科別にみると、看護学科は「看護師」(84.8%)、福祉学科は「支援員・指導員」(23.1%)や「養護教諭」(19.2%)、栄養学科は「管理栄養士」(55.0%)、英語学科、観光文化学科は「営業」(英語学科：31.3%、観光文化学科：29.2%)、助産別科は「助産師」(100.0%)、保育科は「幼稚園教諭」(59.3%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先で携わっている主たる職種が異なることがうかがえる。



B 職種	
1	事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)
2	販売
3	営業
4	接客
5	看護師
6	保健師
7	助産師
8	医療ソーシャルワーカー
9	相談員
10	精神保健福祉士
11	支援員・指導員
12	介護職
13	保育士
14	管理栄養士
15	栄養士
16	幼稚園教諭
17	養護教諭
18	英語教諭
19	公務員
20	その他 ()

※回答のなかった項目は省略

【学科別 職種 (1/2)】 (%)

	全 体	看護師	幼稚園教諭	事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）	営業	管理栄養士	保育士	養護教諭	接客	助産師	支援員・指導員
全体	166	23.5	10.2	9.6	8.4	6.6	5.4	5.4	4.8	4.8	4.2
看護学科	46	84.8	-	-	-	-	-	8.7	-	2.2	-
福祉学科	26	-	3.8	11.5	3.8	-	11.5	19.2	-	-	23.1
栄養学科	20	-	-	10.0	5.0	55.0	-	-	-	-	-
英語学科	16	-	-	18.8	31.3	-	-	-	12.5	-	-
観光文化学科	24	-	-	25.0	29.2	-	-	-	20.8	-	-
助産別科	7	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
保育科	27	-	59.3	7.4	-	-	22.2	-	3.7	-	3.7

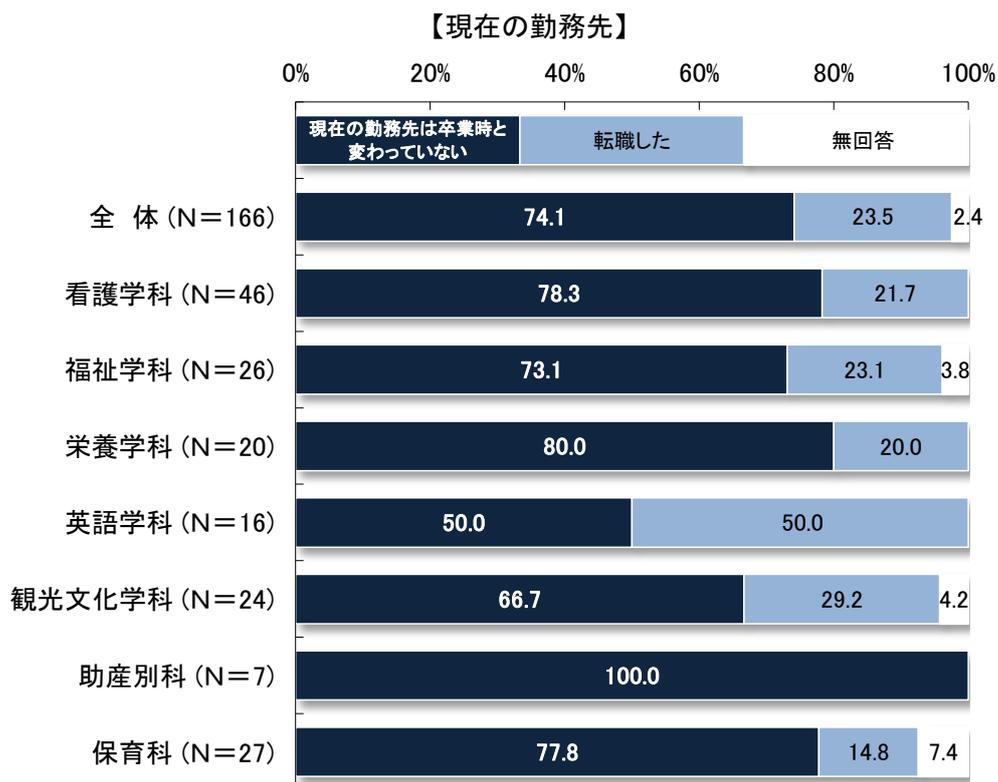
【学科別 職種 (2/2)】 (%)

	全 体	医療ソーシャルワーカー	栄養士	公務員	販売	保健師	介護職	英語教諭	相談員	精神保健福祉士	その他
全体	166	1.8	1.8	1.8	1.2	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	5.4
看護学科	46	-	-	-	-	4.3	-	-	-	-	-
福祉学科	26	11.5	-	-	-	-	3.8	-	3.8	3.8	3.8
栄養学科	20	-	15.0	5.0	-	-	-	5.0	-	-	5.0
英語学科	16	-	-	-	-	-	6.3	6.3	-	-	25.0
観光文化学科	24	-	-	4.2	8.3	-	-	-	-	-	12.5
助産別科	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	27	-	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先について○をつけてください。(1つ選択)

現在の勤務先は、大学全体では「現在の勤務先は卒業時と変わっていない」の割合が74.1%を占め、「転職した」とする人は23.5%となっている。

学科別に現在の勤務先をみると、少数の学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、英語学科(50.0%)、観光文化学科(29.2%)では「転職した」の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。



第1章 卒業生アンケート

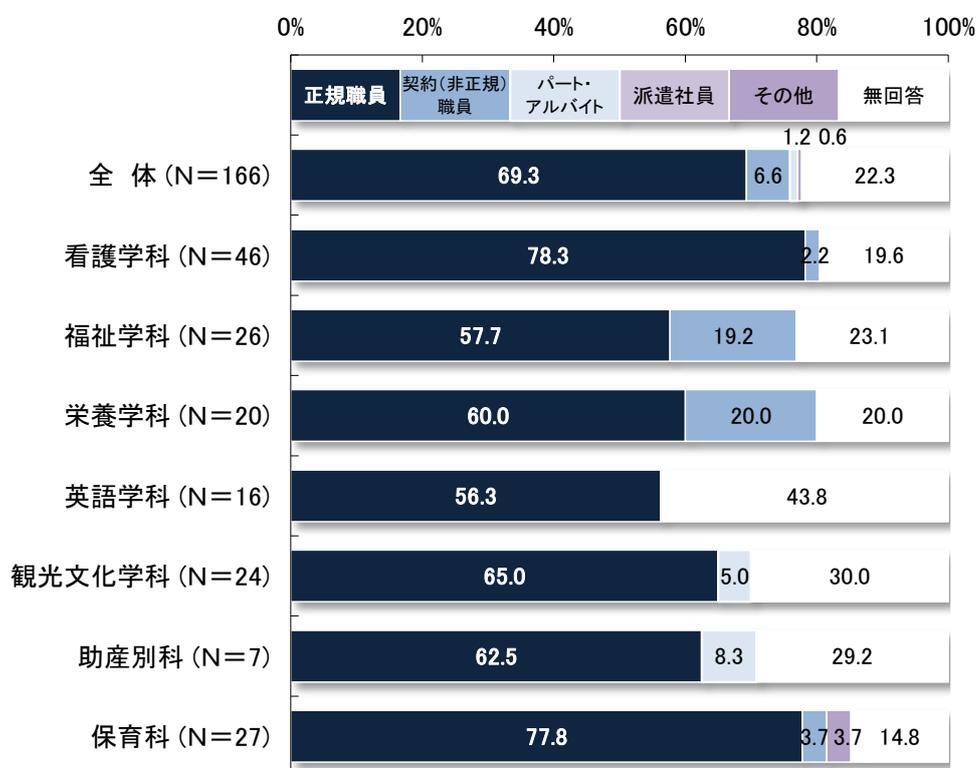
問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

卒業時の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が69.3%を占め、次いで「契約(非正規)職員」の割合が6.6%となっている。

学科別の卒業時の雇用形態をみると、「正規職員」の割合は、看護学科、保育学科で7割以上と高いのに対し、福祉学科、英語学科では5割程度となっており低い。

【卒業時の雇用形態】

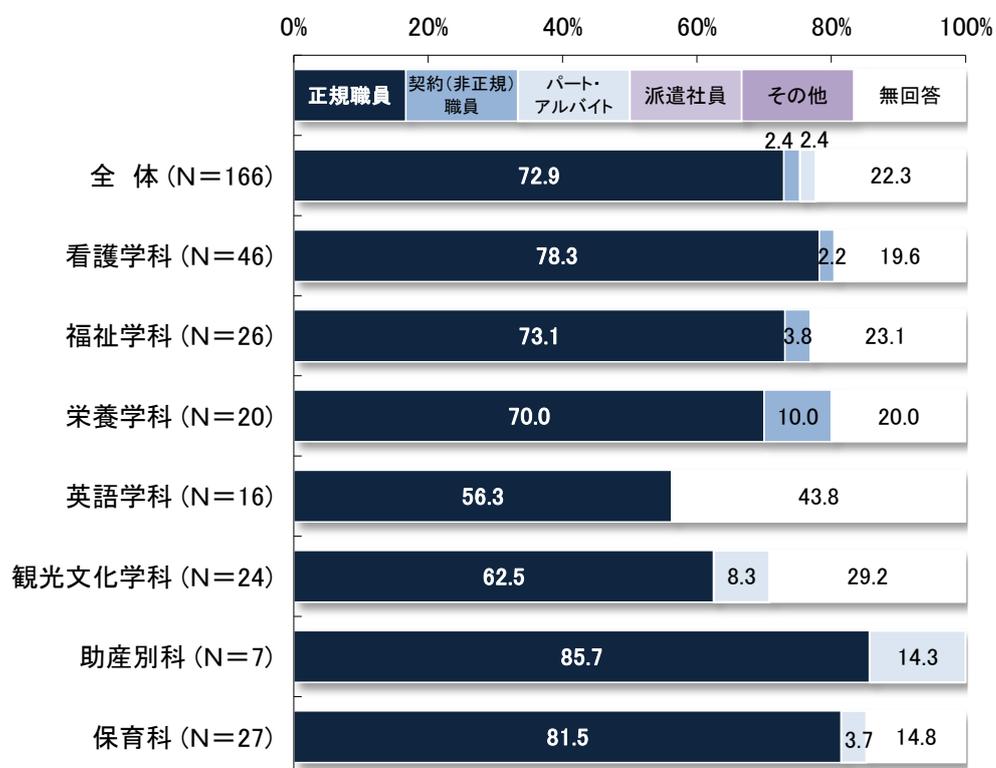


②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

現在の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が72.9%と卒業時よりも正規職員の割合が増え、「契約(非正規)職員」(2.4%)などの非正規雇用は減っている。

学科別の現在の雇用形態をみると、看護学科、英語学科では「正規職員」の割合は変わっていないが、福祉学科、栄養学科、助産別科、保育科は卒業時から高くなっている。

【現在の雇用形態】

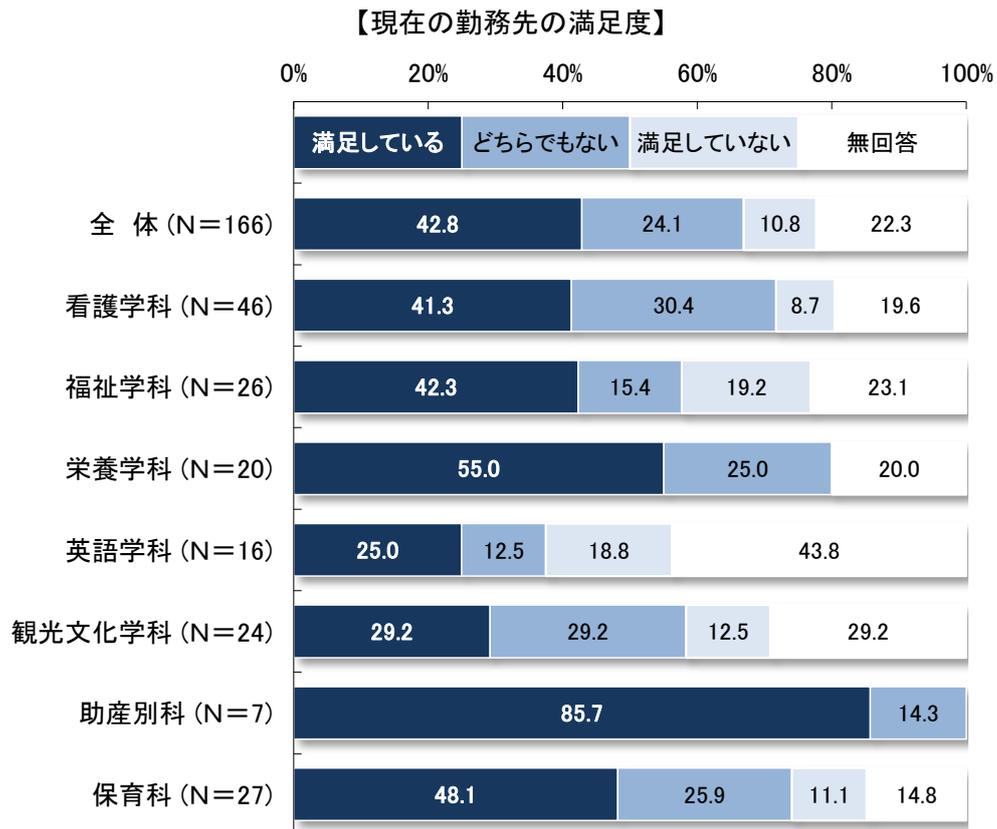


第1章 卒業生アンケート

問 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

現在の勤務先の満足度は、大学全体では「満足している」(42.8%)が最も多くなっている。

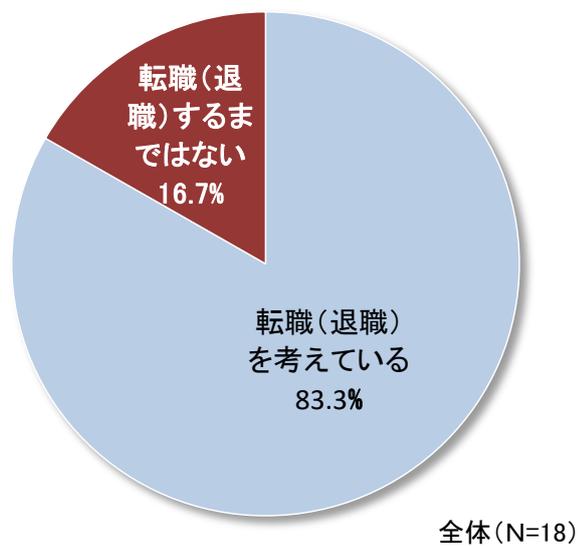
学科別に現在の勤務先の満足度をみると、英語学科、観光文化学科では「満足している」の割合が2~3割程となっており、他の学科より低い。



問 II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

「満足していない」と答えた人の転職（退職）希望は、大学全体で「転職（退職）を考えている」の割合が83.3%となっており、「転職（退職）するまではない」の割合は16.7%となっている。

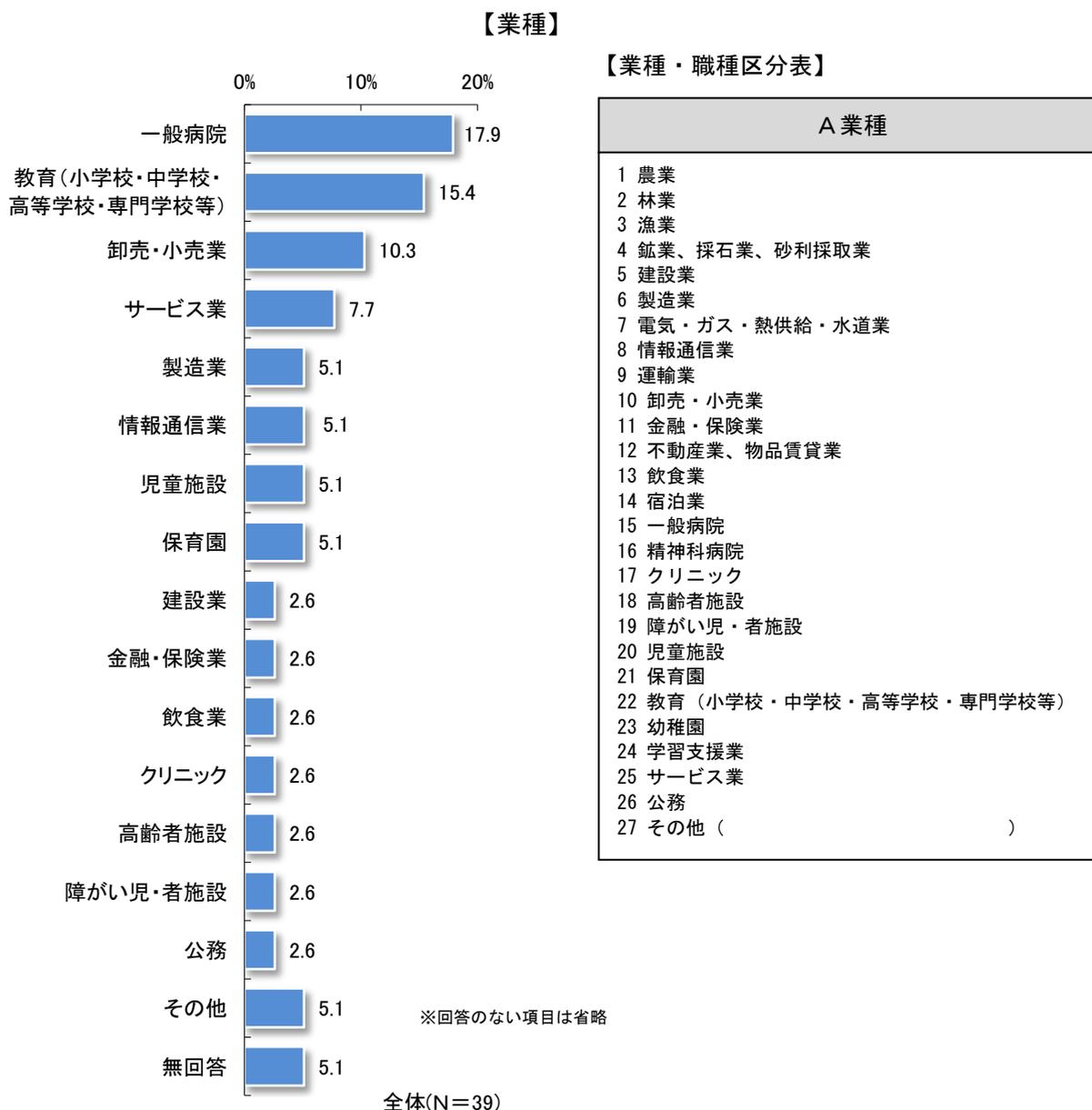
【転職希望】



〔3〕 転職の状況について

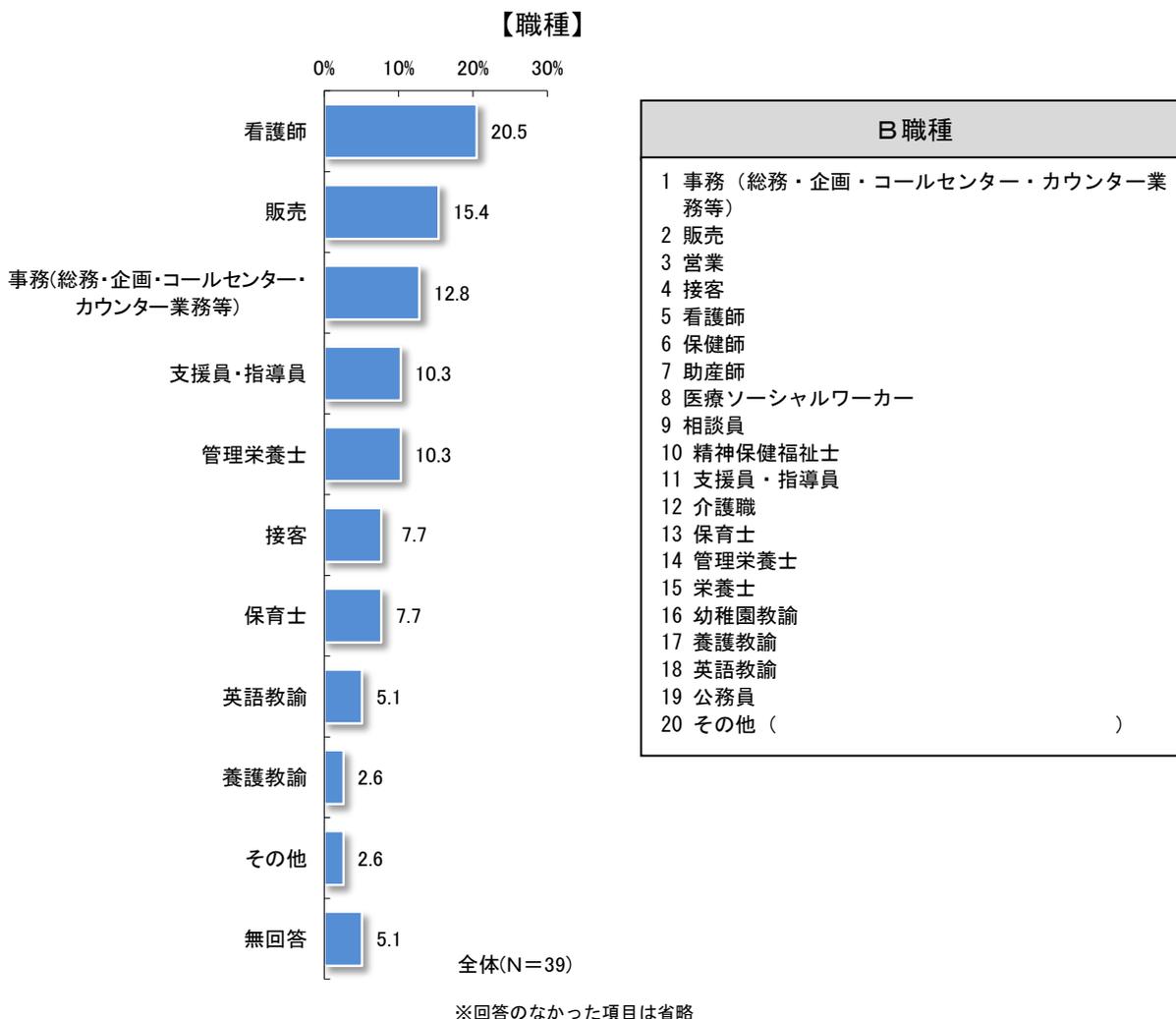
問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

転職した人の卒業時における勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(17.9%)が最も多く、次いで「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(15.4%)となっている。



問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、大学全体では「看護師」(20.5%)が最も多く、次いで「販売」(15.4%)となっている。

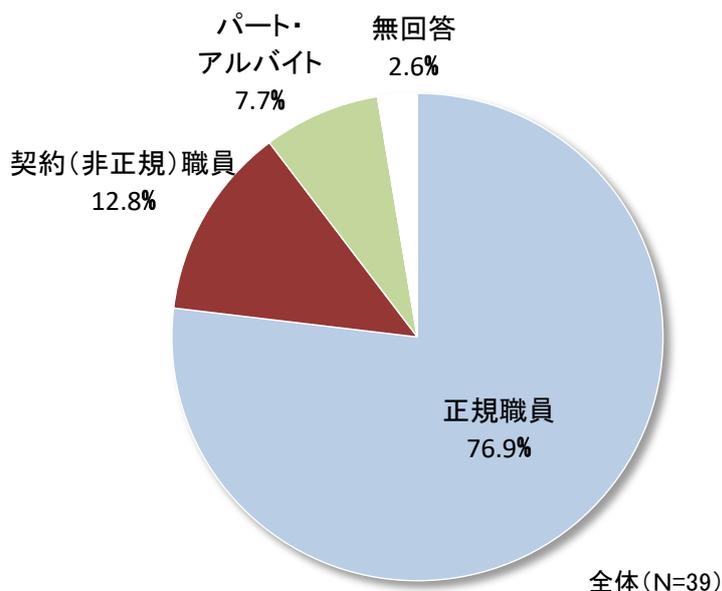


問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(76.9%)が最も多く、次いで「契約(非正規)職員」(12.8%)となっている。

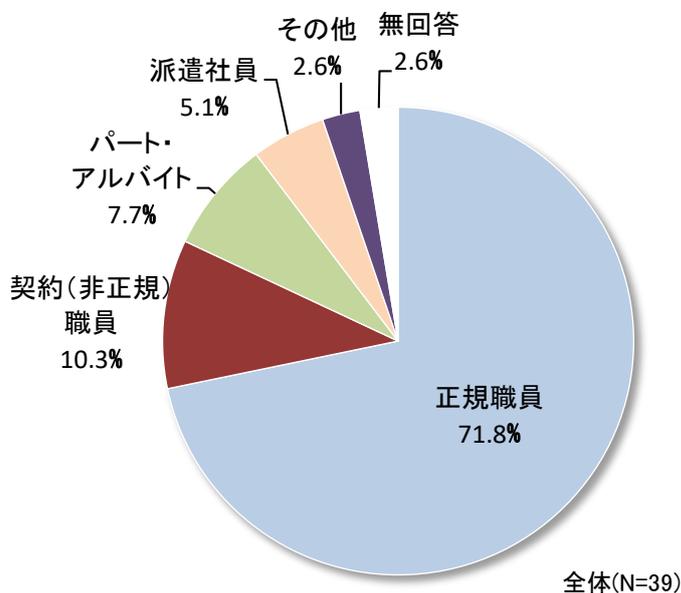
【卒業時の雇用形態】



②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の現在の雇用形態は、「正規職員」(71.8%)、「契約(非正規)職員」(10.3%)、「パート・アルバイト」(7.7%)、「派遣社員」(5.1%)となっており、卒業時よりも「正規職員」の割合は減り、「派遣社員」、「その他」の割合が増えている。

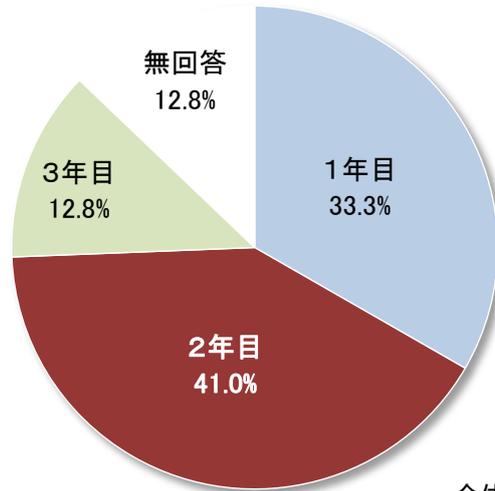
【現在の雇用形態】



問 転職された時期をご記入ください。

転職した時期は、入職後「2年目」(41.0%)が最も多く、次いで「1年目」(33.3%)、「3年目」(12.8%)となっている。

【転職した時期】

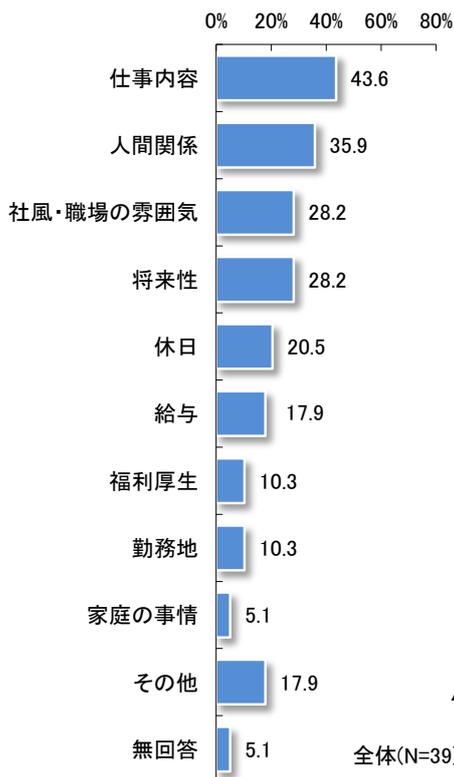


全体(N=39)

問 転職した理由に○をつけてください。

転職理由は、「仕事内容」(43.6%)が最も多く、次いで「人間関係」(35.9%)となっている。

【転職理由】



全体(N=39)

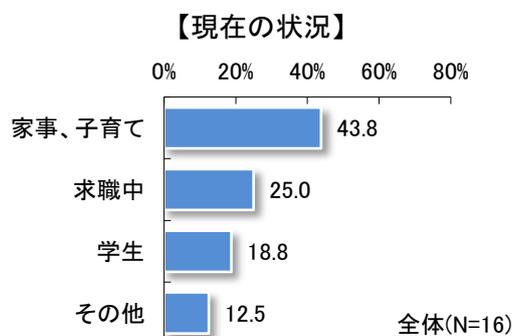
※回答のなかった項目は省略

学科	「その他」の内容
看護学科	結婚した
	自分の性格が病院という環境に合わなかった
	希望する職種に空きが出た為
福祉学科	引越す予定だった
英語学科	留学へ行く為
	恩師より何度も声をかけて頂いた為
保育科	給与未払い

〔4〕未就業の状況について

問 現在の状況に○をつけてください。

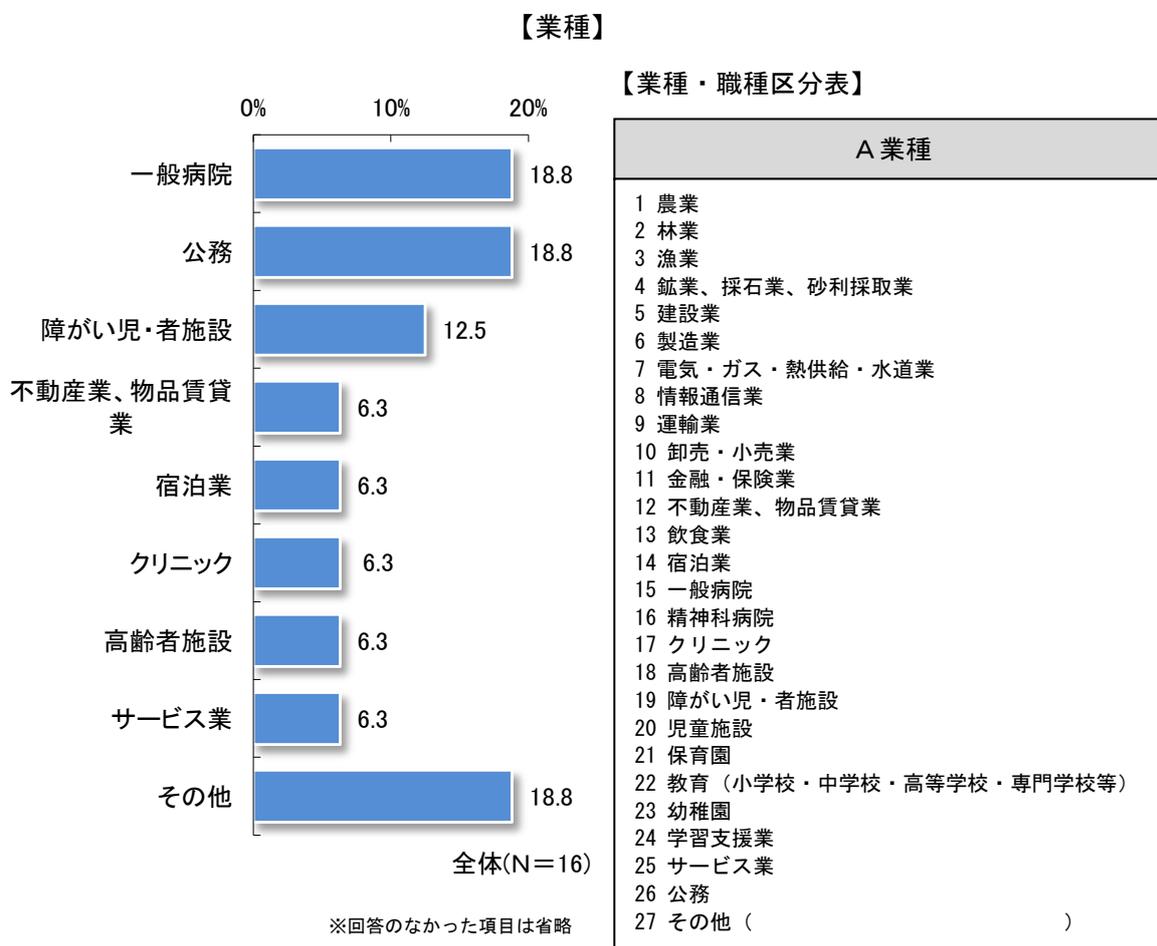
仕事をしていない人の現在の状況は、「家事、子育て」(43.8%)が最も多く、次いで「求職中」(25.0%)となっている。



※回答のなかった項目は省略

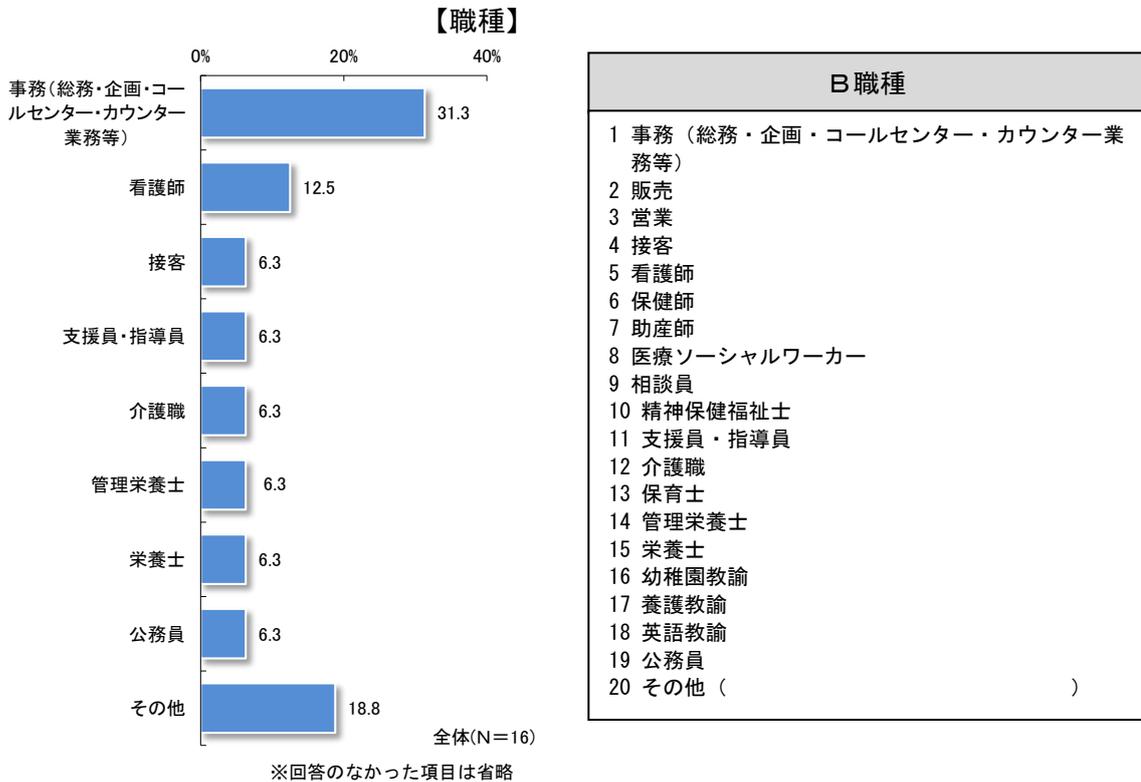
問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時における勤務先の主たる業種は、「一般病院」、「公務」(いずれも18.8%)が最も多く、次いで「障がい児・者施設」(12.5%)となっている。



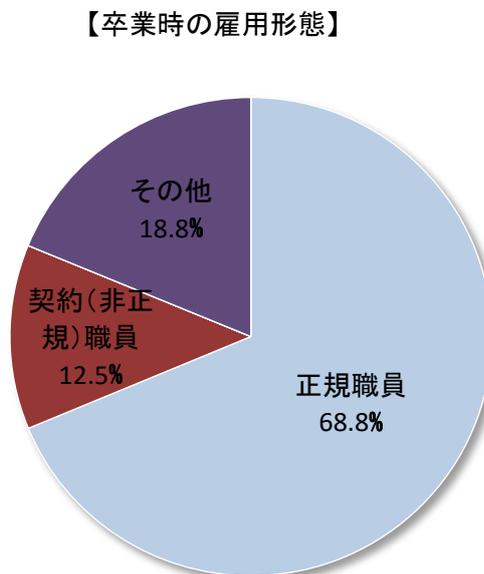
問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、「事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)」(31.3%)が最も多い。



問 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(68.8%)、「契約(非正規)職員」(12.5%)、「その他」(18.8%)である。

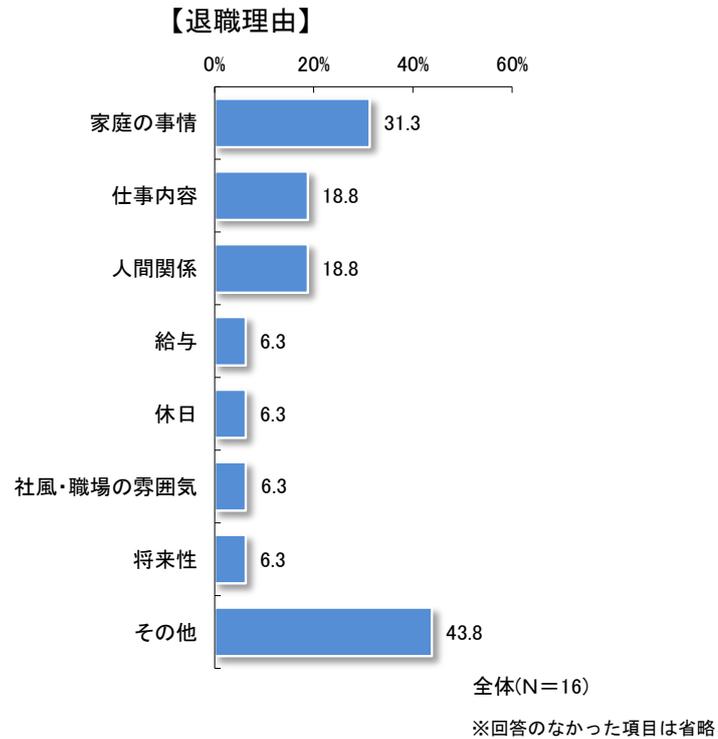


全体(N=16)

問 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

現在仕事をしていない人の退職した理由は、「家庭の事情」(31.3%)が最も多く、次いで「仕事内容」、「人間関係」(いずれも18.8%)である。

また、「その他」では結婚等の理由が挙げられている。



学科	「その他」の内容
栄養学科	結婚して移住したため
	結婚

〔5〕仕事についての感想（自由意見）

問 仕事をする中で感じたこと（苦勞したことや成長したことなど）をご記入ください。

仕事についての感想を自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【成長したことについて】

（回答者数：123人/182人[67.5%]）

学科	自由回答
看護学科	重症患者を診る機会も増え、アセスメント力はついてきたと思う。
	1年目は実習と現場のギャップ、多重課題や時間管理に苦勞しましたが3年で徐々に掴んでいき成長することができました。
	一年目はできないことばかりだったが、経験していく中で、できることも増えた。
	様々な年代の方と関わりを持つことで、視野が広がった。
	年数を重ねる度に出来ることが増え、カンファレンス等でも発言をすることができるようになった。
	急変や重症患者対応にも入職した時と比較し少しずつ慣れてきたことが成長したと感じる。
	手術室看護師として仕事をしています。業務が特殊のため仕事に慣れるまでは毎日勉強をしなければいけず大変でしたが、とてもやりがいのある仕事です。3年目となり今は難しい手術も担当させてもらえたり、医師に指示される前に器械を準備できるようになったり少しずつ成長できていると思います。
	優先順位が分かりタイムスケジュールを上手く組めるようになった。
	時間を見ながら周りの状況を見ながら動くことができるようになった。
	医師等とのコミュニケーションで苦勞することは日々あるが、上司にも相談しやすい環境であるため、概ね問題なく仕事を行うことができている。リーダー業務が始まって以前よりもできることが増えたり、後輩指導もすることで自分の視野が広がったと思う。
社会人としての自覚がついた。	
失敗しながらも実践を重ねるごとに、効率性を向上させることは年々成長している。	
福祉学科	在学中では関わったことの無い障がい者領域での仕事であったため利用者との関わり方が分からず苦勞した。3年目になり利用者との関わり方が少しずつ分かり利用者の気持ちを汲み取ることができたと思える時にやりがいを感じている。
	児童と関わる中で、年齢や状況に応じた声かけや、問題が起きた際の状況把握能力。年上の後輩職員への声かけや指示の仕方には苦勞したがその分成長もできた。上級指導員へ成長できている。
	医療的ケア児の対応や、命に関わる緊急時の対応。苦勞することも多いが、何事にも臨機応変に対応する力が身についた。
	客観的に物事を見れるようになった。
栄養学科	出来る業務が増えた時に成長を感じた。
	初めは1人で仕事を抱え込んでいたけどだんだん周りの先生方や調理員さんに頼って仕事ができるようになってきた事です。

栄養学科	人と関わる仕事なので、人間性はとても育つと思います。
英語学科	全くの未経験からのスタートであったので初めは学ぶことが多かったが、意欲的に取り組むことで多くのことを吸収できた。
観光文化学科	仕事に慣れるまで苦労しました。自分で仕事の調節をできるようになったときに成長したなと思いました。
	柔軟性は身についた。
	様々なお客様と接する中で、メールの文章構成やビジネスマナーは身につきました。
	とにかく自分から動く力と論理的思考力は成長したと思います。
	コミュニケーション力が上がった。
	相手の方に寄り添って提案をすることが少しできるようになった。
保育科	1年目の時は、クラスの中で気になる子への対応に困り、クラスをまとめていくのが大変だったが、先輩のアドバイス、研修を通して、困っているのはその子どもであるということに気づき、少しでもその子の為になるような支援方法を考え、実践するようになった。
	保護者への対応は、現場に出る前から、初めて携わったので、新任のとき、難しかったです。先輩方の対応を観察して学び、次々に実践を重ね、今では自信を持って保護者様とお話を進めることができます。
	社会人として成長できている。
	子どもに対する言葉掛けの引き出しが増えた。
	一年目から1人担任ということで最初は業務に慣れることや責任感を持った言動という点で大変なところがあったが、日々保育をしていく中で反省改善を繰り返して、信頼関係を築くことでより良い保育展開ができるようになった。
	1年目は、毎日の保育計画を立て自分自身で保育を進めていくことに不安や戸惑いが多かったけれど、毎日実践していく中で“自分のやりたい保育”を見つけてことができました。保育を行う中で子どもたちの可愛さや子どもと関わることの幸せを毎日感じています。
	最初は分からないことが分からない状態で自分の行動がっているのか等の不安はたくさんありましたが、徐々に仕事の内容も覚えてきて自分の存在意義を日々子どもたちと関わる上で感じることができました。
	自分だけでなく、周りの職員が働きやすくなるためにはどうすれば良いか、保護者が安心して預けられる施設にするにはどうすれば良いかを考えて働くようになった。

【嬉しかったこと、楽しかったことについて】

学科	自由回答
看護学科	看護師は人の命を預かるとも責任が重い仕事だと日々感じるので、何事も丁寧に責任を持って行動するようになりました。体力的にも大変な仕事ですが、患者さんとお話したり、感謝の言葉を言ってくださった時には看護師になって良かったなと思います。
英語学科	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな得意分野を仕事で活かしていること。 ・人間関係に困っていないこと。 <p>自動車メーカーの営業として働いています。想像していたただの車の営業とはかけ離れた世界でした。お客様の使用目的や使用状況を聞きながら、お客様のライフプランを考えて車を提案する楽しさを日々体感しています。お客様に車を売りつけるだけでなく、どのタイミングでどんな方法で車を変えるのがいいのかを考えるのが楽しくて仕方ないです。</p>

【仕事に必要なこと、大切なことについて】

学科	自由回答
看護学科	<p>継続的に学習をする大切さ。</p> <p>知識不足、努力不足です。新卒で入社する病院の規模や教育環境が整っているかをしっかり調べるべきでした。業務は捌けていても根拠が甘い、病態について全て理解した上で看護を行えていないと常々感じています。</p> <p>社会に出れば本当に色々な人とたくさん出会うため、仕事を円滑に行う上でコミュニケーション能力は大切だと思います。コミュニケーションを上手く取れるようになってきてからやっと仕事が順調に出来るようになった気がします。</p> <p>命の尊さは、現場に出て本当の意味で理解しました。</p> <p>看護をするにあたって何が患者さんにとって1番大切なのか考えることが増えました。</p> <p>人間関係の重要性。</p>
福祉学科	<p>仕事内容よりも人間関係や環境の方が大切だと感じる。</p> <p>発達に合わせた支援、コミュニケーション。</p> <p>病院は、専門職が多く、ソーシャルワーカーは他職種と多く連携が必要であるため、コミュニケーション力が大切になってくる。</p> <p>机上での勉強より、実践的な勉強が必要。</p> <p>学生時代に保育の引き出しをもっと蓄えておけばよかった。</p>
栄養学科	<p>実際に働くと、学校で習うことよりもっと深く、広い範囲の知識が必要となり、働きながらも日々勉強が必要。</p> <p>職場の方とのコミュニケーションの難しさや大切さを感じた。</p> <p>栄養指導をするために全ての疾患を深く知ってないといけなと感じた。</p>
英語学科	仕事と休日のONとOFFをきちんとつける。
観光文化学科	<p>責任感。</p> <p>相手の気持ちに寄り添うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて動くこと。 ・いい環境は自分でつくるのが大切だということ。

観光文化学科	金融知識の勉強。
	主体性。
保育科	報連相が大事であることを改めて感じた。

【苦勞したことについて】

学科	自由回答
看護学科	優先順位を考えて仕事をすることに苦勞している。
	仕事に慣れるまでは業務内容で苦勞した。
	人間関係の難しさ。
	とにかく忙しいし、覚えることが多い。
	患者さんの病態や治療の勉強に苦勞した。
	座学で学んだことが、すべて仕事に生かせる訳ではないこと。文章作成や、エクセル等の事務作業に苦勞しました。
	日々多重に迫ってくる新たな業務を覚えることに苦勞した。
	患者からのセクハラ。
	勤務と勉強の両立が難しい。
	一人職のため、職場に仕事内容について相談できる同僚がおらず苦勞した。
	保育園で勤務する中で健康管理や感染管理、応急手当などに関する知識が保育士と差がありすぎることや、昔ながらの根拠のない対処法に驚きと知識の修正が大変に感じる。
福祉学科	正規職員を目指して勉強しているところなので、仕事と勉強の両立が大変。
	・利用者との距離感。 ・職員との意見交換。
	入居者さんそれぞれ個性がある為、個性に合わせた介助を取得するのが大変でした。
	・人間関係。 ・低賃金過重労働。
	・医学知識を学ぶことに苦勞している。 ・制度の活用方法を理解することが大変だった。
	人間関係。
	支援が必要な場合でも、相談者の拒否感があり思うように支援ができなかったこと。
	人間関係。
	人間関係。
	養護教諭として現在働いていますが、児童が置かれている環境、その課題にどうアプローチしていくか試行錯誤している日々が、職務において大変だなと感じるところです。
	イレギュラーなことに臨機応変に対応するのは難しかった。自分のミスで誰かの一生に関わるような責任感はしんどいが、経験を積みれば積むほど、強くなるんだろうなとは思った。

栄養学科	在学中に学んだことを医療現場の実践に実際に繋げること。
	知識不足。
	仕事をこなす上で背負う責任の重さ。
	人間関係の難しさ。
英語学科	・残業が多すぎること。 ・未経験で入った分、作業がスムーズにこなせるようになるまで時間がかかる。
	クレーム対応に苦労した。気持ちの切り替え方や正しい対処法が分からず、ストレスが溜まっていった結果、休職を繰り返し、最終的に退職した。
	様々な年代の人との関わり方や電話の対応などです。
観光文化学科	大学時代は観光業を学んでおり、現在の業務は情報通信系のため基本的な情報系の知識を持っておらず入社時に大変苦労しました。現在は様々な資格を取得し日々知識をつけながら業務を遂行しています。
	2年目から業務を教える立場になったが、受け取り方やモチベーションが人それぞれで教える側の負担も大きく苦労している。
	人間関係。
	現在、観光案内所で働いていますが、お客様一人一人に合わせたサービス提供や最新情報収集の難しさを日々感じています。
	患者さんとのコミュニケーション。
助産別科	職場での人間関係、分娩介助など技術向上に苦労した。
	ただただ仕事に慣れるのに必死でできなかった。
	コロナ禍だったため、いろいろと通常と違ったこと。
	人間関係。
	やりたい仕事をする中で、患者数や自分のキャパ的に現実では忙しく本来やりたかったところまでいきつかないことが多々あること。
	助産師として入職しました。混合病棟であり分娩件数が少ないこともあり、看護師業務が多いことで悩んだこともあります。夜勤に助産師が誰も居なくて、お産があったら呼び出しがあるシステムであり、アセスメントなど判断に関することも全責任が問われるため大変でした。
保育科	・上下関係の配慮が大変。 ・持ち帰りの仕事が多く、プライベートと仕事になかなか分けられない。
	・保護者との信頼関係作りと行事の流れを覚えること。 ・次にしなければならないことを予測して動くこと。
	無駄な残業が多く人間関係も良くない。
	失敗したときどう解決するか。
	性格の悪い上司との接し方。
	保育士の仕事をする上で一番苦労することは職場の人との人間関係です。今でも転職をして色々頑張っても人間関係が上手くいきません。また、卒業して就職した場所では私の力不足もあると思いますが、ある保育士からモラハラのようなものを受けて未だに引き摺っています。気にしないようにしようとしてもその保育士から言われた言葉が脳裏に焼き付いて思うように仕事も対人関係も出来なくなりました。

保育科	もっとたくさんピアノを練習しておけばよかった。弾ける曲、レパートリーを増やしたい。お店屋さんごっこかをするのに、パツと思いつくように食品サンプルをたくさん見る機会を持ったり、廃材遊びを学生のうちにたくさんしておくのもっと楽になるのかなと思った。あとはコミュニケーション能力を高める。日頃からたくさんの人と会話をすることで慣れていくのかなと思った。
-----	---

【学べたことについて】

学科	自由回答
看護学科	重症な患者が多く緊張感がある。たくさん学ぶことはできる。
福祉学科	子どもの思いを汲み取ることは難しいことが多いですが、前後の行動やパターンから改善策を考え試してみる中で日々学んでいる。 医療保険について学びを深めることができた。
栄養学科	今まで持っていなかった貿易に関する知識を得ることができた。
観光文化学科	日々学ぶことが多いです。
保育科	年齢や月齢に合わせた言葉がけや援助の仕方を学んだり、職場の先輩や上司とのコミュニケーションの取り方を学びました。また、職場の人と報連相を怠ることにより、色々とトラブルが起こるため、確実に相手に伝えることの大切さなど日々の仕事で学びました。 卒業してからの会社は覚えることが物凄く多く、人間関係も良なくて溜め込みすぎてきつい思いをして辞めてしまった。今の会社は人間関係も良く楽しく仕事することが出来ている。1つ目の会社でいろんな事を学んだ分、転職後の今の会社で頑張ることができていると思う。自分に見合った転職先を見つけることが出来て良かった。

【その他】

学科	自由回答
福祉学科	求められる内容に合わない給料の低さ。
栄養学科	大学時代に学んだことは全て現場で生きるんだなってことを実感した、もっと勉強しておけばよかったとつくづく感じた。働きながらの勉強は時間を作ることができる環境があればいいが、勤務形態によっては難しいと思うのでよりそう感じた。 学生時代の勉強不足を痛感している。
英語学科	安月給。 自分が力になり貢献したいと思う対象が明確になってきたことが、仕事へのやる気やモチベーションに繋がったこと。
観光文化学科	毎日勉強している形です。 職場の雰囲気や人柄はとてよく、働きやすい環境にあると思います。 副店長になります。
助産別科	まだまだ未熟。
保育科	大変なことも沢山あるけど、この仕事は本当に素敵な仕事だなとつくづく思います。 1年目はなにも分からず焦りますが、保護者対応、子どもたちとの関わりなど積み重ねでなんとかなります。年数が経つ程やりがいを感じています。

〔6〕大学・短大で受けた教育について

① 達成度と必要性（全体）

問 ①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

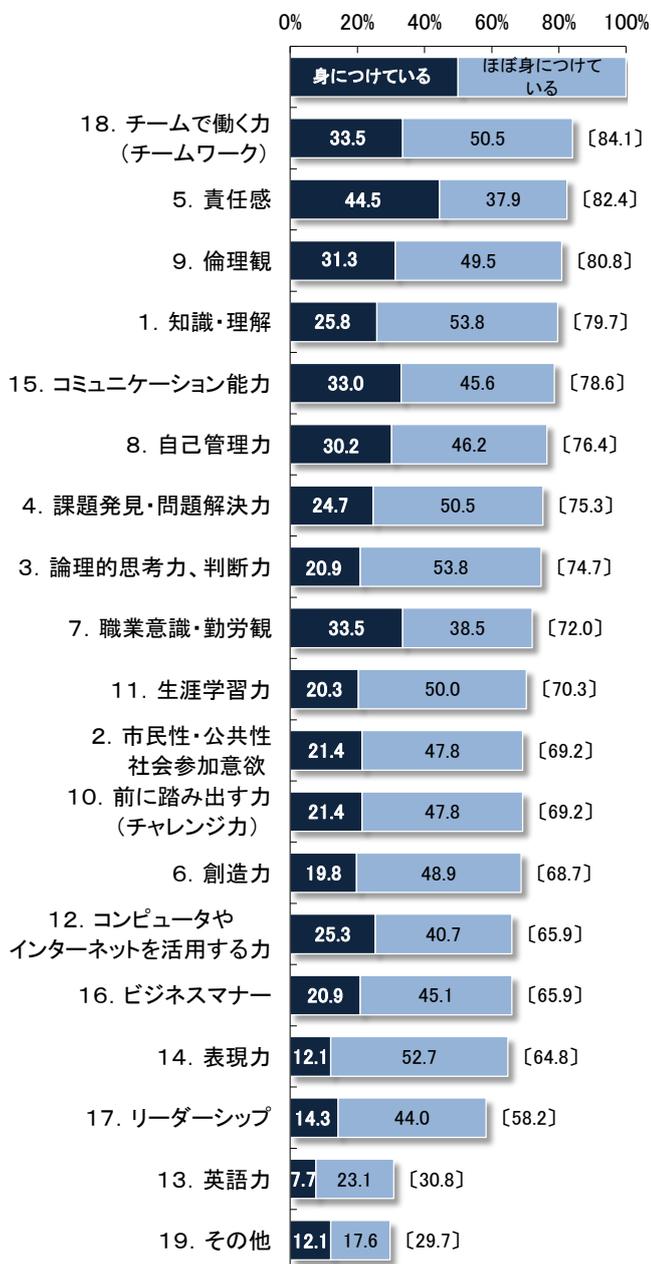
西南女学院大学で得た力やスキルを『身につけている』（身につけている+ほぼ身につけている）と評価する人の割合をみると、「18. チームで働く力（チームワーク）」（84.1%）が最も多くなっている。また、これに次いで「5. 責任感」（82.4%）、「9. 倫理観」（80.8%）、「1. 知識・理解」（79.7%）、「15. コミュニケーション能力」（78.6%）、「8. 自己管理能力」（76.4%）、「4. 課題発見・問題解決力」（75.3%）、が75%を超えている。

現在の仕事において必要な力やスキルが『役に立つ』（役に立つ+やや役に立つ）と評価する人の割合をみると、「5. 責任感」（87.9%）が最も多くなっている。また、これに次いで「15. コミュニケーション能力」（87.4%）、「8. 自己管理能力」（86.3%）、「18. チームで働く力（チームワーク）」（86.3%）が85%を超えている。

【達成度と必要性】

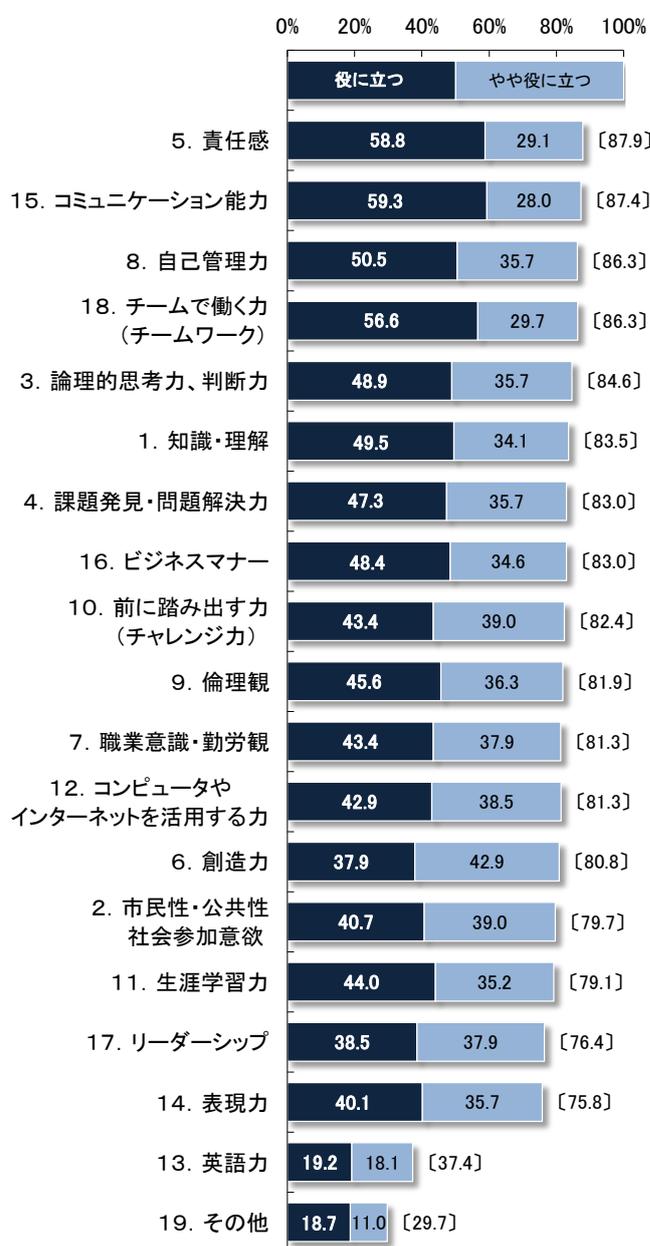
達成度

西南女学院大学で得た力やスキル
(各項目ともN=182)



必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=182)

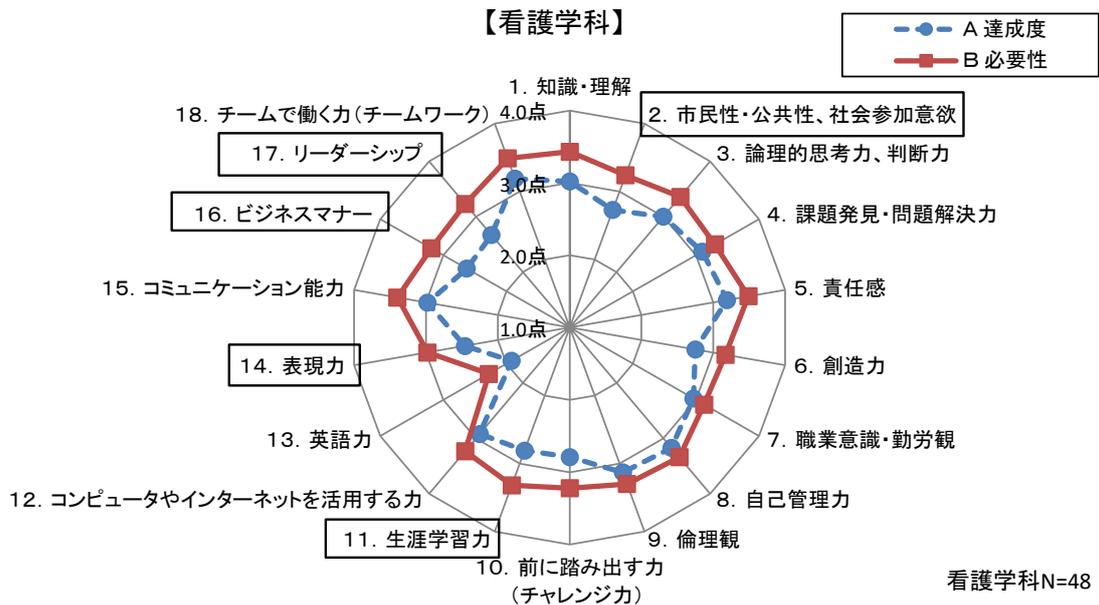


注1) 達成度の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」の4段階。
 注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。
 注3) 必要性の選択肢は「役に立つ」、「やや役に立つ」、「あまり役に立たない」、「役に立たない」の4段階。
 注4) 必要性の〔 〕は「役に立つ」+「やや役に立つ」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

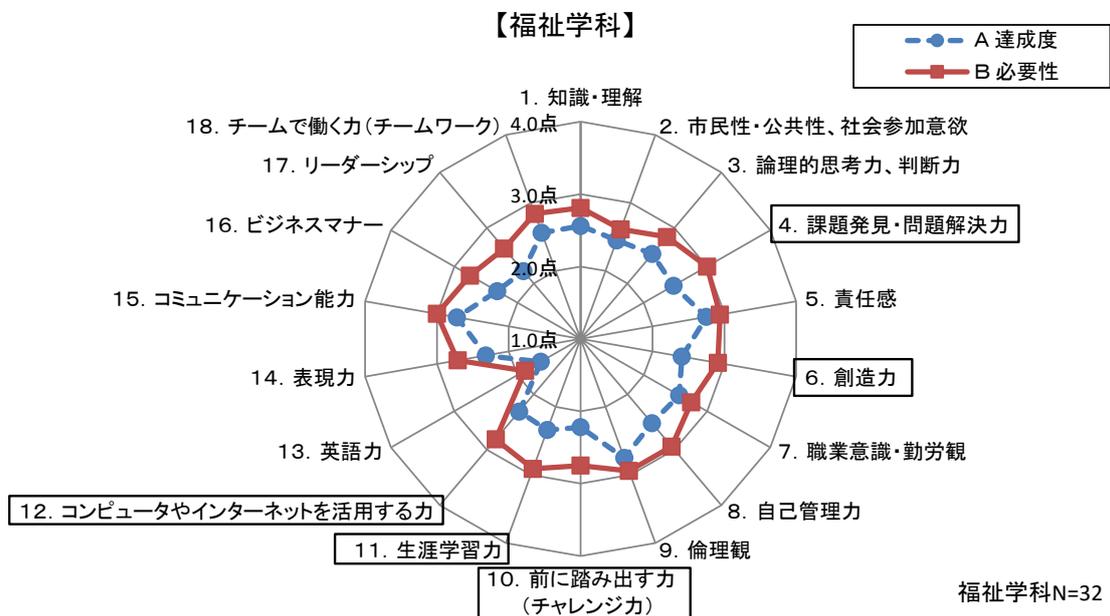
② 達成度と必要性（学科別）

達成度と必要性について、「身につけている」、「役に立つ」=4点、「ほぼ身につけている」、「やや役に立つ」=3点、「あまり身につけていない」、「あまり役に立たない」=2点、「身につけていない」、「役に立たない」=1点として配点し、達成度と必要性の各項目の平均点を算出した。達成度と必要性を比較し、各学科に必要な能力がどの程度達成されているのか、確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

看護学科では、「16. ビジネスマナー」、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも0.56ポイント高く、次いで「14. 表現力」で0.52ポイント、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」「11. 生涯学習力」が0.51ポイント高くなっている。看護学科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。



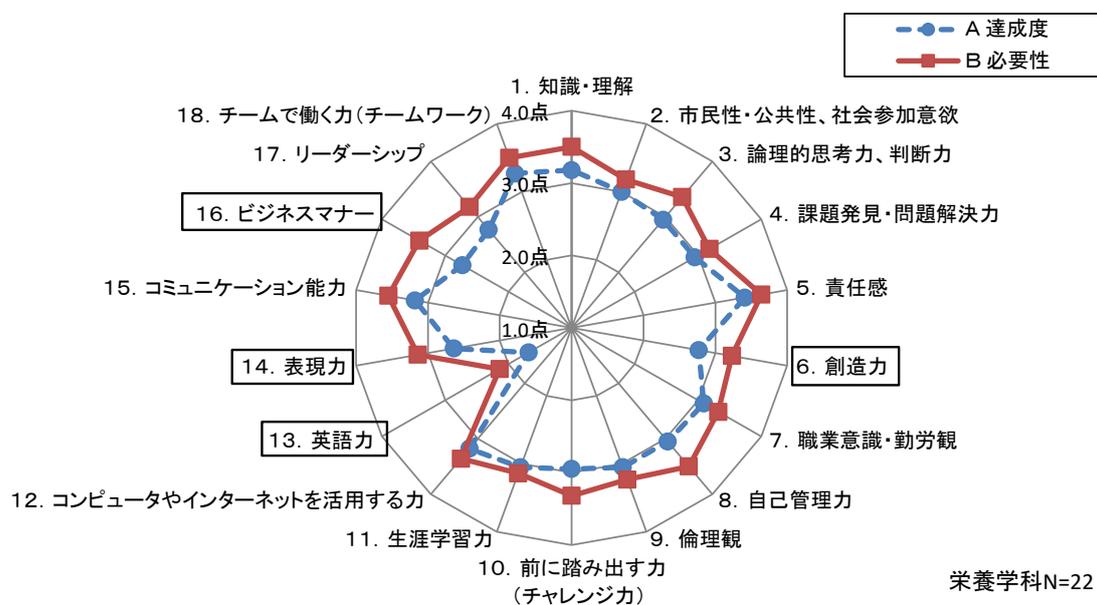
福祉学科では、「11. 生涯学習力」の必要性が達成度よりも0.57ポイント高く、次いで「4. 課題発見・問題解決力」「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」が0.53ポイント、「6. 創造力」「12. コンピュータやインターネットを活用する力」が0.50ポイント高くなっている。福祉学科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。



第1章 卒業生アンケート

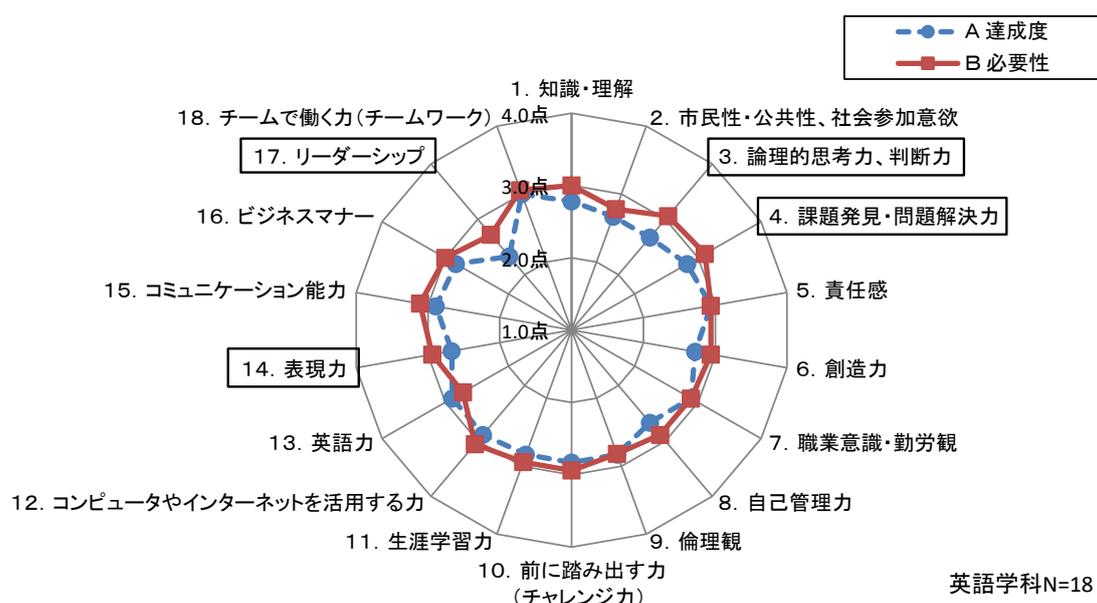
栄養学科では、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも0.68ポイント高く、次いで「14. 表現力」が0.50ポイント、「6. 創造力」、「13. 英語力」が0.46ポイント高くなっている。栄養学科は、「19. その他」を除くすべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。

【栄養学科】



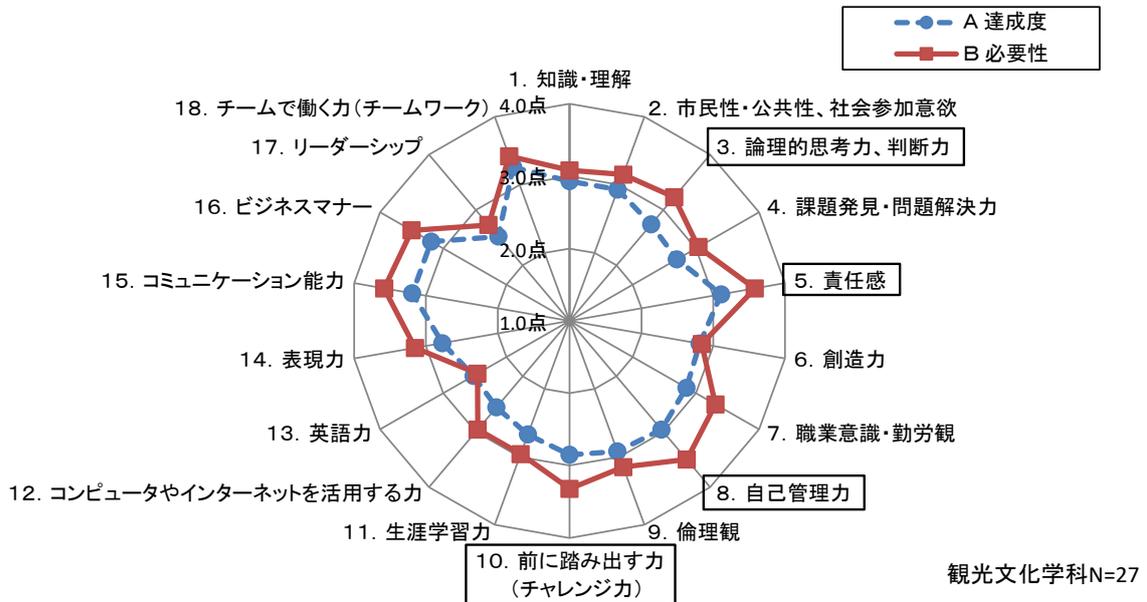
英語学科では、「3. 論理的思考力、判断力」「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも0.39ポイント高く、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が0.28ポイント、「14. 表現力」が0.27ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」が0.17ポイント、「9. 倫理観」が0.01ポイント、必要性より達成度が高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。

【英語学科】



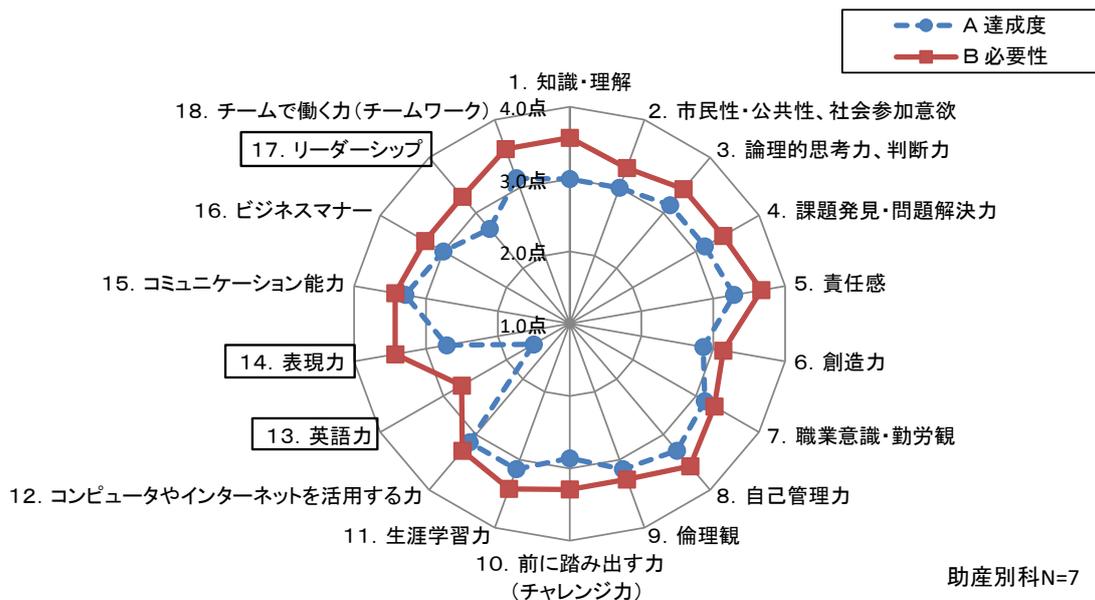
観光文化学科では、「8. 自己管理能力」の必要性が達成度よりも 0.54 ポイント高く、次いで「3. 論理的思考力・判断力」が 0.49 ポイント、「5. 責任感」「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」が 0.47 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」が 0.06 ポイント、必要性より達成度が高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。

【観光文化学科】



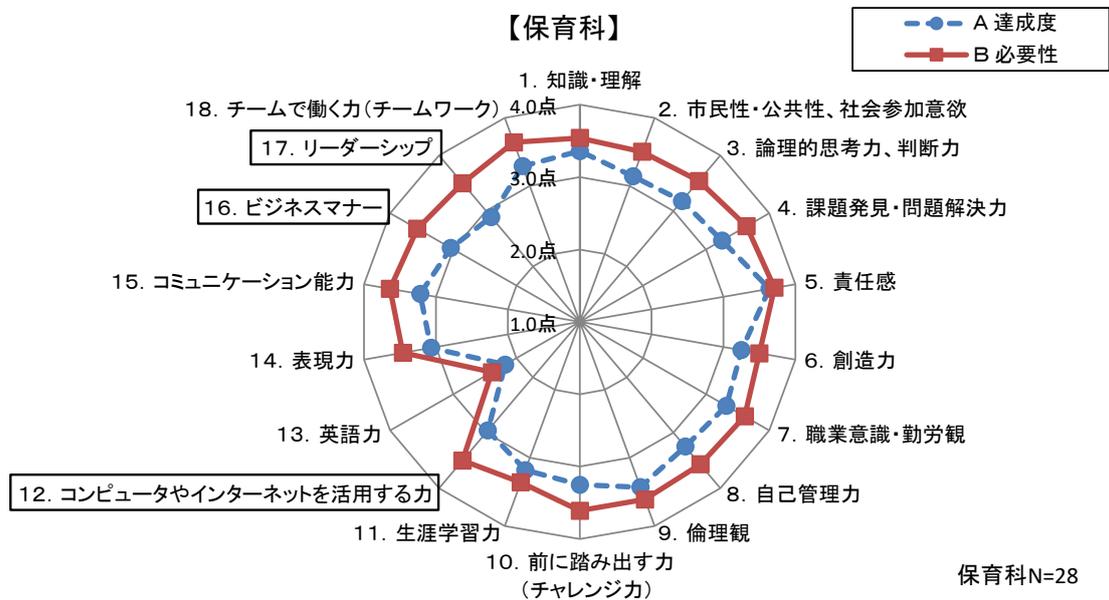
助産別科では、「13. 英語力」の必要性が達成度よりも 1.14 ポイント高くなっている。次いで「14. 表現力」が 0.72 ポイント、「17. リーダーシップ」が 0.58 ポイント高くなっている。助産別科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。

【助産別科】



第1章 卒業生アンケート

保育科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 0.61 ポイント高く、次いで「12. コンピュータやインターネットを活用する力」が 0.54 ポイント、「16. ビジネスマナー」が 0.53 ポイント高くなっている。保育科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。



③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）

能力やスキルを身につけるために役立ったことは、多くの項目について「大学での講義」が役立っていると回答している人が多いが、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「5. 責任感」、「7. 職業意識・勤労観」、「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」については「実習、インターンシップ」が役に立ったと回答した人が多い。

【能力やスキルを身につけるために役立ったこと】(%)

	全体 (人)	大学 での 講義	研究 室、 ゼミ 活動	キ ャ リ ア 教 育	実 習、 イ ン タ ー ン シ ッ プ	留 学	先 輩 や 友 人 と の 交 流	部 活 ・ サ ー ク ル	ア ル バ イ ト	独 学、 専 門 学 校	地 域 貢 献 活 動	ボ ラ ン テ ィ ア、 地 域 貢 献 活 動	勤 務 先 で の 研 修	無 回 答
1. 知識・理解	182	74.2	28.0	3.3	42.3	-	4.4	7.7	1.6	2.7	20.3	9.9		
2. 市民性・公共性、社会参加意欲	182	33.5	28.0	4.4	35.2	2.2	14.3	22.0	0.5	6.6	7.1	12.6		
3. 論理的思考力、判断力	182	54.9	30.2	3.3	37.4	1.1	4.4	10.4	1.6	1.1	15.4	12.1		
4. 課題発見・問題解決力	182	52.2	34.6	2.7	42.9	2.2	5.5	11.5	2.2	1.1	15.9	12.1		
5. 責任感	182	35.7	31.9	2.7	47.3	2.2	8.8	26.4	1.6	3.8	13.7	12.1		
6. 創造力	182	44.5	34.6	3.8	26.9	2.7	9.9	9.3	2.2	2.2	10.4	14.8		
7. 職業意識・勤労観	182	37.4	23.6	6.0	37.4	1.6	4.9	16.5	1.6	1.1	18.1	14.8		
8. 自己管理能力	182	38.5	28.6	4.4	34.6	2.2	8.2	18.1	1.6	1.1	11.0	12.6		
9. 倫理観	182	52.2	23.6	4.4	31.9	2.2	6.6	14.8	2.2	1.6	9.3	14.8		
10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	182	33.0	31.9	2.7	41.2	3.3	5.5	13.2	1.1	4.4	11.0	14.3		
11. 生涯学習力	182	55.5	23.1	4.9	28.6	2.2	5.5	7.7	2.7	1.6	15.4	14.8		
12. コンピュータや インターネットを活用する力	182	64.3	23.6	3.8	14.3	1.6	2.7	4.9	4.4	1.1	12.1	17.0		
13. 英語力	182	62.6	9.9	1.6	6.0	3.3	2.2	1.6	2.2	1.6	4.4	24.2		
14. 表現力	182	53.3	29.7	3.3	28.0	2.2	7.1	9.9	2.2	2.7	8.2	19.2		
15. コミュニケーション能力	182	45.1	35.7	4.9	42.9	2.7	18.1	26.9	2.2	3.8	11.5	12.6		
16. ビジネスマナー	182	37.4	18.7	9.3	31.9	0.5	7.1	20.9	2.7	1.6	14.8	15.4		
17. リーダーシップ	182	35.7	30.2	5.5	31.3	1.1	8.8	13.2	1.1	0.5	13.2	15.9		
18. チームで働く力 (チームワーク)	182	42.9	38.5	5.5	40.1	1.1	11.0	21.4	1.6	2.7	15.9	11.5		
19. その他	182	9.3	5.5	1.1	5.5	0.5	2.7	4.4	0.5	-	4.4	82.4		

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（1～4）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解												
全体	182	74.2	28.0	3.3	42.3	-	4.4	7.7	1.6	2.7	20.3	9.9
看護学科	48	81.3	29.2	4.2	52.1	-	-	-	4.2	-	31.3	8.3
福祉学科	32	59.4	28.1	3.1	43.8	-	9.4	6.3	-	9.4	6.3	25.0
栄養学科	22	86.4	31.8	-	36.4	-	4.5	-	-	-	13.6	-
英語学科	18	61.1	44.4	5.6	5.6	-	-	5.6	-	-	11.1	22.2
観光文化学科	27	63.0	25.9	7.4	22.2	-	3.7	22.2	3.7	3.7	7.4	7.4
助産別科	7	100.0	-	-	71.4	-	14.3	28.6	-	-	28.6	-
保育科	28	82.1	21.4	-	64.3	-	7.1	10.7	-	3.6	39.3	-
2. 市民性・公共性、社会参加意欲												
全体	182	33.5	28.0	4.4	35.2	2.2	14.3	22.0	0.5	6.6	7.1	12.6
看護学科	48	27.1	33.3	6.3	47.9	-	14.6	20.8	2.1	10.4	10.4	8.3
福祉学科	32	25.0	9.4	3.1	37.5	-	18.8	15.6	-	12.5	6.3	28.1
栄養学科	22	40.9	45.5	-	40.9	4.5	13.6	18.2	-	-	4.5	-
英語学科	18	33.3	22.2	5.6	16.7	11.1	5.6	22.2	-	11.1	5.6	27.8
観光文化学科	27	14.8	37.0	11.1	22.2	3.7	14.8	29.6	-	3.7	-	14.8
助産別科	7	71.4	-	-	14.3	-	28.6	14.3	-	-	-	-
保育科	28	57.1	28.6	-	35.7	-	10.7	28.6	-	-	14.3	3.6
3. 論理的思考力、判断力												
全体	182	54.9	30.2	3.3	37.4	1.1	4.4	10.4	1.6	1.1	15.4	12.1
看護学科	48	60.4	37.5	2.1	56.3	-	-	4.2	4.2	-	20.8	8.3
福祉学科	32	43.8	25.0	3.1	37.5	-	6.3	9.4	-	6.3	9.4	25.0
栄養学科	22	59.1	40.9	-	31.8	4.5	4.5	13.6	-	-	9.1	-
英語学科	18	50.0	38.9	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-	11.1	22.2
観光文化学科	27	40.7	33.3	7.4	11.1	-	7.4	22.2	3.7	-	7.4	18.5
助産別科	7	71.4	-	-	71.4	-	14.3	14.3	-	-	14.3	-
保育科	28	67.9	14.3	-	46.4	-	3.6	10.7	-	-	28.6	3.6
4. 課題発見・問題解決力												
全体	182	52.2	34.6	2.7	42.9	2.2	5.5	11.5	2.2	1.1	15.9	12.1
看護学科	48	60.4	45.8	2.1	62.5	-	2.1	6.3	4.2	2.1	22.9	8.3
福祉学科	32	40.6	28.1	3.1	40.6	-	6.3	12.5	-	3.1	9.4	25.0
栄養学科	22	50.0	45.5	-	40.9	-	4.5	13.6	-	-	13.6	-
英語学科	18	38.9	44.4	5.6	11.1	11.1	11.1	16.7	-	-	5.6	22.2
観光文化学科	27	33.3	37.0	7.4	14.8	7.4	3.7	14.8	3.7	-	7.4	18.5
助産別科	7	71.4	-	-	57.1	-	-	14.3	-	-	14.3	-
保育科	28	75.0	14.3	-	57.1	-	10.7	10.7	3.6	-	28.6	3.6

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（5～8）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
5. 責任感												
全体	182	35.7	31.9	2.7	47.3	2.2	8.8	26.4	1.6	3.8	13.7	12.1
看護学科	48	35.4	41.7	2.1	60.4	-	8.3	25.0	2.1	2.1	18.8	8.3
福祉学科	32	15.6	34.4	3.1	43.8	-	6.3	21.9	-	9.4	3.1	28.1
栄養学科	22	54.5	36.4	-	40.9	4.5	9.1	31.8	-	-	13.6	-
英語学科	18	22.2	27.8	5.6	22.2	11.1	16.7	27.8	-	-	5.6	22.2
観光文化学科	27	18.5	33.3	3.7	25.9	3.7	11.1	29.6	3.7	7.4	7.4	18.5
助産別科	7	71.4	-	-	57.1	-	-	14.3	-	-	14.3	-
保育科	28	60.7	17.9	3.6	67.9	-	7.1	28.6	3.6	3.6	28.6	-
6. 創造力												
全体	182	44.5	34.6	3.8	26.9	2.7	9.9	9.3	2.2	2.2	10.4	14.8
看護学科	48	39.6	35.4	2.1	35.4	-	4.2	8.3	4.2	2.1	14.6	16.7
福祉学科	32	40.6	25.0	6.3	21.9	-	12.5	12.5	3.1	6.3	3.1	25.0
栄養学科	22	45.5	31.8	-	31.8	9.1	9.1	13.6	-	-	4.5	4.5
英語学科	18	33.3	50.0	5.6	16.7	11.1	5.6	11.1	-	-	5.6	33.3
観光文化学科	27	33.3	40.7	11.1	14.8	3.7	14.8	11.1	3.7	3.7	-	14.8
助産別科	7	71.4	-	-	14.3	-	14.3	-	-	-	14.3	-
保育科	28	67.9	39.3	-	35.7	-	14.3	3.6	-	-	28.6	-
7. 職業意識・勤労観												
全体	182	37.4	23.6	6.0	37.4	1.6	4.9	16.5	1.6	1.1	18.1	14.8
看護学科	48	35.4	29.2	8.3	47.9	-	4.2	12.5	4.2	4.2	22.9	14.6
福祉学科	32	31.3	28.1	3.1	25.0	-	9.4	15.6	-	-	3.1	31.3
栄養学科	22	45.5	13.6	-	27.3	-	-	22.7	-	-	13.6	4.5
英語学科	18	16.7	33.3	16.7	27.8	5.6	5.6	22.2	-	-	11.1	22.2
観光文化学科	27	22.2	33.3	11.1	22.2	7.4	7.4	29.6	3.7	-	14.8	14.8
助産別科	7	42.9	-	-	28.6	-	-	-	-	-	14.3	14.3
保育科	28	67.9	7.1	-	64.3	-	3.6	7.1	-	-	39.3	-
8. 自己管理能力												
全体	182	38.5	28.6	4.4	34.6	2.2	8.2	18.1	1.6	1.1	11.0	12.6
看護学科	48	45.8	29.2	4.2	45.8	-	6.3	10.4	2.1	2.1	18.8	12.5
福祉学科	32	15.6	31.3	3.1	28.1	-	12.5	18.8	3.1	3.1	-	25.0
栄養学科	22	59.1	27.3	-	36.4	9.1	9.1	22.7	-	-	13.6	-
英語学科	18	16.7	38.9	11.1	16.7	5.6	5.6	27.8	-	-	5.6	27.8
観光文化学科	27	29.6	37.0	11.1	7.4	3.7	7.4	29.6	3.7	-	3.7	14.8
助産別科	7	57.1	-	-	42.9	-	-	14.3	-	-	-	-
保育科	28	53.6	17.9	-	57.1	-	10.7	10.7	-	-	21.4	-

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（9～12）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	先輩や友人との交流	部活・サークル、	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
9. 倫理観													
全体	182	52.2	23.6	4.4	31.9	2.2	6.6	14.8	2.2	1.6	9.3	14.8	
看護学科	48	54.2	22.9	2.1	43.8	-	4.2	2.1	2.1	2.1	16.7	12.5	
福祉学科	32	43.8	34.4	6.3	37.5	-	12.5	18.8	3.1	6.3	3.1	25.0	
栄養学科	22	54.5	18.2	-	18.2	9.1	4.5	31.8	-	-	9.1	9.1	
英語学科	18	33.3	38.9	11.1	11.1	5.6	5.6	22.2	-	-	11.1	38.9	
観光文化学科	27	44.4	18.5	11.1	11.1	3.7	7.4	7.4	7.4	-	3.7	14.8	
助産別科	7	71.4	-	-	42.9	-	-	14.3	-	-	-	-	
保育科	28	71.4	17.9	-	46.4	-	7.1	21.4	-	-	10.7	-	
10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)													
全体	182	33.0	31.9	2.7	41.2	3.3	5.5	13.2	1.1	4.4	11.0	14.3	
看護学科	48	33.3	31.3	2.1	54.2	2.1	4.2	6.3	2.1	4.2	16.7	12.5	
福祉学科	32	25.0	25.0	6.3	31.3	-	6.3	18.8	-	15.6	3.1	25.0	
栄養学科	22	27.3	31.8	-	36.4	4.5	9.1	27.3	-	-	4.5	4.5	
英語学科	18	44.4	38.9	5.6	22.2	11.1	5.6	11.1	-	-	11.1	27.8	
観光文化学科	27	29.6	48.1	3.7	22.2	7.4	3.7	11.1	3.7	3.7	-	18.5	
助産別科	7	57.1	-	-	42.9	-	-	14.3	-	-	14.3	14.3	
保育科	28	35.7	28.6	-	64.3	-	7.1	10.7	-	-	25.0	-	
11. 生涯学習力													
全体	182	55.5	23.1	4.9	28.6	2.2	5.5	7.7	2.7	1.6	15.4	14.8	
看護学科	48	56.3	31.3	4.2	45.8	-	2.1	4.2	4.2	2.1	18.8	12.5	
福祉学科	32	37.5	21.9	9.4	28.1	-	6.3	9.4	-	6.3	12.5	25.0	
栄養学科	22	54.5	18.2	-	22.7	9.1	9.1	13.6	-	-	13.6	9.1	
英語学科	18	38.9	33.3	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	-	-	16.7	27.8	
観光文化学科	27	63.0	14.8	7.4	11.1	3.7	7.4	7.4	7.4	-	3.7	18.5	
助産別科	7	71.4	-	-	42.9	-	-	14.3	-	-	-	14.3	
保育科	28	75.0	21.4	-	28.6	-	7.1	3.6	3.6	-	28.6	-	
12. コンピュータやインターネットを活用する力													
全体	182	64.3	23.6	3.8	14.3	1.6	2.7	4.9	4.4	1.1	12.1	17.0	
看護学科	48	58.3	37.5	6.3	31.3	-	4.2	4.2	4.2	4.2	14.6	16.7	
福祉学科	32	50.0	12.5	-	9.4	-	-	6.3	6.3	-	-	34.4	
栄養学科	22	81.8	13.6	-	13.6	4.5	-	4.5	-	-	4.5	9.1	
英語学科	18	61.1	38.9	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	-	22.2	22.2	
観光文化学科	27	55.6	29.6	11.1	-	3.7	-	7.4	7.4	-	7.4	18.5	
助産別科	7	71.4	-	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	14.3	
保育科	28	85.7	10.7	-	7.1	-	3.6	3.6	3.6	-	28.6	-	

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（13～16）】（%）

	全体 (人)	大学 での講義	研究 室、ゼミ 活動	キャ リア教 育	実習、 インター ンシッ プ	留 学	部活・サ ークル、 先輩や友 人との交 流	アル バイト	独 学、専 門学 校	ボラ ンテ ィア、 地域 貢献 活動	勤 務先 での 研 修	無 回 答
13. 英語力												
全 体	182	62.6	9.9	1.6	6.0	3.3	2.2	1.6	2.2	1.6	4.4	24.2
看護学科	48	60.4	8.3	-	8.3	-	-	-	2.1	2.1	4.2	25.0
福祉学科	32	50.0	-	6.3	3.1	-	-	-	3.1	3.1	-	34.4
栄養学科	22	59.1	-	-	4.5	4.5	-	-	-	-	-	36.4
英語学科	18	66.7	50.0	5.6	11.1	22.2	5.6	5.6	5.6	-	5.6	22.2
観光文化学科	27	70.4	14.8	-	-	3.7	7.4	-	3.7	3.7	3.7	18.5
助産別科	7	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	42.9
保育科	28	78.6	3.6	-	10.7	-	3.6	7.1	-	-	10.7	3.6
14. 表現力												
全 体	182	53.3	29.7	3.3	28.0	2.2	7.1	9.9	2.2	2.7	8.2	19.2
看護学科	48	50.0	25.0	4.2	39.6	-	2.1	10.4	4.2	4.2	12.5	16.7
福祉学科	32	34.4	25.0	3.1	25.0	-	9.4	18.8	-	6.3	-	31.3
栄養学科	22	54.5	22.7	-	18.2	4.5	9.1	9.1	-	-	9.1	18.2
英語学科	18	50.0	55.6	11.1	16.7	11.1	11.1	11.1	5.6	-	5.6	27.8
観光文化学科	27	48.1	40.7	3.7	3.7	3.7	7.4	3.7	3.7	3.7	-	25.9
助産別科	7	57.1	-	-	14.3	-	-	14.3	-	-	14.3	14.3
保育科	28	85.7	28.6	-	53.6	-	10.7	3.6	-	-	17.9	-
15. コミュニケーション能力												
全 体	182	45.1	35.7	4.9	42.9	2.7	18.1	26.9	2.2	3.8	11.5	12.6
看護学科	48	35.4	45.8	4.2	58.3	-	14.6	22.9	2.1	6.3	16.7	12.5
福祉学科	32	34.4	25.0	-	40.6	-	21.9	28.1	3.1	9.4	3.1	25.0
栄養学科	22	50.0	31.8	4.5	40.9	9.1	13.6	36.4	-	-	4.5	-
英語学科	18	61.1	44.4	11.1	22.2	11.1	22.2	33.3	5.6	-	5.6	22.2
観光文化学科	27	37.0	29.6	14.8	7.4	3.7	22.2	25.9	-	3.7	3.7	18.5
助産別科	7	71.4	-	-	57.1	-	-	14.3	-	-	14.3	-
保育科	28	60.7	42.9	-	64.3	-	21.4	25.0	3.6	-	28.6	-
16. ビジネスマナー												
全 体	182	37.4	18.7	9.3	31.9	0.5	7.1	20.9	2.7	1.6	14.8	15.4
看護学科	48	18.8	27.1	6.3	43.8	-	6.3	22.9	2.1	2.1	12.5	18.8
福祉学科	32	25.0	15.6	15.6	31.3	-	6.3	28.1	3.1	-	9.4	25.0
栄養学科	22	36.4	27.3	4.5	31.8	-	9.1	31.8	-	-	4.5	4.5
英語学科	18	44.4	16.7	11.1	27.8	5.6	11.1	16.7	5.6	-	16.7	22.2
観光文化学科	27	51.9	14.8	14.8	3.7	-	3.7	22.2	3.7	7.4	11.1	18.5
助産別科	7	42.9	-	-	28.6	-	-	-	-	-	28.6	14.3
保育科	28	64.3	10.7	7.1	42.9	-	10.7	7.1	3.6	-	32.1	-

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（17～19）】（%）

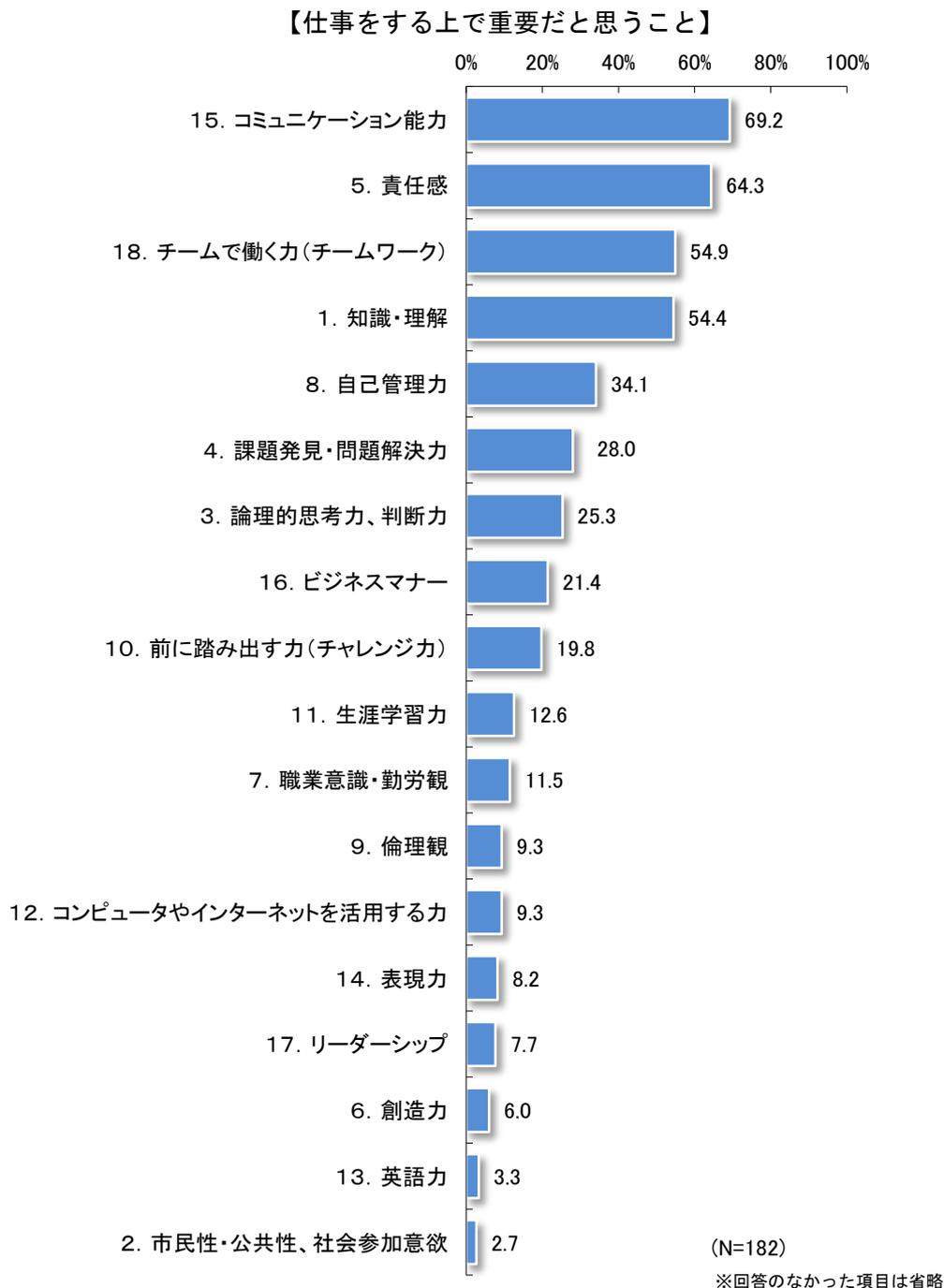
	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
17. リーダーシップ												
全体	182	35.7	30.2	5.5	31.3	1.1	8.8	13.2	1.1	0.5	13.2	15.9
看護学科	48	29.2	37.5	2.1	56.3	-	6.3	8.3	2.1	2.1	20.8	12.5
福祉学科	32	34.4	25.0	3.1	25.0	-	9.4	15.6	-	-	6.3	25.0
栄養学科	22	40.9	27.3	4.5	36.4	4.5	13.6	22.7	-	-	4.5	9.1
英語学科	18	33.3	22.2	16.7	16.7	5.6	5.6	5.6	-	-	16.7	33.3
観光文化学科	27	22.2	40.7	11.1	-	-	11.1	14.8	3.7	-	3.7	18.5
助産別科	7	57.1	-	-	14.3	-	-	14.3	-	-	14.3	14.3
保育科	28	53.6	28.6	3.6	35.7	-	10.7	14.3	-	-	21.4	3.6
18. チームで働く力(チームワーク)												
全体	182	42.9	38.5	5.5	40.1	1.1	11.0	21.4	1.6	2.7	15.9	11.5
看護学科	48	31.3	52.1	2.1	60.4	-	8.3	14.6	2.1	4.2	22.9	10.4
福祉学科	32	43.8	28.1	3.1	31.3	-	9.4	25.0	-	3.1	6.3	25.0
栄養学科	22	50.0	31.8	4.5	45.5	4.5	13.6	22.7	-	-	4.5	-
英語学科	18	44.4	55.6	22.2	16.7	5.6	11.1	27.8	5.6	-	16.7	22.2
観光文化学科	27	29.6	44.4	11.1	3.7	-	14.8	29.6	3.7	7.4	7.4	14.8
助産別科	7	71.4	-	-	57.1	-	-	14.3	-	-	14.3	-
保育科	28	60.7	25.0	-	57.1	-	14.3	17.9	-	-	32.1	-
19. その他												
全体	182	9.3	5.5	1.1	5.5	0.5	2.7	4.4	0.5	-	4.4	82.4
看護学科	48	6.3	6.3	-	2.1	-	-	-	-	-	6.3	85.4
福祉学科	32	6.3	9.4	3.1	6.3	-	3.1	12.5	-	-	-	75.0
栄養学科	22	4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95.5
英語学科	18	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-	5.6	88.9
観光文化学科	27	3.7	3.7	-	-	-	7.4	3.7	3.7	-	-	88.9
助産別科	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
保育科	28	32.1	7.1	-	21.4	-	3.6	7.1	-	-	14.3	60.7

④ 仕事をする上で重要だと思う事

問 ②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思うものについて、5つまでその番号をご記入ください。

仕事をする上で重要だと思うことは、「15. コミュニケーション能力」(69.2%)が最も多く、次いで「5. 責任感」(64.3%)、「18. チームで働く力(チームワーク)」(54.9%)となっている。

学科別にみると、概ね全体結果と同様の傾向を示しているが、看護学科、助産別科では「1. 知識・理解」、栄養学科では「15. コミュニケーション能力」、英語学科では「8. 自己管理能力」、観光文化学科では「16. ビジネスマナー」、保育科では「18. チームで働く力(チームワーク)」を重要視する人が他学科に比べ際立って多くなっている。



【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	5. 責任感	18. チームで働く力 (チームワーク)	1. 知識・理解	8. 自己管理能力	4. 課題発見・問題解決力	3. 論理的思考力、判断力	16. ビジネスマナー	10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)
全体	182	69.2	64.3	54.9	54.4	34.1	28.0	25.3	21.4	19.8
看護学科	48	72.9	77.1	70.8	77.1	31.3	29.2	25.0	6.3	10.4
福祉学科	32	46.9	40.6	46.9	56.3	31.3	21.9	18.8	28.1	12.5
栄養学科	22	86.4	59.1	40.9	54.5	31.8	31.8	40.9	22.7	36.4
英語学科	18	61.1	55.6	22.2	50.0	50.0	27.8	22.2	16.7	27.8
観光文化学科	27	85.2	66.7	48.1	14.8	29.6	33.3	29.6	40.7	14.8
助産別科	7	71.4	100.0	71.4	100.0	28.6	42.9	28.6	-	-
保育科	28	64.3	67.9	71.4	42.9	39.3	21.4	17.9	28.6	35.7

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (2/2)】 (%)

	全体 (人)	11. 生涯学習力	7. 職業意識・勤労観	9. 倫理観	12. コンピュータやインターネットを活用する力	14. 表現力	17. リーダースhip	6. 創造力	13. 英語力	2. 市民性・公共性、社会参加意欲
全体	182	12.6	11.5	9.3	9.3	8.2	7.7	6.0	3.3	2.7
看護学科	48	22.9	10.4	8.3	-	2.1	12.5	-	-	2.1
福祉学科	32	12.5	9.4	12.5	15.6	9.4	6.3	6.3	-	6.3
栄養学科	22	22.7	13.6	4.5	13.6	4.5	4.5	13.6	-	-
英語学科	18	-	11.1	5.6	16.7	5.6	5.6	5.6	11.1	-
観光文化学科	27	7.4	18.5	7.4	18.5	11.1	3.7	3.7	14.8	3.7
助産別科	7	14.3	-	42.9	-	-	-	-	-	-
保育科	28	-	10.7	7.1	3.6	21.4	10.7	14.3	-	3.6

〔7〕 大学時代で有意義だった授業

問 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。
また、よろしければ理由をご記入ください。

大学時代に有意義だったと思う授業について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【研究室・ゼミ、実習・演習・インターンシップについて】（回答者数：100人/182人[54.9%]）

学科	自由回答
看護学科	ゼミ。
	臨地実習。
	きつかったけど、実習に参加することで実際の看護師の動きや考え方を知ることができた為、今の自分の為にはなっていると思う。
	演習の授業。
	ゼミは知識を再確認し深めることができたから。
	実習、各講義でのグループワーク。正直、学生時代はどちらも苦手意識が強かったが、実習で現場の雰囲気を感じ、そこまでのリアリティショック無く入職後も過ごせた。また、各講義でグループワークを頻繁に実施していたことで、現在もチームワークを活かして業務に取り組んでいる。
	実習：実際に患者さんに携わることで、講義では分からないことが身を持って分かったからです。
	看護に関する専門科目全般、各論実習は看護師の仕事をする限り役立つと思う。
	看護実習と教育実習。実際に現場での経験をする事で、将来像が見えた気がする。またゼミでの活動でも同じ目標を持った仲間と切磋琢磨する事で、勉強意欲を高めることができた。
どの授業もとても大切だったと思うが、積極的に前に出て行動するのが苦手だった私にとって、ゼミや実習での経験は本当に有意義なものだった。	
実習：様々な患者様と出会えたこと。	
福祉学科	各講義はもちろんのこと、演習や実習はより実践をイメージでき、有意義で働く上でも非常に役に立ちました。ゼミ活動も様々な体験ができ、非常に有意義でした。
	・演習。 ・パワポにまとめて発表。 ・外部の方の講義。
	ゼミ活動は自分で課題を決め、達成するための過程も自分で段取りしていく為、自分で問題を見極めて、遂行していく力がついたと思います。
	実習：社会福祉実習で行った実習先の指導者とは今も研修で話をする機会があり、実習での経験は就職した今も役に立っている。
	演習の授業では多くの学生の意見を聞いて考えることができたので有意義だった。
相談援助演習。座学では学ぶことができない援助技術を学ぶことができたため。また、実際に演習してみることで相談者の気持ちになって理解することができた。	

福祉学科	良かった授業は〇〇先生の教育実習指導。悪かった授業は〇〇先生の子ども家庭福祉論、〇〇先生の地域行財政や医療福祉論。〇〇先生と〇〇先生は本当に給料泥棒な酷い授業でした。
栄養学科	給食実習は就職してからの厨房業務、献立作成課題の際に役立った。
	臨床栄養学と学内での調理実習、学外実習。講義での学びが学内実習で確認でき、学外実習で実践できる環境があったことをとても感謝しています。有難い環境であったと思います。
	給食経営管理実習：普段より多めの食数で大量調理を行い、実際の現場を想定しながら実践的に学ぶことができたため。
	各授業における実習。実際に動いたり、話したりすることで学びが深まった。
	給食調理実習。お金を頂いて給食を提供する事に責任感を一番感じる事ができたから。
	食品を1から作る(ジャム、羊羹、豆腐等)授業が良かったです。食品により興味を持つことができ、そのおかげで他の授業にも意欲的に取り組む事ができたと思います。
	臨床栄養学実習：現場に1番直結している授業内容だったから。
どの講義も有意義な時間でした。理由は栄養学が好きなので新しい知識を学べるのが楽しかったからです。特に、給食管理実習は今の仕事に通じる場所がありもっと積極的に取り組んでいたら良かったなと思います。	
ゼミ。	
英語学科	ゼミ：先生からのアドバイスや行ってくれた講義が今の仕事に大変役に立っている。
	大学の〇〇先生のゼミは本当に所属して良かったと思っています。一つの物事に対して追求する楽しさを学びました。英語以外の言語の授業もお客様との会話の幅も広がります。大学の授業で学んだ心理学や翻訳学など、今の自分に直接的では無いとしても社会人として活かされていると思っています。
	〇〇ゼミ。
	国民について社会的な視点で学ぶことができた男性外部講師の方の授業、〇〇先生のゼミでの国際協力活動などです。
	ゼミ講義。
観光文化学科	海外研修(中国)：現地の空気感や人と接することで、新たな発見がありました。
	授業名は地域活性化演習。理由は大学生だからこそ出来る新しい発想を社会で試せる機会だから。
助産別科	実際の産科医の講義を受けることができてよかった。
	講義名は明確に覚えていませんが、実習や学内演習全てです。
	実習。授業内容と実践とでギャップがある。やっていることは分かるが、正直全然授業ではピンときていなくて、実習でやっとピンとくるが多かった。看護職系はもう少し授業の中で、臨床をシミュレーションするような仕組みを入れたほうが良いと思う。もっと有意義な実習にできる気がする。
保育科	実習が良かった。
	実習関係の授業です。

保育学科	どの授業もとても充実していたと思う。大学の課題で作った教材やノート類が本当に現場で役立っており困った時の支えになっている。ゼミ活動も交流する大切さや社会との交流ができて本当にいい経験であった。
	ゼミでの発表:同じ劇を発表会でしました。

【パソコン、グループワーク・実験、マナー講座について】

学科	自由回答
福祉学科	グループワークのある授業は有意義だと思う。 対人のグループワーク。
栄養学科	パソコンを使った授業でExcelやPowerPointの使い方の基礎が身に付き、仕事を する上で役に立っているため。
英語学科	心理学:対人関係にて役立つことがある。ビジネスマナー:就職して大変役に 立った。最低限のビジネスマナーを知ることは大切だと思った。
観光文化学科	ビジネスマナーは社会人として必要最低限のスキルであると思う。社会人経 験を積んだ年上の人でも電話の対応を知らない人が多く、公務員でも聞いて る方が恥ずかしくなる対応をしている人もいて、大学で内容の濃いビジネスマ ナーの講義があつてよかったと思った。
	ビジネスマナー。
	ビジネスマナー。
	ビジネスマナー:社会人として働く上で最低限の知識を身につけることができ たから。
保育科	教育実習、保育実習の授業:礼儀やマナーなどそこで身に付けることができ、 日誌の書き方、指導などもとても良かった。

【資格、語学、留学について】

学科	自由回答
英語学科	日本語教師の授業:人前でプレゼンを行う機会があつたこと。 欧米研修(ドイツ、3週間):英語を実践し、話せる自信になったこと。
	有意義だったと思う授業は「時事英語」です。理由は、英語でニュースを読む ことで読解力や英語でのリーディングなどの能力も上がると考えたからです。
	英語で話す授業。海外文化も学べて楽しかったし、人前で話す力が鍛えられ た。
	講義名は覚えてないが、日本語の授業。(女性の教授)正しい日本語を知って おくのは、とても大切だと社会人になってから改めて感じた。仕事で人とやりと りする上で正しい日本語が使える人ほど、信頼されるし、とても知的に見える。
観光文化学科	英語の授業が多く、より深く学べたように感じます。現在働いている支店では、 外国の方が割とご来店されるため、活かされているなど感じます。
	中国語の講義:中国語の基礎知識を身に付けることができ、日常生活や業務 で役に立っているため。 韓国語の講義:韓国語の基礎知識を身に付けることができ、日常生活で役に 立っているため。

【専門的な授業について】	
学科	自由回答
看護学科	基礎看護学。
	疾病学各論。臨床の現病歴、既往歴でよく出会う疾病を学ぶことができ、患者の全体像の理解がしやすい。
	解剖生理学、実習。
	キリスト教学。患者や患者を取り巻く環境において、倫理的配慮を考えながら仕事ができている。大学時代に学んだことを活かすことができていると思ってます。
	看護学科だったが、人の心理とかを学べたのは大きかったかもしれない。こんなタイプはこういう思考を持ちやすいとか、なんとなくわかるとコミュニケーションが取りやすい。
	感染と免疫。コロナ禍の学生でもあり、現場にでてすぐ実践しないといけな場面がありました。あと、個人的に一番看護学生感ある授業で、モチベーション維持につながっていました。先生の授業は、楽しく学べました。
福祉学科	〇〇先生の心理学。
	〇〇先生<相談援助の基盤と専門職>:福祉の基礎を学ぶことが出来ました。〇〇先生の実践現場でのお話を交えた回や適宜実施の小テストが設定されており、メリハリのある講義だったと記憶しております。講義で、寝ていたり、スマホを触る生徒はいませんでした(残念ながら他の講義では数人いました)。*遅刻等で途中入室する生徒へ「一礼をするように」話をされており、途中入退室する生徒は必ず一礼をしていました。とても良いご指導だったと思います。
	〇〇先生のキリスト教学。
	教育心理学です。養護教諭はその立場上身体的だけでなく精神的な面でも課題を抱える児童と数多く関わるため、事例を交えながら講義して下さった教育心理学はとても勉強になったなと感じます。
	相談援助の基盤と専門職:必要だから。医学総論:近接領域の知識が必要だったり、多職種連携で必須だから。
	心理学。
	養護教諭をする上で福祉の仕組みを学んだ事は大きかったと思う。 ・1年必修の〇〇先生の講義:考え方が偏っていたことに気づき、視野が広がったから。 ・〇〇先生のコミュニケーション能力的な講義:対人スキルを学ぶことが出来、就職後どこに行っても役に立つと思ったから。 ・グループワークの講義:実際に人とコミュニケーションをとる練習ができ、コミュニケーション能力が確実に上がったと思うから。
栄養学科	調理や応用栄養は今の仕事に活かせていると思います。
	給食経営管理学。
	栄養指導を担当の先生に行うという授業での課題が現在働く際に生かされているなと思います。
	臨床栄養・応用栄養学:病院勤務の時や今の子育ての中で活用できた。
英語学科	英語教科教育法I-IVの講義です。教科教育だけでなく、模擬授業の回数も多く体験させていただいたため、実際に現場に入った際にスムーズに授業をすることができました。

観光文化学科	広告宣伝論。
	ブランド戦略論。
助産別科	助産別科の授業全て。
	思春期教室。
保育科	大半の授業は、私にとってとても学びになりました。中でも、「子どもの保健」ではノートにまとめるのは大変でしたが、自分で考えて理解し、保育現場で必要な知識が多く得られました。
	子どもの保健という、〇〇先生の授業です。授業の話や聞くことも、テストのために振り返って勉強をすることも、とても楽しかったです。先生が実際に、現場で見た子どもたちの様子と重ねて話をしてくださるので、授業内容が頭に入ってきやすかったです。保育現場だけでなく、自分自身が母になるときに、役に立つような授業でした。
	『表現』の図工系の授業。日頃の保育での製作に役立っている。
	・キリスト教関連。 ・子どもの心理に関する授業。 ・保健に関する授業。理由は現場での知識になったから。とても役に立った。教養が深まった。
	保育教材や手づくり玩具を作る授業。理由:実際の仕事においても活用できるから。
	ピアノ、実習指導の指導案作り、教材作り指導案や教材はたくさん作ったので、保育参観の保育の参考にしたり、教材はちょっとした時間にできるものが多く助かる。
	社会福祉。
	乳児保育等の実技授業、絵本に関する講義。
	〇〇先生の心理学の授業が、雑学のような授業で面白く、90分があっという間で、最後まで集中して聞いていた事を今でも鮮明に覚えています。
	・エプロンシアター等の保育に使うものを作り発表した授業。 ・実習での相談例を出しみんなで解決する授業。その時の先生の実習生の気持ちに寄り添って声をかけてくれることで実習中自信をなくした時に思い出し落ち込まずに最後までできた。
	保育実践:クラス内で保育者役・子ども役に分かれることで実際の保育現場を想像し実践することが出来たり、子どもの目線になりどのように工夫するとより楽しむことができるか皆で考えあうことができたから。また、様々な製作活動やゲーム遊びを知ることができ、今に活かされているため。
	ピアノの実技:実際に今卒園式のピアノ担当になって役立っているから。 子どもの保健:あのノートがあるだけで自分に自信がついているから。
	具体的な教科名は覚えていませんが、保育科に所属していたので、保育や福祉に関わる授業が有意義なものでした。高校までに学ぶ授業とは異なり、自分の学ばなかった専門の知識を得ることができたので有意義だと感じました。
	保育、幼稚園実習指導。
講義全般:分野は違えど学んだことがとても活かされており、勉強しておいて良かったと感じております。	

【その他】

学科	自由回答
看護学科	<p>〇〇先生の授業で勉強の仕方がわかり、有意義であった。</p> <p>全ての大学時代の授業や経験が今の自分に直結しており、それを元に働いています。看護計画の中でアセスメントをしますが、授業の中で訂正を繰り返し、完成はしていたものの、結局理解には至らなかったと常々痛感します。</p>
福祉学科	<p>〇〇先生と〇〇先生の講義が最低だった。ただ自分のワーカー時代をベラベラ話したり、モゾモゾ話して、〇〇先生に関してはまともな授業をしないくせに単位落として再試料稼いでたから嫌われてましたよ、本当に学費返してレベル、アンケートに書いてたけど、教務課ちゃんと見てるの。</p>
保育科	<p>勉強したことが身になった。</p> <p>〇〇先生と〇〇先生の授業:全部楽しく学べました。</p>

〔8〕 更であればよかった授業の具体案

問 どのような授業があれば更によかったか具体案があればご記入ください。

どのような授業があれば更によかったか具体案について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【実習、ゼミ、インターンシップ、現場の仕事内容や交流について】 (回答者数:73人/182人[40.1%])

学科	自由回答
看護学科	多重課題や仕事の優先順位を考える授業。実習では一人の患者しか受け持たないため同時に複数の仕事に追われる経験をしてきたかった。
	輸液管理などの看護技術をもっとやると良かった。
	実際の現場に即した内容の授業:多重課題(業務)がこなせず業務や患者の安全管理に支障をきたすことがある為、多重課題に慣れるための授業があると良いと思う。術後管理だけでなく、認知症患者などを想定したpaper patientを用意し、与えられた情報から自分で情報収集、アセスメントした上でどのように看護を行っていくか一連の流れを経験できる演習。机上より、グループ等で実際に動いて演習を行う方が記憶に残ると思う。国試でも状況設定の問題は出るし、日々の業務は上記の繰り返しなので無駄にならないと思う。
	もっと臨床に近い実践的な演習。あと、答えがあってもなくても自分たちで思考することが大切だと気づける学習。
福祉学科	実習先が1つの場所ではなく、2つ以上の場所でできた方が、いろんな方が見られて、自分の成長に繋がるのではないかと思います。
	・実習を経験した先輩からアドバイスを頂ける講義。 ・教科書をただ読むだけではない講義。
	就職先の候補となりうる施設や病院など、迷惑かもしれないが見学させてもらったり、職員の声を聞く機会が増えれば良いと思う。実際に働いている人の声を聞く授業は、在学中あったが、それがより充実すれば就職のイメージが付きやすいと思う。
	制度の申請から活用までの説明の演習。上司への報告の仕方の演習。
	時代に適応した実践的な授業。
	・ピアノ。 ・保育の引き出しが蓄えられるもの。
	実践的な学習を現場にいる人から学べる授業。
具体的な業務について学ぶ機会があったら良いと思う。座学の知識だけでは、日々の業務をこなせず、1年目はとても苦労した。特に1年目は他の養護教諭とも関係が出来ておらず相談も難しかった。大学生の時に1年を通しての業務の見通しが出来ているともう少し余裕を持って保健室運営が出来ると思う。	
観光文化学科	企画だけで終わるのではなく、実際の取り組みまで行えるような実践的な授業。
助産別科	点滴の練習や輸液ポンプの使い方。
	コロナ禍だったので仕方がないですが実習での経験がもう少しあれば実践的な力を身に付けることができたかなと思います。
保育科	コロナ禍でしたが、ゼミでの活動をもっと行いたかった。

保育科	チームワークが大事な職場なので、連携する力をもっと身に付ける事ができる授業が必要だと思う。
	実際に子どもと触れ合う授業。

【ビジネス・マナー講座、書類の記入や制度・手続きの仕方について】

学科	自由回答
福祉学科	一般常識教育・社会人マナー教育のような授業は、社会に出る前に身につけておくと非常に役に立つと思いました。アルバイト等で学べることも多くありますが、働く分野(福祉)についての常識やマナーも知っておけたら更に良かったと思いました。
	ビジネスマナー。
	ビジネスマナー。 ビジネスマナーや、パソコンスキルをもっと初心者向けでテストもあるやつがあれば良かったと思います。
栄養学科	ビジネスマナーについての講義やセミナー。
	教職課程の授業で、指導案の作成や授業の仕方をもう少し深く学べていたら良かったなと思います。
観光文化学科	就職時のメイク。
	ビジネスメール。
保育科	保護者対応について、考えてみる授業があると、保育学生としては有難いのかな、と今社会に出て感じています。「このように言ってくる保護者に対してどう返答をするか」などをグループで討論できるような授業があると、社会に出てから、「実習でも授業でもやったことなく不安」ということが少しでも軽減されるのではないかなと思います。
	保護者対応についてもう少し知りたかったです。
	敬語の使い方。

【パソコンについて】

学科	自由回答
看護学科	文章作成や事務作業等の授業がもっとあったら良いと思う。
福祉学科	転職前、転職先でExcelを使うことが多くパソコンのExcelの授業があれば更に良かったと思います。
栄養学科	Excel等に関する授業がもっと重要であることを在学中から意識して、必死に取り組む必要があった。
英語学科	もっとパソコンを使う授業があってもいいかもしれない。大抵の職業はパソコンを使うと思うので、基本知識が学べるくらいの授業があると将来に役立つと思う。
観光文化学科	Excel関連。
	Excel等を触る授業。
保育科	最近では保育業界もかなりICT化しているためパソコンなどの授業を充実させると良いと思う。
	エクセルやワードなどパソコン関連の授業。

【語学について】

学科	自由回答
看護学科	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のコミュニケーションをより学べる授業。 ・手話の授業。
英語学科	<p>英語を話す授業と試験でも英語力を見るレベルを上げて良かったのかなど。 TOEICなどや英検の授業がもう少しあれば、良かったのではないかと思います。理由は、卒業時にもっとあれば、今後の就職にも役に立つと考えたからです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的な英語力が身につく授業や、多角的に教育について学ぶことのできる授業。 ・英語を使った仕事の多様性について学ぶことのできる授業。
保育科	家庭科のような授業をもっと増やしてほしかった。また英語だけでなく、他国の言語も学びたかった。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	<p>基本的な看護技術。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬理学において、臨床で多用される薬剤の講義。 ・ペーパーペイシエントを用いたより実践的な事例検討。
福祉学科	<p>学識のある先生の講義。</p> <p>〇〇先生の心理学。〇〇先生と〇〇先生の無駄な授業時間を減らして〇〇先生の心理学を聞きたかった。</p> <p>国家試験対策に向けて講義をする。先生が現場にいた時の話とかどうでもいいです。</p>
栄養学科	<p>看護や介護に関わる授業があれば良かった。</p> <p>栄養指導や献立作成等の実技。</p> <p>経腸栄養剤の種類や選択方法、カーボカウントについてもっと深く知っておきたかった。</p>
英語学科	女性のライフプラン、キャリアプランについての授業。女性は仕事をしていく中で妊娠、出産などもあり、どのようにしてキャリアを積んでいくのか等。また生涯にかかるお金の勉強などがあると社会に出て何歳までに何をすればいいという目標が出来ていいなと思いました。
観光文化学科	<p>就職活動時に行われる、SPIの予習が授業にあれば良かったと思います。</p> <p>就職にまつわる授業。</p> <p>企業の課題発見から解決案を考案までのフローを、繰り返し考え学ぶことのできる授業。</p>
助産別科	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーマッサージ。 ・妊婦指導。 ・母乳指導。
保育科	教材作りをひたすらにする授業。仕事を始めると教材作りをする時間が取れない。たまたに授業で作れていた教材(パペットやペーパーサートなど)は未だに使っている。もっとその時間が増えるといいなと思う。

保育科	問題行動の子への言葉掛け。
	製作物を使った発表:そのまま使えるし経験にもなる。
	わらべ歌にもっと力を入れてくれると嬉しかった。もっと深く知りたかった。
	実践出来るような授業がもっと多くあれば良かったのかなと思います。
	身近な素材を使って食品サンプルを作る。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	働き出してから看護のギャップに悩まされないような授業。
	授業ではないが、私立でもあるため看護学科ではあったが海外留学も経験したかった。
	実際に働いた時の具体的なイメージができるような授業。一般病棟での勤務体制や給料事情など、インターンシップで説明してくれるような内容を授業でも少し触れてくれると嬉しい。また、仕事だけでなく社会人としてかなり生活が変わる為、税金の事とか保険の事とかも教えてほしい。
	大学で学べる有り難さです。〇〇先生の授業で、授業を映画に見立てて説明されていたことがとても印象に残っています。映画を見る上で寝るのは自己責任であるが私語を行うのは周りの迷惑になる。それは授業も同じで、決して安くはない費用を支払って授業を受けている。という事が当時の自分には衝撃的でした。当たり前なことなのに抜け落ちていました。
福祉学科	〇〇先生の授業が在学中とてもつまらなく、現場でも役に立たない。ただ偉そうな先生ばかりではなく、生徒からの授業評価を元に、教務課も教員を指導して欲しい。心理の〇〇先生のような先生を増やしてほしい。
	〇〇先生や〇〇先生のような自慢がない授業。この先生の授業は授業代返してほしいレベルで酷いものでした。
	〇〇先生と〇〇先生の授業は必要なし。
	〇〇先生と〇〇先生の最悪な授業を無くしたら良かったと思う。教務課の職員も一度聞いてみては。
	現場見学:精神保健福祉士コースの実習と被らない日程での夏期講習や自由参加のビジネス講義。
英語学科	精神的に追い詰められた時にどう対処するのか、どれに、どこに、助けを求めればいいのか、どういった制度があるのか等、生きる為に必要な情報や、女子大学なので社会で主に女性が直面する問題(セクハラ・性被害など)に対する相談窓口、対処方法、逃げ方などを教えてもらえる機会があれば、もしもの時に役に立ったと思う。
観光文化学科	4年生の時はコロナ禍だった為、その時の授業が対面で受けられなかった事が心残りです。
	国際交流をもっとしたかったです。

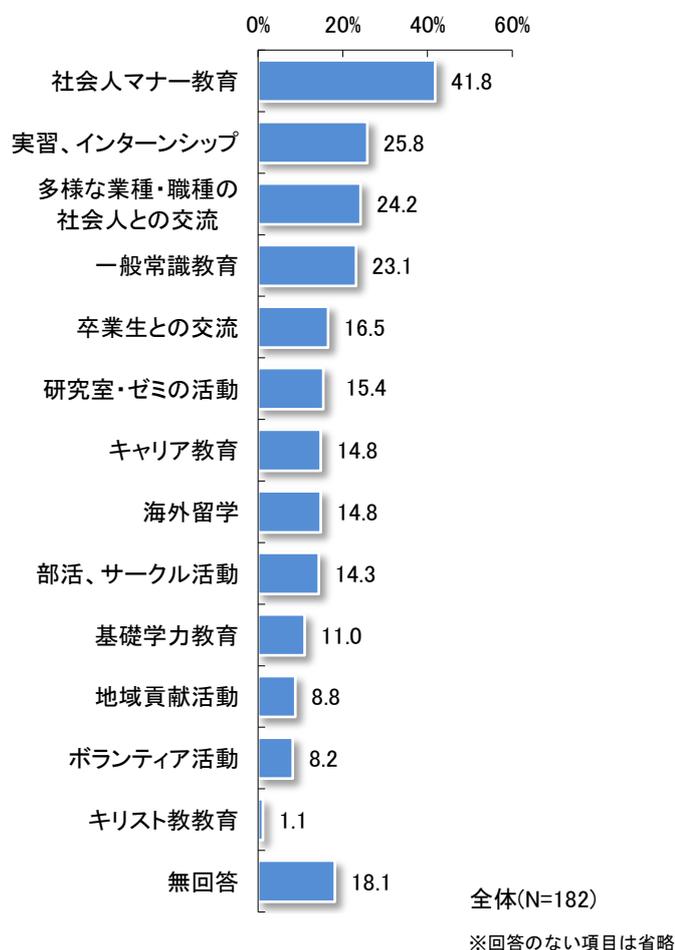
〔9〕大学の講義以外で希望する支援・経験

問 大学に対して講義以外でもっと支援してもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。
また、具体的な内容があればご記入ください。

大学に希望する支援・経験は、「社会人マナー教育」（41.8%）が最も多く、次いで「実習、インターンシップ」（25.8%）、「多様な業種・職種の社会人との交流」（24.2%）となっている。

学科別にみると、福祉学科では「基礎学力教育」、英語学科では「海外留学」、助産別科では「実習、インターンシップ」を希望する人がそれぞれ他学科に比べ多くなっている。

【大学の講義以外で希望する支援・経験】



第1章 卒業生アンケート

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	社会人 マナー 教育	実習、 インター シップ	多様な 業種・ 職種の 社会人 との 交流	一般 常識 教育	卒業 生と の交 流	動 研 究 室 ・ ゼ ミ の 活	キ ャ リ ア 教 育
全体	182	41.8	25.8	24.2	23.1	16.5	15.4	14.8
看護学科	48	41.7	27.1	25.0	20.8	20.8	14.6	22.9
福祉学科	32	50.0	31.3	31.3	31.3	21.9	18.8	12.5
栄養学科	22	45.5	27.3	22.7	31.8	4.5	18.2	9.1
英語学科	18	27.8	16.7	22.2	16.7	5.6	11.1	22.2
観光文化学科	27	40.7	33.3	18.5	25.9	14.8	14.8	14.8
助産別科	7	14.3	42.9	-	-	14.3	-	14.3
保育科	28	46.4	10.7	28.6	17.9	21.4	17.9	3.6

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	海外 留学	部 活、 サー クル 活動	基 礎 学 力 教 育	地 域 貢 献 活 動	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	キ リ ス ト 教 育	無 回 答
全体	182	14.8	14.3	11.0	8.8	8.2	1.1	18.1
看護学科	48	16.7	10.4	8.3	12.5	12.5	-	14.6
福祉学科	32	9.4	21.9	21.9	9.4	6.3	-	15.6
栄養学科	22	4.5	13.6	18.2	4.5	-	-	18.2
英語学科	18	33.3	5.6	5.6	11.1	11.1	-	22.2
観光文化学科	27	22.2	18.5	11.1	11.1	11.1	3.7	11.1
助産別科	7	-	-	-	-	-	-	42.9
保育科	28	10.7	17.9	3.6	3.6	7.1	3.6	25.0

大学の講義以外で希望する支援・経験の具体的な内容について自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

学科	自由回答
看護学科	多重課題の優先順位を考えること。
	奨学金給付を半額ではなく全額にしてほしかった。
	マナーが特に大切だと思っています。
	自分の視野を広げて職種の幅を増やしたかったです。
	卒業生等、OGから実際の現場について複数グループに分かれて気軽に話を聞いたり質問できる機会がほしかった。
	学生としての病院実習と看護師として病院で勤務するのは全く別物で、実習では看護の話がメインなので私生活や新人看護師時代の話を先輩から直接聞きたかった。コロナ禍ということもありインターンシップが中止になったのは仕方ないが、もっと自分の興味ある領域で実習やインターンシップができれば就職後のイメージもしやすかったのではないかと思う。
福祉学科	奨学金制度。学年に数人ではなく、多くの生徒に行き渡るようにしてほしい。
	何度学生課の課長へ希望を出しても、「お金が無いから」とWiFiもつけてくれませんでした。トイレの音姫もなかなかつけてくれませんでした。コロナで学内に入れられないのに施設充実費を返さなかったことも私たちは決して忘れていません。私たちに返さなかったお金で2021年度にWiFiをつけたこと、許しません。学生にケチケチしていた西南女学院に寄付なんてしません。ダイレクトメッセージを自宅に頻繁に送ってきますけど、図々しいです。二度と近寄りたくない学校です。
	福祉学科から留学へ行く人はほぼほぼいません。留学の情報や金銭的支援を共有してほしいと思います。また、講演会などの参加費を補助してほしいです。
	就職する前に卒業生から就職後の話を講義形式ではなく、少人数で聞きたかった。提出物や物事の優先順位の付け方等、社会に出て上司に確認する方法や決め方を教わりたかった。
	予算を増やしてほしい。
	施設費をしっかりと全学生から徴収しているのに、洋式トイレにしてほしいことや音姫をつけてほしいことを学生課にいけば会議に挙げられるまでもなく「そんな予算はありません」と〇〇さんに言われました。トイレの工事が行われたのは入試の時に体調不良が出たからと聞きました。在学生の声は聞かず、外部の人間のことでばかり、卒業生が寄り付かない理由をそろそろ理解されてはどうですか。
	実習先までの交通費を補助してほしいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・社交の知識(上座下座など)や名刺等の基礎知識などビジネスマナーが学校で学べたらより良かったと思います。 ・福祉界限以外の就職ノーマルの常識も、転職時に困ったので学びたかったです。
	養護教諭として働いている先生と関係が出来ておくと相談などがしやすいと感じる。(1.2人ではなくなるべく多く)

英語学科	大学卒業して就職するのが当たり前ではないため、自分が何をしたいのか、強みを見つけられる授業があると、大学生生活を有意義に過ごせると思う。
	世界の動き、違う文化、考え方を知り自分の生き方を考えさせられるから。
	コロナ禍だったので、就職課に出入りすることが出来ず、一番重要な就職支援が不十分だったので、もっと就職支援に力を入れてほしいです。
観光文化学科	〇〇ゼミでは3年生と4年生の交流があり、卒業後についていろいろな意見交流ができとても参考になった。しかし在学時にもっと広範囲な業種、職種の方と交流がしたかった。就職だけではなく、出産や育児を頑張る卒業生がいることを知って救われる生徒もいると思う。
助産別科	地方への就職であったため就職先の情報が少なかった。
保育科	コロナ禍であまり実践できなかったことが多かったので、アクティブな活動をもっとしてみたかった。
	就職活動。
	保育科という特定の職業にしかたれないので、西南の中や、特殊な他の仕事を少し見てみたかった。
	敬語の使い方。

〔10〕 大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【大学への感謝について】

（回答者数：43人/182人[23.6%]）

学科	自由回答
看護学科	卒業しても大学で出会った友人と仲良くしており、実習やテストなどきつかったことはたくさんあったが、楽しかったことも多く友人と思い出話をすることもあり。ありがとうございました。
	勤務先に実習に来る学生を見ていると、西南女学院大学の実習は凄くしっかりしていたと感じます。記録面、患者さんとの関わり方等、実習で沢山指導して頂いたことが役に立っています。
	お世話になりました。今の自分があるのは大学時代のお陰だと思えます。大変感謝しています。
福祉学科	学生時代、本当にお世話になりました。働いてみて、非常に役に立つことばかり教えて頂けたと実感しています。職場で大学のカリキュラムや授業内容、体験したこと等話す場があり、「西南女学院大学はすごい大学だね」とたくさんの先輩方に言って頂き、非常に嬉しかったです。本当にありがとうございました。
	課題を発見する力や解決力、社会人としてのマナーを教えて頂き、ありがとうございました。
	4年間大変お世話になりました。西南女学院で4年間で得た知識や経験は財産です。お世話になった大好きな西南女学院に何らかの形で恩返しができるように自己研鑽に努めます。今後とも末永くよろしく願いいたします。（教員公募等の情報提供を頂けると幸甚です。）
	勉強が楽しいと改めて気づくことができたし、自分のやりたいことを見つけることが出来ました。もともと第1志望ではなかったのですが、この大学に来て良かったと心から思っています。お世話になりました。
英語学科	〇〇先生たくさんご指導頂きありがとうございます。教員ではなくなりましたが、自分らしく頑張ります。
観光文化学科	自治体職員になって、西南女学院の名前を目にするととても嬉しいです。いつか卒業生として、自治体として、西女と関わることができるようこれからも頑張ります。
	西南女学院大学を卒業できてよかったです。本当に楽しい4年間でした。
	楽しかったです。
	私にとって西南女学院は、10年間過ごしたすごく大切な場所になりました。大学では、いつも丁寧なサポート本当にありがとうございました。
助産別科	ありがとうございました。
保育科	学生時代、温かく、一人一人に寄り添い、目を配ってくださった保育科の先生方に大変感謝しております。西女の卒業生として、社会に貢献できるよう頑張ります。今後とも、宜しく願い致します。

保育科	在学時から、実習先で学校名を伝えると“安心して実習を受け入れることが出来る”との言葉を頂いていたのですが、就職後は学校名を伝えると保護者の方から“西南卒だから信頼出来る”との言葉を沢山頂いています。西南女学院に通って良かったなと感じます。
	3年前ありがとうございました。
	コロナ禍でなかなかゼミ活動もできず、ほとんど2年間オンライン授業で大変な時期もありましたが、その中でも先生方はいつも一生懸命ご指導して下さい感謝の気持ちでいっぱいです。これからも素敵な保育者がここ西南女学院から生まれることを祈っています。

【大学への要望】

学科	自由回答
看護学科	2020年の施設充実費の返金を求めます。
	保健師の実習の時期をもっと早めた方が、職業の選択肢として、広がると思います。看護師から保健師になったことは、良かったと感じますが、周りを見てみると、保健師の実習に行ってから目指したくなったという声を聞きます。また、もっとボランティア等を学生に情報提供した方が良いかと感じました。アルバイトをしている人が多いと思いますが、アルバイトのしすぎで学力に影響を及ぼしている友人を多く見ました。学校側が強くなることはできないかと思いますが、アルバイトと学力の両立等、講義をした方がいいかと思いました。自己管理能力の面でも。また、サークルに入らないと、先輩・後輩の関係が希薄だと感じます。授業等で、先輩がお話に来る機会が1~2回と少なかった印象があります。大学1年、2年の頃はどうしても、社会人になるということが、イメージしにくいと感じる時期だと思うので、積極的に先輩と関われるようなグループを作ったり、GPAが高いような先輩をゼミに1人配置する等をして、ロールモデルを作った方がいいかなと感じました。(今のシステムを存じていないので、行っていたらすみません)検討して頂けたら幸いです。
	4年時の施設費返してください。
	2020年前期後期の施設費を返してください。
	実習を経験できておらず、理想と現実のギャップで精神面が不安定になってしまった後輩を目にしています。学内での授業だけでは現場の事や将来の自分のキャリアを想定しづらい所もあるかと思うので、臨床経験のある先生方からもリアルな現場についてエピソードを交えて講義してあげてほしいです。
福祉学科	授業アンケートの評価は学期中に集計し、来年度の雇用にしっかり反映させてください。
	学生にしてきたことはきっと返ってきます。新入生集めに必死にならず、在学生や卒業生を大切にしてください。それと、コロナで学内に入れないのに満額支払わせたことは未だに納得がいきません。2020年度の施設充実費を返してください。
	2021年卒業生の学科別の同窓会を開催してほしい。
	2020年度の施設費を返してください。

福祉学科	2020年度の施設充実費を返してください。私たちは図書館のスタッフがコロナになったり、英語学科の生徒がハロウィンパーティーをしてコロナになったせいでほんの数日しか足を踏み入れていません。学生は奨学金を借りて通っています。家がお金持ちの学生ばかりではありません。1年間、充実した授業も受けられず、キャンパスライフも送れていません。学長になった〇〇先生は自分の都合で授業を休校にして補講はレポートとか言っていたから生徒の気持ちが分からない先生でした。西南女学院を選んだことを後悔しています。2020年度に卒業した学生は怒っています。アンケートを送るお金があるなら学費を返してください。
	4年間お世話になりました。久々に同期にあって話していますが、コロナ禍の時の施設費は返してください。学生が足を運んでいないのに満額納付させたことは詐欺だと思います。
	高い授業料を払っているのに、授業の質が悪い。アンケートはとるだけではなく、しっかり改善してください。〇〇先生は、「眼科に行くから授業早く終わります」などと言って勝手に授業を30分以上も早く終わらせていました。こんなデタラメな講義を奨学金を借りて受講する学生の気持ちになってください。2020年度に4年生だった私達は、教職員のせいで施設に入ることを禁じられ、さらには他学科(英語学科)の学生がハロウィンパーティーをしてクラスターになったせいで学校への登校を禁じられました。国家試験を控え、真面目に勉強をしていたにも関わらず、教職員や他学科の生徒のせいで十分な指導を受けられずに就職、不安な日々を送りながら国試を受験しました。憧れて入学をした西南女学院ですが、卒業した今は大嫌いです。2020年度の卒業生で意見が固まっていますが、施設利用出来なかったにもかかわらず満額徴収された施設費を返納してください。上記理由により、十分な施設利用を送れなかったにも関わらず、満額の徴収は許し難いです。奨学金の返済をしながら、唯一納得いかなない金銭の返済です。返してください。3月までに十分な説明がなされない場合は法的措置を講じる予定です。
	2020年の施設費満額返してください。
英語学科	就職活動をする時に、ちょうどコロナ禍の時期で、一番重要な就職活動の支援が不十分だった。もっと就職活動の支援をしてほしかったなと思います。
	コロナの時に学校に入れなかった分の学費を返してください。
	2020年4月～2021年3月までの施設充実費の返済を求めます。
	2020年4月～2021年3月まで徴収した施設費の返済。
	施設費返してほしい。
西南女学院大学の学生は学力の前に心の成長が未発達な部分が私も含め多かったように思います。チャレンジし、成長を感じられる機会をもっと増やして頂けるといいのではないかと個人的に思います。	
保育科	就職先に関する、卒業生の生の声が知りたかったです。もっと情報がほしかったです。
	実習の日報は毎日同じ部分があり、体力勝負なのでパソコン等にして少し楽にしてあげてほしいです。家に帰ってしっかり寝て実習で本領発揮させてあげてほしいです。
	3年制をもっと早く導入してほしいです。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	<ul style="list-style-type: none"> ・当時は、トイレが汚くて嫌でした。今は綺麗になったとかなんとか。 ・実習引率の先生が、少しきつい口調でトラウマです。そこまで学生に求める必要があるのか、未だ謎です。
福祉学科	<p>大学受験に失敗したので入学しましたが、狭いキャンパスで高い学費でした。入って良かったとは思いません。</p>
栄養学科	<p>大学に対してではありませんが、昨年当院を西南女学院の学生さんがお二人ほど受験されました。病院見学がコロナ禍でなかったのも、メールで質問を受け付けていたようなのですが、「年末年始の休暇は最大で何日間とれますか？」や「家賃手当は家賃いくらに対してですか？」などの内容で、仕事に対する内容は全くなかったようです。卒業生として恥ずかしく、上司に申し訳なくなりました。2年間続けて西南女学院から採用して頂いていたので、すごくもったいないと思いました。病院に直接ではなく、ぜひ就職課を利用して先輩にアポをとって聞いてほしい内容だなと思いました。</p>
保育科	<p>働いている園は無駄な残業が多く古い考えの先生ばかりで良くないので、在校生に勧めません。</p>

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2022年度（令和4年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2023年度（令和5年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、卒業生アンケートの総括とする。

▶現在の仕事について

<就業状況、業種>

2021年3月卒業生の2023年12月時点の在職状況は、91.2%が就業中、未就業は8.8%となっており、卒業後2年9カ月経過時点で大半の卒業生が就業中となっている。

卒業生が勤務先で携わっている主な職種を学科別にみると、看護学科は「看護師」（84.8%）、福祉学科は「支援員・指導員」（23.1%）や「養護教諭」（19.2%）、栄養学科は「管理栄養士」（55.0%）、英語学科、観光文化学科は「営業」（英語学科：31.3%、観光文化学科：29.2%）、助産別科は「助産師」（100.0%）、保育科は「幼稚園教諭」（59.3%）の割合が他学科に比べ高く、それぞれ学科の特性を活かした職種に就いている様子が見える。

また、在学生に対して尋ねた学生調査と比較すると、将来進みたいキャリアとして、看護学科は「医療・看護系」、福祉学科は「学校・教育系」や「福祉・介護系」、栄養学科は「食・栄養系」、英語学科は「旅行・ホテル・ブライダル系」、観光文化学科は「旅行・ホテル・ブライダル系」「ビジネス・経営系」、保育科は「保育・子ども系」が高くなっており、学生時代の希望と実際の進路が一致していることから、概ね卒業生が希望の進路に進んでいることが分かる。

一方、転職の状況について、現在の勤務先が卒業時と変わっていない人が74.1%、転職した人が23.5%となっており、助産別科を除いた全ての学科で転職率が高くなっている。

また、「転職した」に着目して前回調査と比較すると、全体で26.1%から23.5%と2.6ポイント減少している。

【現在の勤務先を「転職した」の割合】

	全体	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	助産	保育
今回調査 (N=166)	23.5	21.7	23.1	20.0	50.0	29.2	0.0	14.8
前回調査 (N=138)	26.1	9.1	34.8	40.9	36.8	30.0	25.0	11.8

<雇用形態、勤務先の満足度>

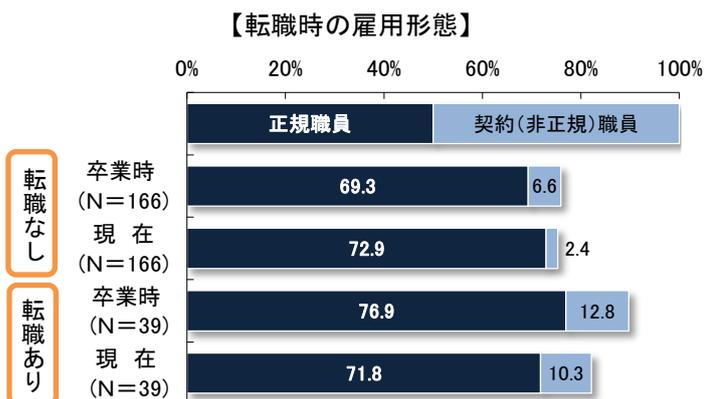
卒業時の雇用形態をみると、正規職員の割合が全体で69.3%である。英語学科では56.3%と他学科に比べ正職率が低くなっており、卒業時から現在までに正規職員の割合の変化はない。

現在の勤務先の満足度をみると、全体で満足している人が42.8%と最も多く、次いでどちらでもない人は24.1%となっており、満足していない人（10.8%）を上回っている。学科別にみると、看護学科、福祉学科、栄養学科、助産別科、保育科の満足度は4～8割程を占めるのに対し、英語学科では25.0%、観光文化学科では29.2%と満足度にばらつきがあり、学科によって満足度に差がみられる。

< 転職 >

転職しなかった人は、卒業時から現在までに正規職員への登用がやや増加している（卒業時 69.3%⇒現在 72.9%）

一方、転職した人は、卒業時よりも「正規職員」の割合が減少している。転職した人よりも、転職せずに継続して働いている人の方が正規職員の登用率が高く、この結果は前回調査でも同様の傾向を示している。



転職した理由について、少数ではあるが傾向をみると、前回調査の上位3つのうちすべてが今回調査でも上位に挙げられている。

転職理由は職種や職場環境によって大きく異なると想定されるが、「仕事内容」や「人間関係」、「社風・職場の雰囲気」などの職場環境や「将来性」といった職場の安定性を重視する人が多い様子がうかがえる。

【転職した理由】

	今回調査 (N=39)	前回調査 (N=36)
1位	仕事内容 (43.6%)	将来性 (38.9%)
2位	人間関係 (35.9%)	仕事内容 社風・職場の雰囲気 (ともに 33.3%)
3位	社風・職場の雰囲気 将来性 (ともに 28.2%)	人間関係 (30.6%)

▶ 就職全般について

前回調査結果と同様に、大半の卒業生が正規職員で採用され、一定数の転職した卒業生はいるものの、就業状況や雇用形態、勤務先の満足度から、現在の職場には概ね満足している卒業生が4割以上おり、卒業時から転職せずに現在の職場で経験を積んでいる様子がうかがえる。

在学生に対する学生調査の結果と関連付けてみると、看護学科、栄養学科、保育科については、在学中に希望した進路に実際に進んでいる卒業生が多いことを踏まえると、大学から就職までは比較的スムーズに移行できていると考えられる。

しかしながら、希望する進路が「決まっていない」の回答が英語学科や観光文化学科においては2割程と他学科より多く、在学中はいいものの、在学中に得た学習成果を就職先で活かすことができない、または当初希望していた職種に就けなかった、想像していた仕事内容でなかったなどのケースにおいては、転職希望も高い傾向がうかがえる。

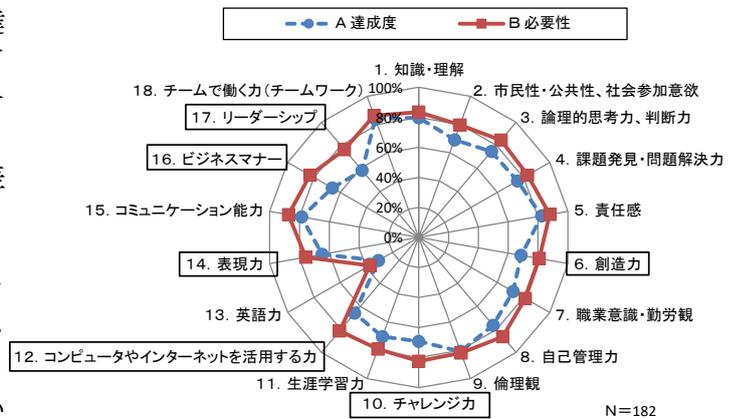
そうした意味で、入学時から卒業時までに、将来の進路をある程度明確に意識させること、また、仕事内容など卒業してから大きなギャップを感じないように、職場環境や仕事内容を具体的にイメージできるように在学中からの進路支援も必要であると考えられる。

また、転職したと回答した卒業生は前回調査 (26.1%) から今回調査 (23.5%) では減少している。

▶大学・短期大学部で受けた教育について【大学・短期大学部での達成度と仕事上における必要性】

＜達成度と必要性＞

大学・短期大学部で得た力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「役に立つ」+「やや役に立つ」）として分析した。なお、達成度と必要性の差が大きい上位6項目には枠を付けている。



達成度は、「18. チームで働く力（チームワーク）」、「5. 責任感」、「9. 倫理観」、「1. 知識・理解」、「15. コミュニケーション能力」、「8. 自己管理能力」の順に高く、これらの項目については必要性と達成度の差が小さいものも多く、大学・短期大学部で身につけた力が仕事上において役立っていると考えられる。

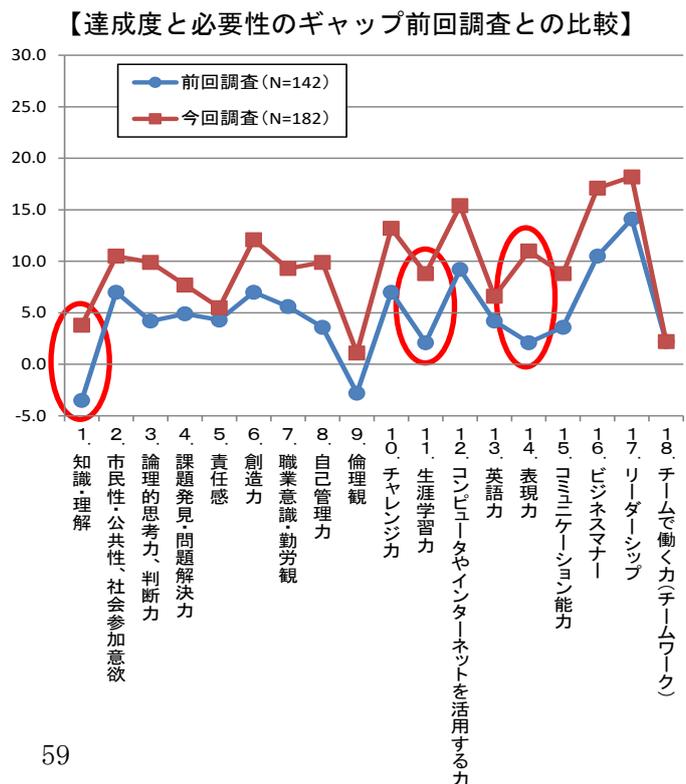
一方、必要性が高いのに対し、達成度が低い項目は「17. リーダーシップ」で18.2ポイント必要性の方が高く、最も差が大きい。また、「16. ビジネスマナー」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、「10. チャレンジ力」、「6. 創造力」、「14. 表現力」も差が見受けられ、社会に出てから必要となる「16. ビジネスマナー」を除くと、主体性が求められる分野やICTに関する分野の達成度が低いと感じている卒業生が多い。

学科別に達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）をみると、看護学科では「16. ビジネスマナー」「17. リーダーシップ」、福祉学科では「11. 生涯学習力」、栄養学科では「16. ビジネスマナー」、英語学科では「3. 論理的思考力、判断力」「17. リーダーシップ」、観光文化学科では「8. 自己管理能力」、助産別科では「13. 英語力」、保育科では「17. リーダーシップ」でギャップが大きい。

＜達成度と必要性のギャップ（前回調査との比較）＞

達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）について前回調査と比較を行った。

項目によってバラツキがあるが、特にギャップが広がっているのは、「14. 表現力」（8.9ポイント差）、「1. 知識・理解」（7.3ポイント差）、「11. 生涯学習力」（6.7ポイント差）である。



<能力やスキルを身につけるために役立ったこと>

能力やスキルを身につけるにあたり、多くの卒業生が大学での講義が役立ったと回答している。特に「1. 知識・理解」については大学での講義を挙げる人が多く 70%を超えている。

一方、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「5. 責任感」、「7. 職業意識・勤労観」、「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」については実習、インターンシップで役立ったと感じている。このように、大学の講義だけでなく、研究室、ゼミ活動や実習、インターンシップなどを通じて必要な能力やスキルを習得している様子が見えてくる。

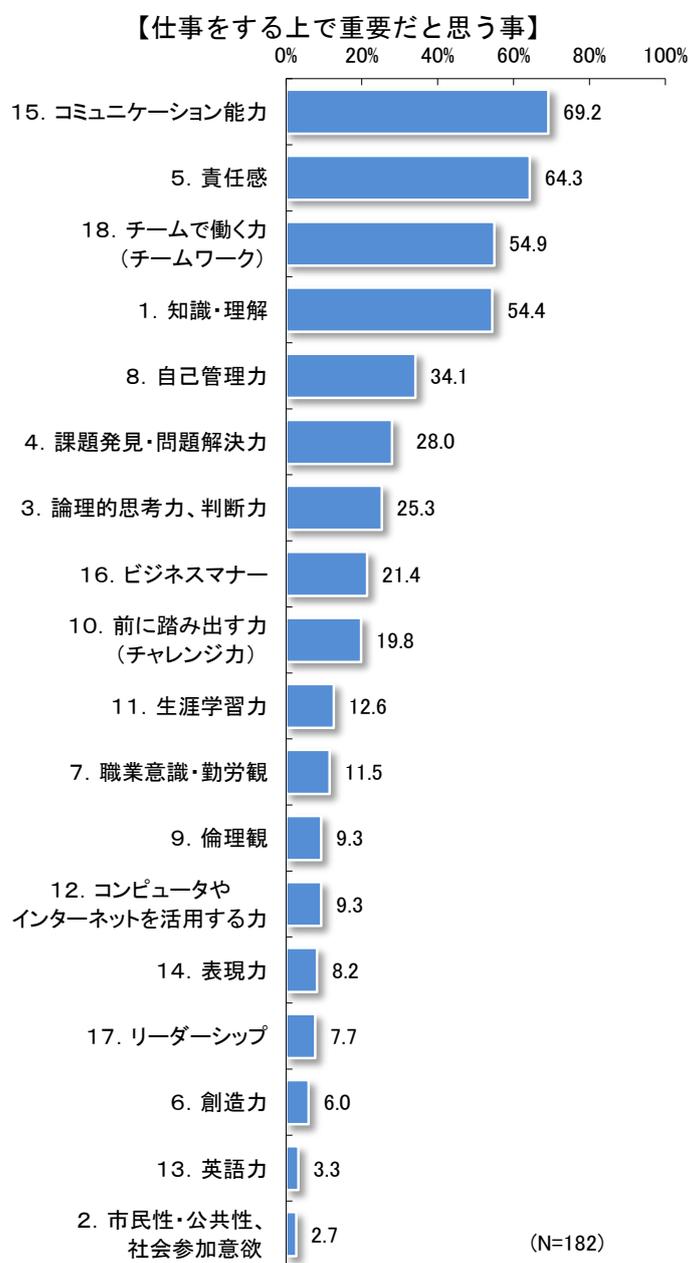
また、社会で必要とされる能力やスキルに対し、卒業生が特に達成度が低いと感じている「リーダーシップ」、「ビジネスマナー」、「コンピュータやインターネットを活用する力」については、大学での講義や研究室、ゼミ活動での習得率が高いため、今後はこうした社会で必要とされる能力やスキルの習得を意識した在学中からの指導が必要だと言える。

<仕事をする上で重要だと思う事>

仕事をする上で重要だと思う事については、「15. コミュニケーション能力」や「5. 責任感」、「18. チームで働く力(チームワーク)」が上位に挙げられた。

これは、大学・短期大学部で身につけた力やスキルにおける達成度が高い項目とも一致しており、大学・短期大学部で学んだことや経験したことが仕事をする上でも役立っていると考えられる。

また、前回調査においても概ね同様の結果となっており、「15. コミュニケーション能力」と「5. 責任感」、「1. 知識・理解」は業種や職種に関わらず仕事をする上で特に重要視されていることが分かる。



※回答のなかった項目は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2023年3月卒業生 就職受け入れ事業所
調査方法	郵送配布・回収、FAX回収
回収数	148事業所
調査時期	2023年12月11日～2024年3月13日
回収率	下表の通り

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
看護学科	38	13	34.2% (33.3%)
福祉学科	61	35	57.4% (47.7%)
栄養学科	44	27	61.4% (44.3%)
英語学科	30	14	46.7% (37.8%)
観光文化学科	57	27	47.4% (52.8%)
助産別科	14	4	28.6% (10.5%)
全体	244	120	49.2% (41.8%)

()内の前年度回収率

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
保育科	38	28	73.7% (64.5%)
全体	38	28	73.7% (64.5%)

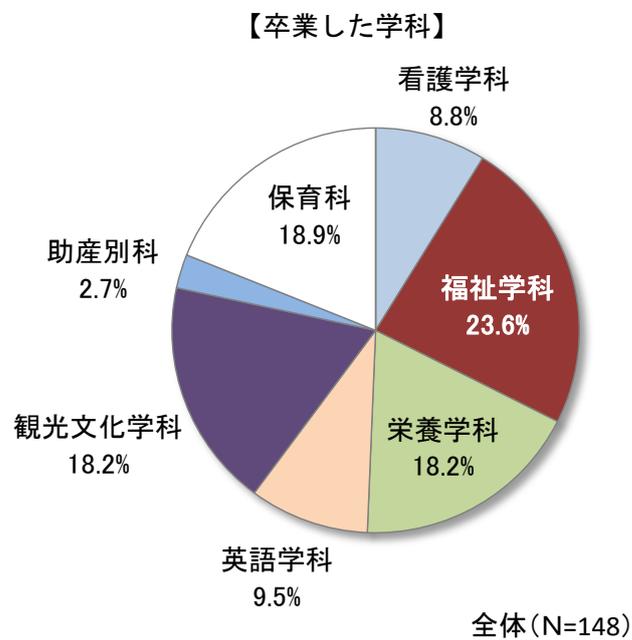
()内の前年度回収率

【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

2. 調査結果

〔1〕回答者について



〔2〕仕事に必要な能力

① 必要性和達成度（全体）

問 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

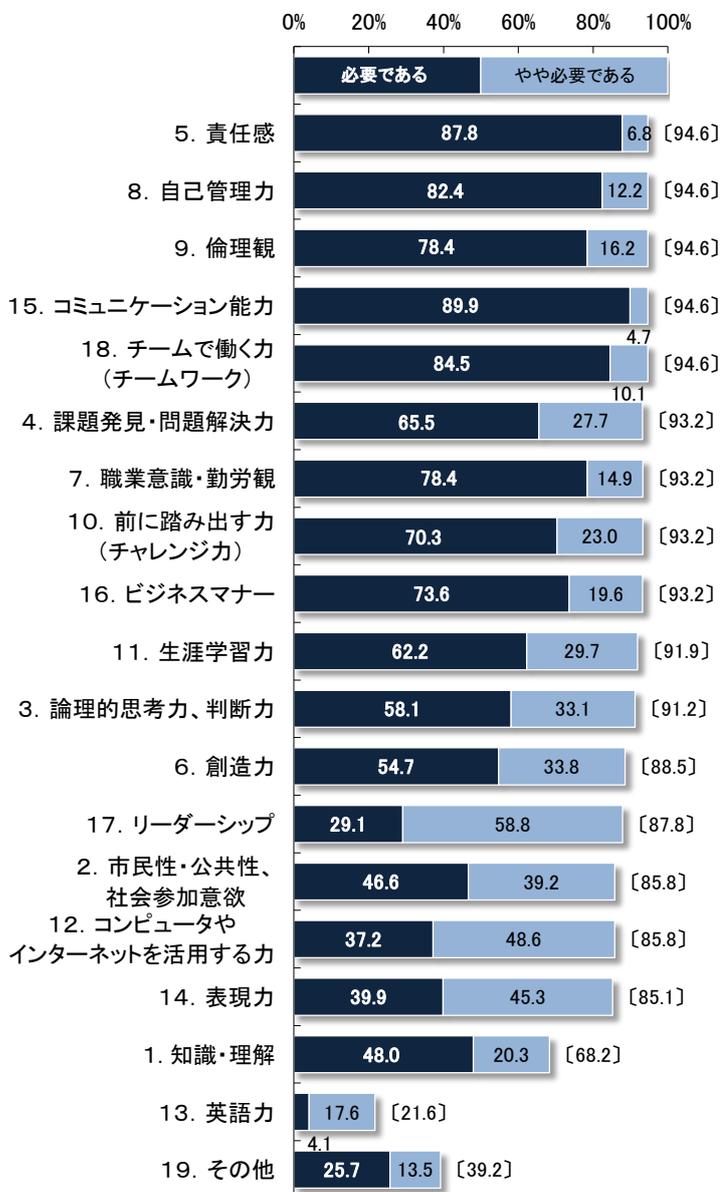
就職受け入れ先からみた、現在の仕事においてのスキルや能力について、全体的にほとんどの項目は『必要である』（必要である＋やや必要である）とされており、なかでも「5. 責任感」、「8. 自己管理能力」、「9. 倫理観」、「15. コミュニケーション能力」、「18. チームで働く力（チームワーク）」（いずれも 94.6%）、「4. 課題発見・問題解決力」、「7. 職業意識・勤労観」、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」、「16. ビジネスマナー」（いずれも 93.2%）が上位に挙げられている。また、「必要である」の割合に着目した場合、「15. コミュニケーション能力」（89.9%）や「5. 責任感」（87.8%）が特に必要視されている様子がうかがえる。

一方、卒業生が力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価されている項目をみると、「9. 倫理観」（89.2%）が最も多く、次いで「5. 責任感」（86.5%）、「8. 自己管理能力」（84.5%）である。しかし、求められる能力に対し、卒業生の達成度は総じて低い傾向にある。

【仕事に必要な能力】

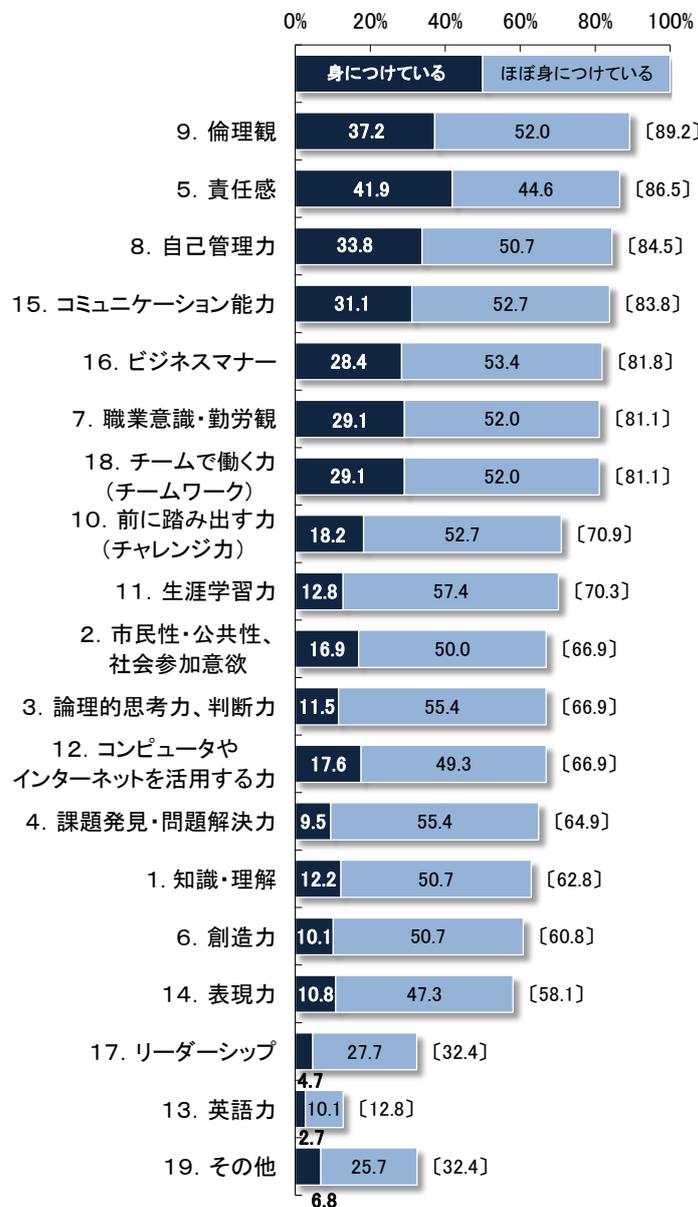
必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=148)



達成度

西南女学院大学卒業生の力やスキル
(各項目ともN=148)



注1) 必要性の選択肢は「必要である」、「やや必要である」、「あまり必要でない」、「必要でない」の4段階。

注2) 必要性の〔 〕は「必要である」+「やや必要である」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

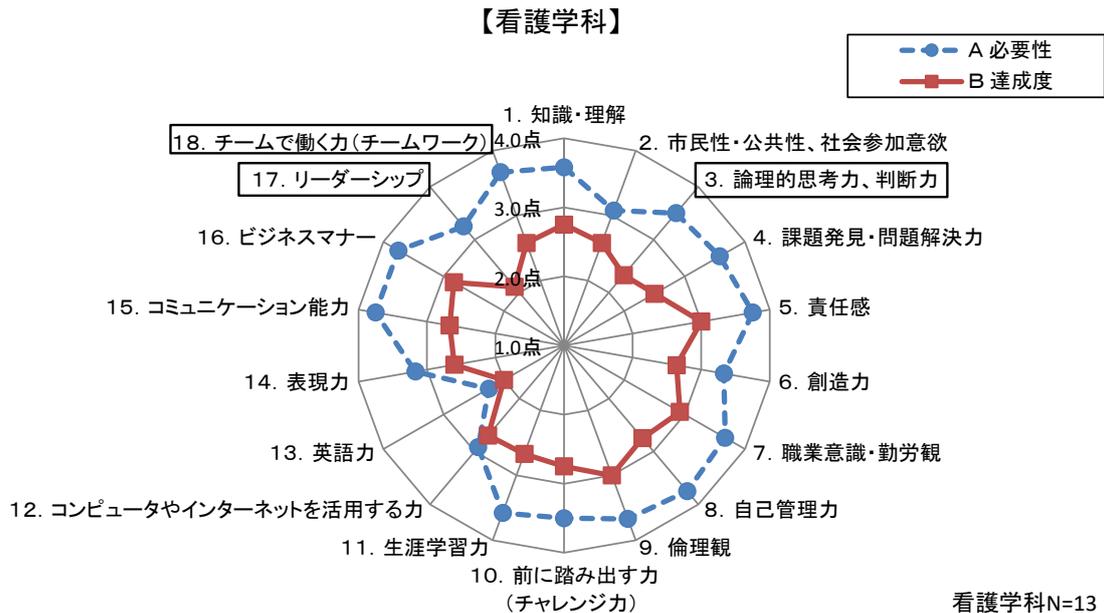
注3) 達成度の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」、「わからない」の5段階。

注4) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

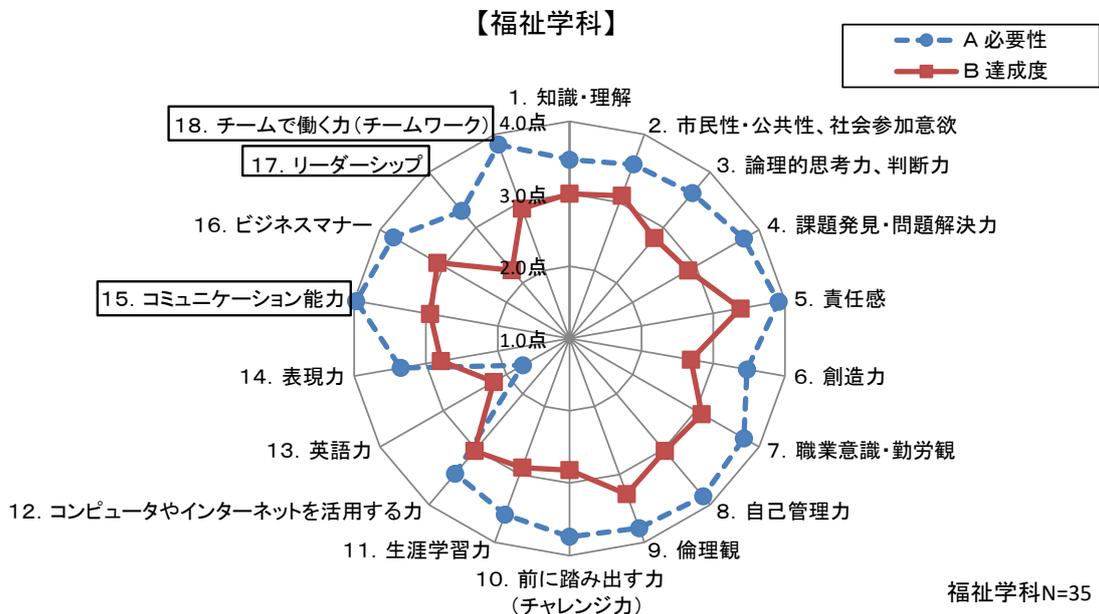
② 必要性と達成度（学科別）

必要性と達成度について、「必要である」、「身につけている」=4点、「やや必要である」、「ほぼ身につけている」=3点、「あまり必要でない」、「あまり身につけていない」=2点、「必要でない」、「身につけていない」=1点として配点し、必要性と達成度の各項目の平均点を算出した。必要性と達成度を比較し、仕事に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

看護学科では、「3. 論理的思考力、判断力」の必要性が達成度よりも1.17ポイント高くなっており、次いで、「17. リーダーシップ」が1.14ポイント、「18. チームで働く力(チームワーク)」が1.09ポイント高くなっている。

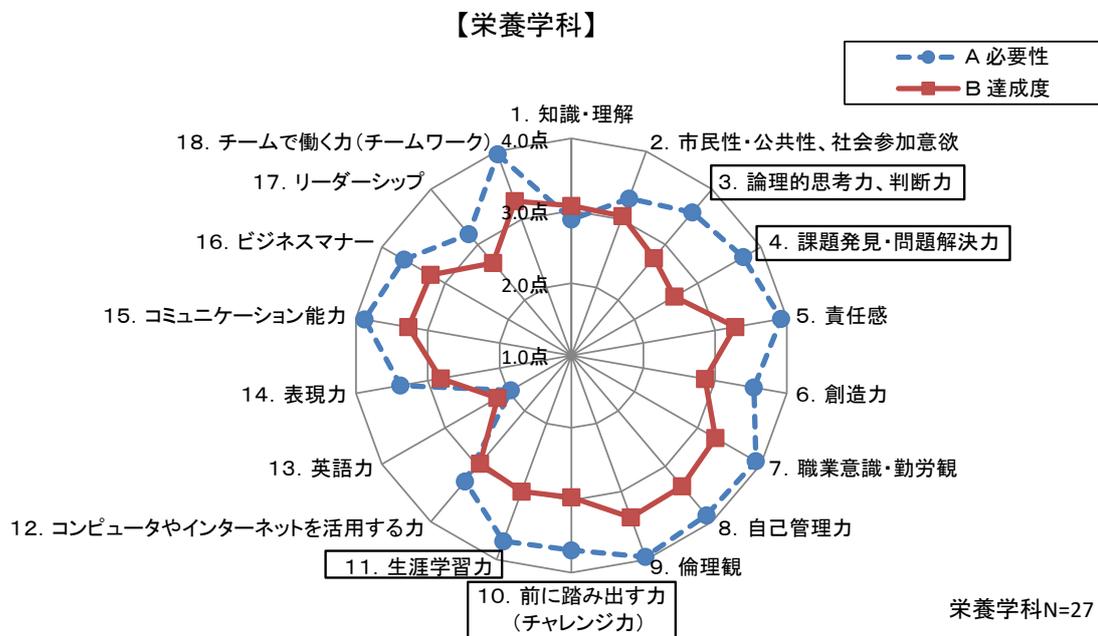


福祉学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも1.07ポイント高くなっており、次いで、「15. コミュニケーション能力」が1.03ポイント、「18. チームで働く力(チームワーク)」が0.94ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも0.46ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

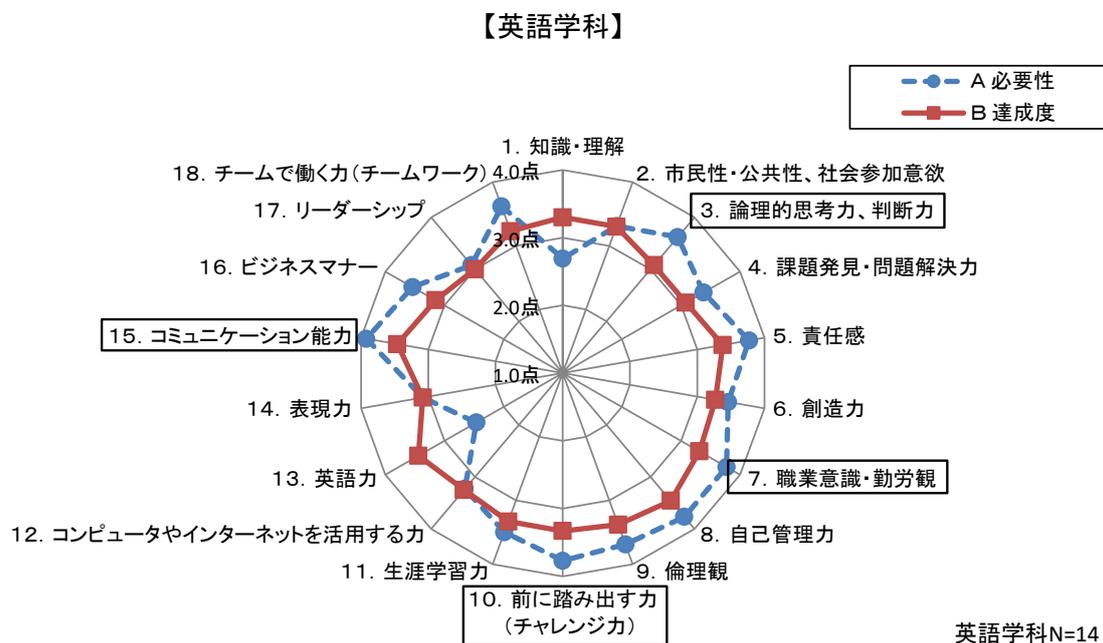


第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

栄養学科では、「4. 課題発見・問題解決力」で必要性が達成度よりも 1.09 ポイント高くなっている。次いで、「3. 論理的思考力、判断力」が 0.82 ポイント、「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」「11. 生涯学習力」が 0.73 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.21 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

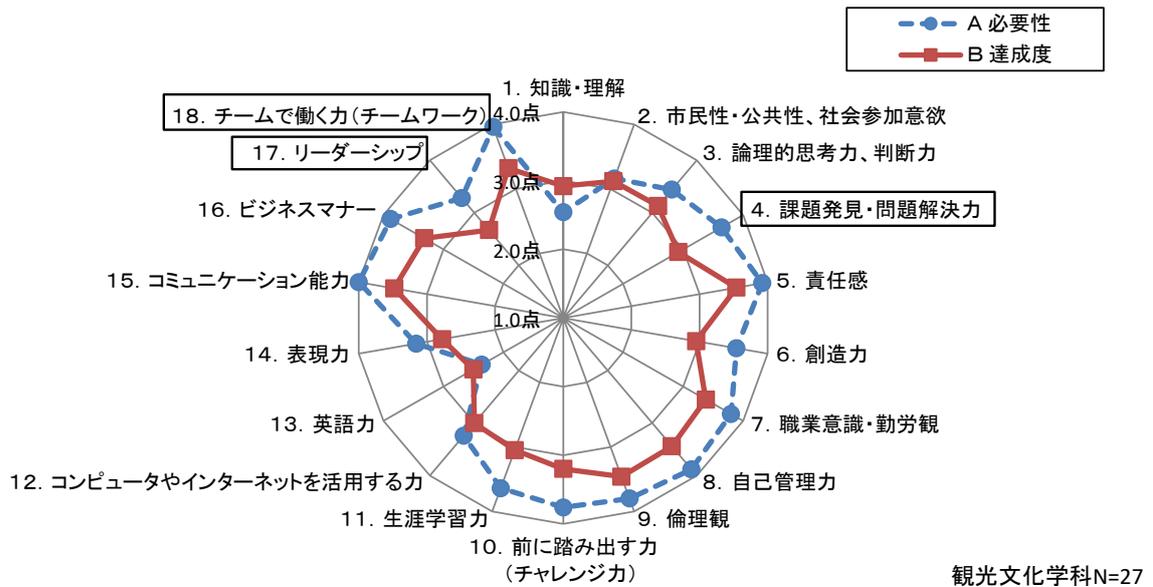


英語学科では、「3. 論理的思考力、判断力」の必要性が達成度よりも 0.54 ポイント高くなっており、次いで、「7. 職業意識・勤労観」「15. コミュニケーション能力」が 0.46 ポイント、「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」が 0.44 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.98 ポイント、「1. 知識・理解」が 0.61 ポイント、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」が 0.02 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」と「1. 知識・理解」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。



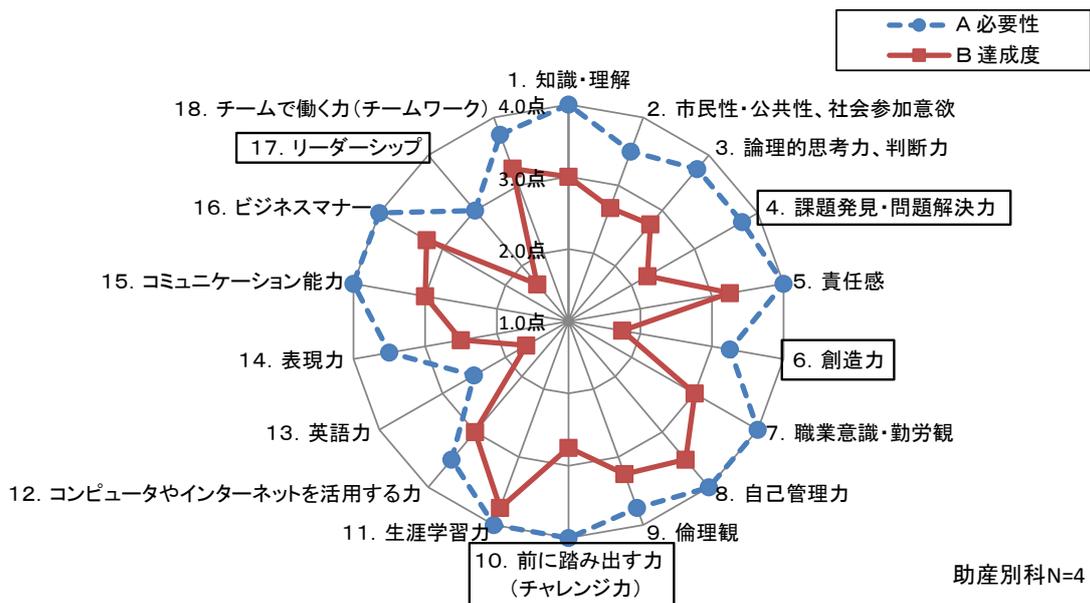
観光文化学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 0.72 ポイント高くなっており、次いで、「18. チームで働く力(チームワーク)」が 0.64 ポイント、「17. リーダーシップ」が 0.61 ポイント高くなっている。一方、「1. 知識・理解」の達成度は必要性よりも 0.38 ポイント、「13. 英語力」が 0.14 ポイント高くなっていることから「1. 知識・理解」と「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

【観光文化学科】



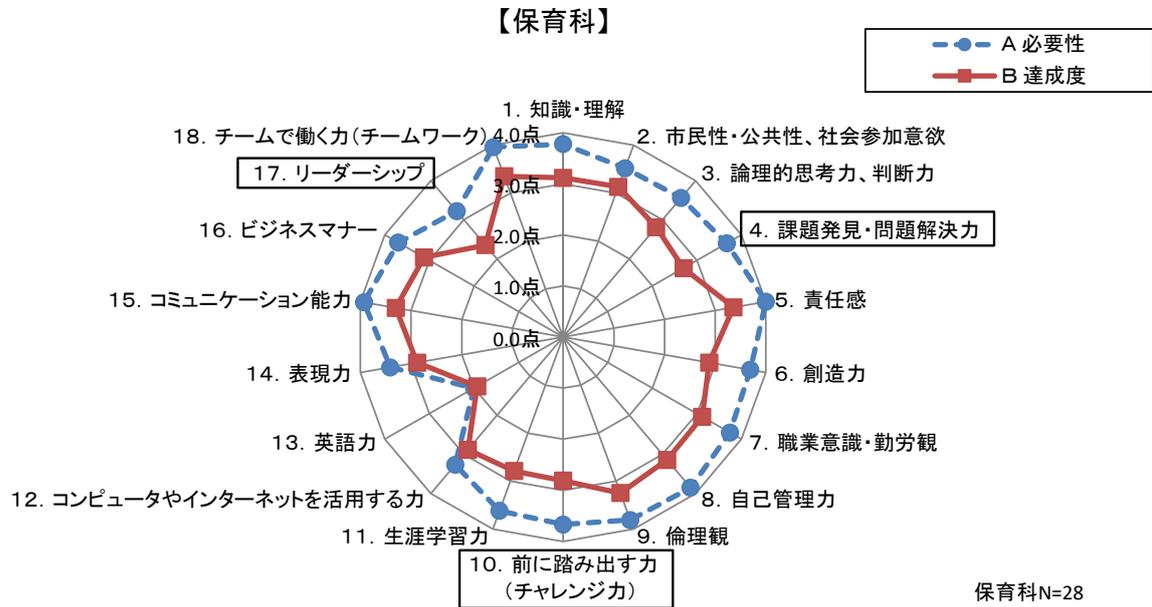
助産別科では、「4. 課題発見・問題解決力」「6. 創造力」の必要性が達成度よりも 1.50 ポイント高くなっており、次いで、「17. リーダーシップ」が 1.33 ポイント、「10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)」が 1.25 ポイント高くなっている。

【助産別科】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

保育科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも0.97ポイント高くなっており、次いで、「17. リーダーシップ」が0.87ポイント、「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」が0.86ポイント高くなっている。



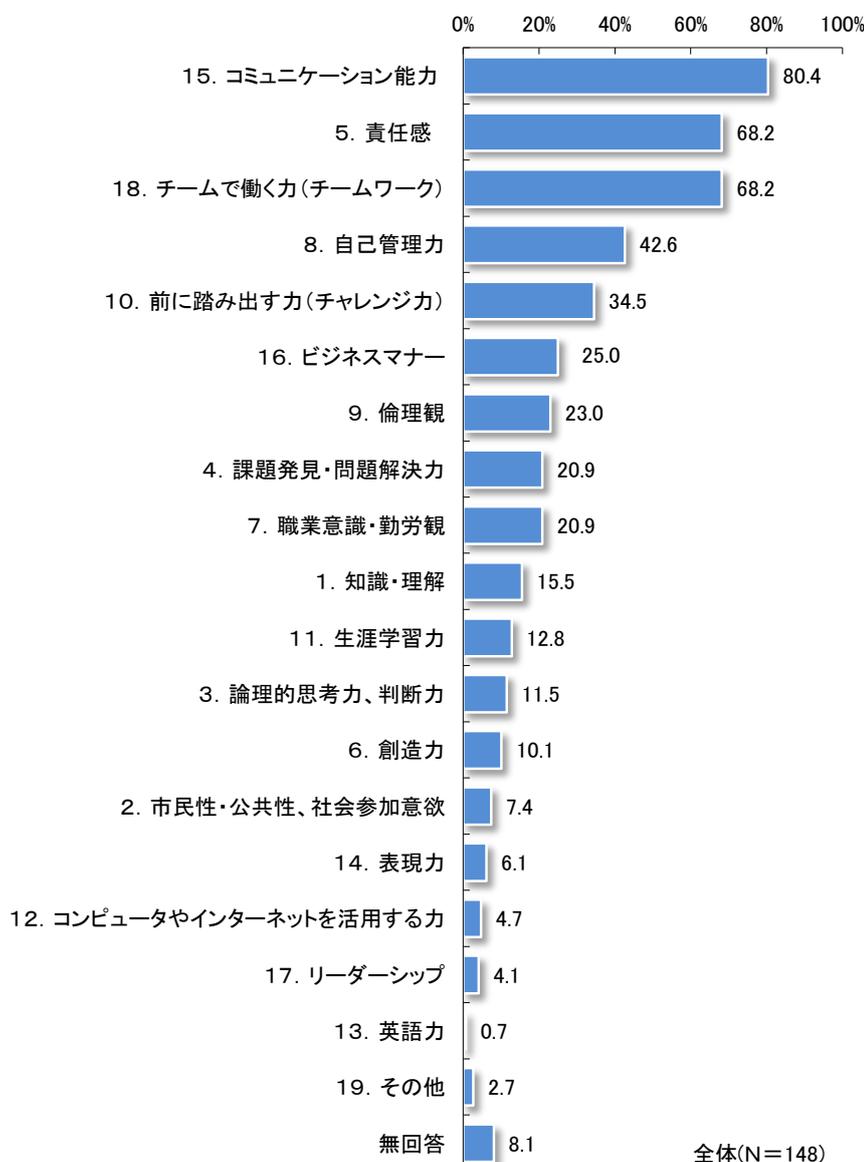
③ 採用の際に重要視する能力

問 採用の際、重要視する能力上位5つに○をつけてください。

採用の際、重要視する能力は、「15. コミュニケーション能力」(80.4%)が最も多く、次いで、「5. 責任感」、「18. チームで働く力(チームワーク)」(いずれも68.2%)が6割以上で高くなっている。

また、学科別にみると、最も重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」、「5. 責任感」、「18. チームで働く力(チームワーク)」の有無が重要とされていることがわかる。それ以外の項目では、看護学科、英語学科、助産別科では「8. 自己管理能力」、栄養学科、観光文化学科では「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」、保育科では「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」が他学科と比べて高くなっている。

【採用の際に重要視する能力】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 採用の際に重要視する能力 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	5. 責任感	18. チームで働く力 (チームワーク)	8. 自己管理能力	10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	16. ビジネスマナー	9. 倫理観	4. 課題発見・問題解決力	7. 職業意識・勤労観	1. 知識・理解
全体	148	80.4	68.2	68.2	42.6	34.5	25.0	23.0	20.9	20.9	15.5
看護学科	13	84.6	53.8	69.2	61.5	23.1	30.8	23.1	23.1	30.8	23.1
福祉学科	35	77.1	68.6	65.7	45.7	20.0	31.4	25.7	17.1	17.1	20.0
栄養学科	27	85.2	59.3	77.8	25.9	48.1	18.5	22.2	22.2	29.6	14.8
英語学科	14	78.6	78.6	57.1	57.1	42.9	28.6	21.4	-	14.3	7.1
観光文化学科	27	77.8	59.3	63.0	25.9	48.1	29.6	25.9	33.3	7.4	3.7
助産別科	4	75.0	75.0	75.0	75.0	25.0	-	25.0	-	50.0	50.0
保育科	28	82.1	85.7	71.4	50.0	28.6	17.9	17.9	25.0	25.0	17.9

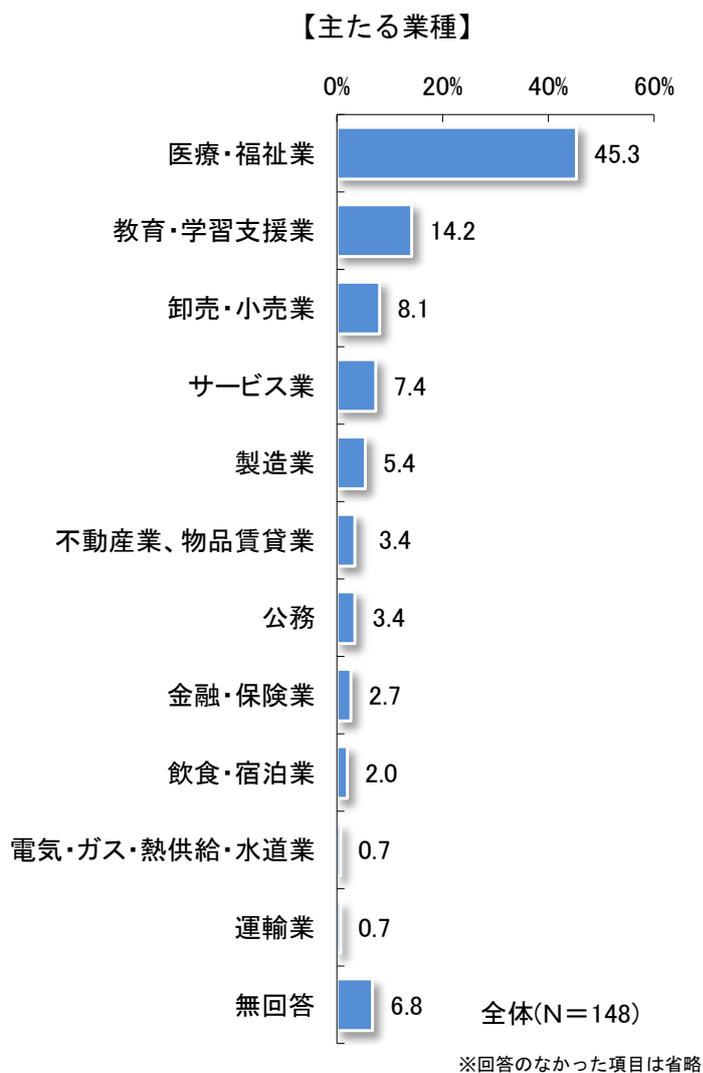
【学科別 採用の際に重要視する能力 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	11. 生涯学習力	3. 論理的思考力、判断力	6. 創造力	2. 市民性・公共性、社会参加意欲	14. 表現力	12. コンピュータやインターネットを活用する力	17. リーダーシップ	13. 英語力	19. その他	無回答
全体	148	12.8	11.5	10.1	7.4	6.1	4.7	4.1	0.7	2.7	8.1
看護学科	13	38.5	23.1	7.7	-	-	-	-	-	7.7	-
福祉学科	35	14.3	14.3	2.9	8.6	2.9	8.6	-	-	2.9	11.4
栄養学科	27	14.8	3.7	7.4	7.4	11.1	-	7.4	-	7.4	7.4
英語学科	14	-	7.1	14.3	-	-	-	14.3	7.1	-	14.3
観光文化学科	27	7.4	18.5	18.5	3.7	-	-	3.7	-	-	14.8
助産別科	4	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-
保育科	28	7.1	7.1	14.3	17.9	17.9	10.7	3.6	-	-	-

〔3〕事業所の概要

問 主たる業種に○をつけてください。

事業所の主たる業種は「医療・福祉業」(45.3%)が最も多く、次いで「教育・学習支援業」(14.2%)、「卸売・小売業」(8.1%)となっている。



【学科別 主たる業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	医療・ 福祉業	教育・ 学習支援業	卸売・ 小売業	サー ビス業	製 造業	不 動 産 業、 物 品 賃 貸 業
全 体	148	45.3	14.2	8.1	7.4	5.4	3.4
看護学科	13	100.0	-	-	-	-	-
福祉学科	35	65.7	20.0	-	-	-	-
栄養学科	27	37.0	-	11.1	7.4	11.1	-
英語学科	14	7.1	7.1	28.6	7.1	7.1	21.4
観光文化学科	27	11.1	-	18.5	25.9	14.8	7.4
助産別科	4	75.0	-	-	25.0	-	-
保育科	28	50.0	46.4	-	-	-	-

【学科別 主たる業種 (2/2)】 (%)

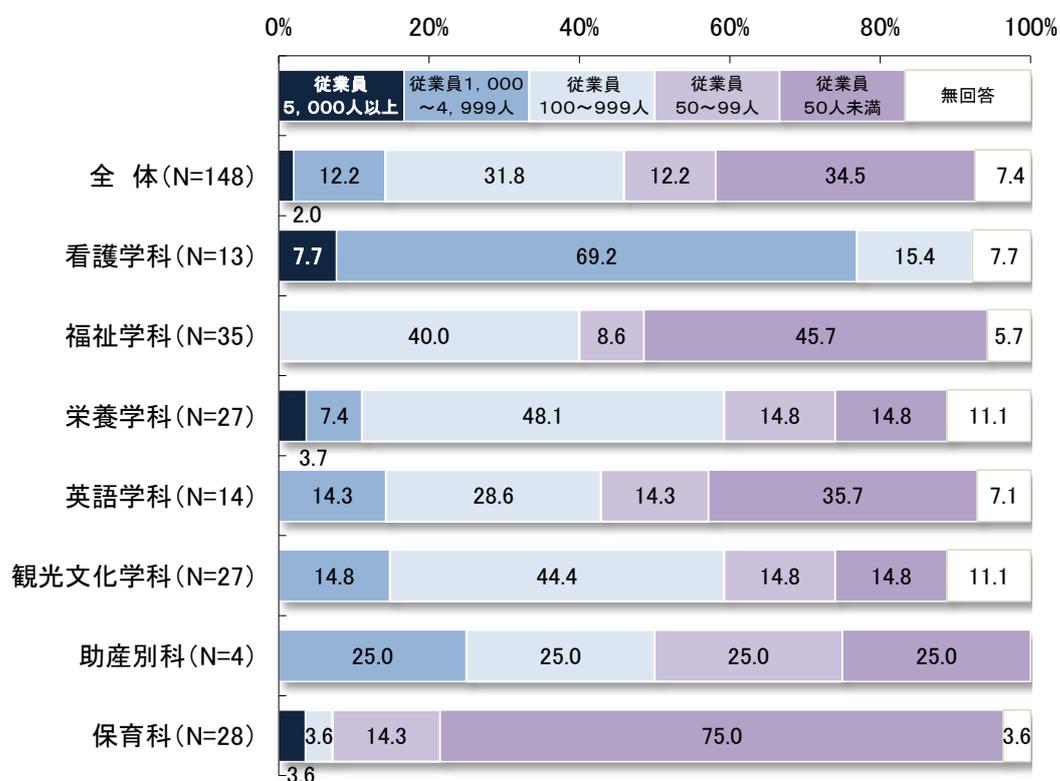
	全体 (人)	公 務	金 融 ・ 保 険 業	飲 食 ・ 宿 泊 業	水 道 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・	運 輸 業	無 回 答
全 体	148	3.4	2.7	2.0	0.7	0.7	6.8	
看護学科	13	-	-	-	-	-	-	
福祉学科	35	2.9	-	2.9	-	2.9	5.7	
栄養学科	27	3.7	11.1	3.7	3.7	-	11.1	
英語学科	14	7.1	-	-	-	-	14.3	
観光文化学科	27	7.4	3.7	-	-	-	11.1	
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	
保育科	28	-	-	3.6	-	-	-	

問 従業員数に○をつけてください。

従業員数は、「従業員 50 人未満」(34.5%) が最も多く、次いで、「従業員 100～999 人」(31.8%)、「従業員 1,000～4,999 人以上」「従業員 50 人以上」(いずれも 12.2%) となっている。

学科別の従業員数をみると、他と比べて「従業員 5,000 人以上」では看護学科 (7.7%) が高く、「従業員 50 人未満」では、保育科 (75.0%) が高くなっている。

【従業員数】

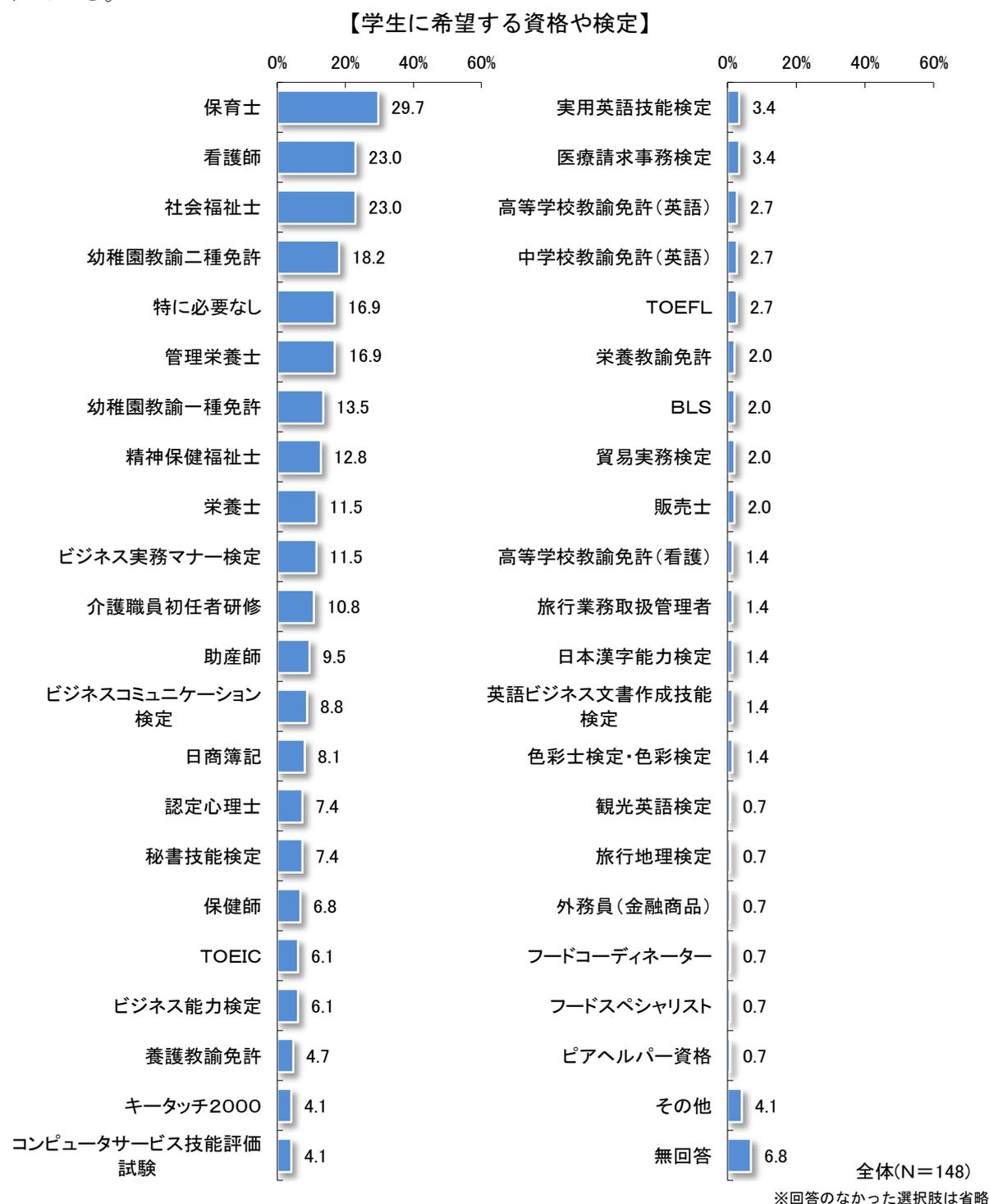


〔4〕 学生に希望する資格や検定

問 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

学生に希望する資格や検定は、「保育士」(29.7%)が最も多く、次いで、「看護師」「社会福祉士」(いずれも23.0%)、「幼稚園教諭二種免許」(18.2%)となっている。一方で、「特に必要なし」は16.9%である。

また、学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」、助産別科で「助産師」、保育科で「保育士」等、卒業学科に応じた専門性が求められている。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 学生に希望する資格や検定 (1/3)】 (%)

全体 (人)	保育士	看護師	社会福祉士	幼稚園教諭二種免許	特に必要なし	管理栄養士	幼稚園教諭一種免許	精神保健福祉士	栄養士	ビジネス実務マナー検定	介護職員初任者研修	助産師	ビジネスコミュニケーション検定	日商簿記	認定心理士
全体	148	29.7	23.0	23.0	18.2	16.9	13.5	12.8	11.5	11.5	10.8	9.5	8.8	8.1	7.4
看護学科	13	7.7	92.3	15.4	-	15.4	-	7.7	7.7	-	7.7	69.2	-	-	7.7
福祉学科	35	40.0	28.6	62.9	20.0	5.7	14.3	14.3	40.0	14.3	11.4	28.6	5.7	5.7	17.1
栄養学科	27	11.1	11.1	3.7	-	29.6	40.7	-	3.7	18.5	11.1	7.4	-	3.7	3.7
英語学科	14	7.1	-	7.1	7.1	42.9	7.1	7.1	-	21.4	-	-	21.4	14.3	7.1
観光文化学科	27	3.7	7.4	7.4	3.7	33.3	11.1	3.7	-	3.7	18.5	-	22.2	18.5	-
助産別科	4	-	75.0	25.0	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	75.0	-	-	25
保育科	28	85.7	14.3	17.9	64.3	-	7.1	46.4	7.1	17.9	3.6	7.1	-	3.6	3.6

【学科別 学生に希望する資格や検定 (2/3)】 (%)

全体 (人)	秘書技能検定	保健師	TOEIC	ビジネス能力検定	養護教諭免許	キータッチ2000	評価試験	コンピュータサービステクニク検定	実用英語技能検定	医療請求事務検定	高等学校教諭免許(英語)	中学校教諭免許(英語)	TOEFL	栄養教諭免許	BLS	貿易実務検定
全体	148	7.4	6.8	6.1	6.1	4.7	4.1	4.1	3.4	3.4	2.7	2.7	2.7	2.0	2.0	2
看護学科	13	-	7.7	-	-	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	15.4	-
福祉学科	35	5.7	14.3	2.9	8.6	20.0	5.7	5.7	-	2.9	5.7	5.7	2.9	2.9	-	-
栄養学科	27	11.1	3.7	3.7	11.1	-	7.4	-	-	3.7	-	-	3.7	-	-	-
英語学科	14	21.4	-	28.6	7.1	-	-	14.3	14.3	-	14.3	14.3	7.1	-	-	7.1
観光文化学科	27	11.1	7.4	11.1	7.4	-	3.7	3.7	7.4	7.4	-	-	3.7	-	-	7.4
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-
保育科	28	-	3.6	-	-	-	3.6	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-

【学科別 学生に希望する資格や検定 (3/3)】 (%)

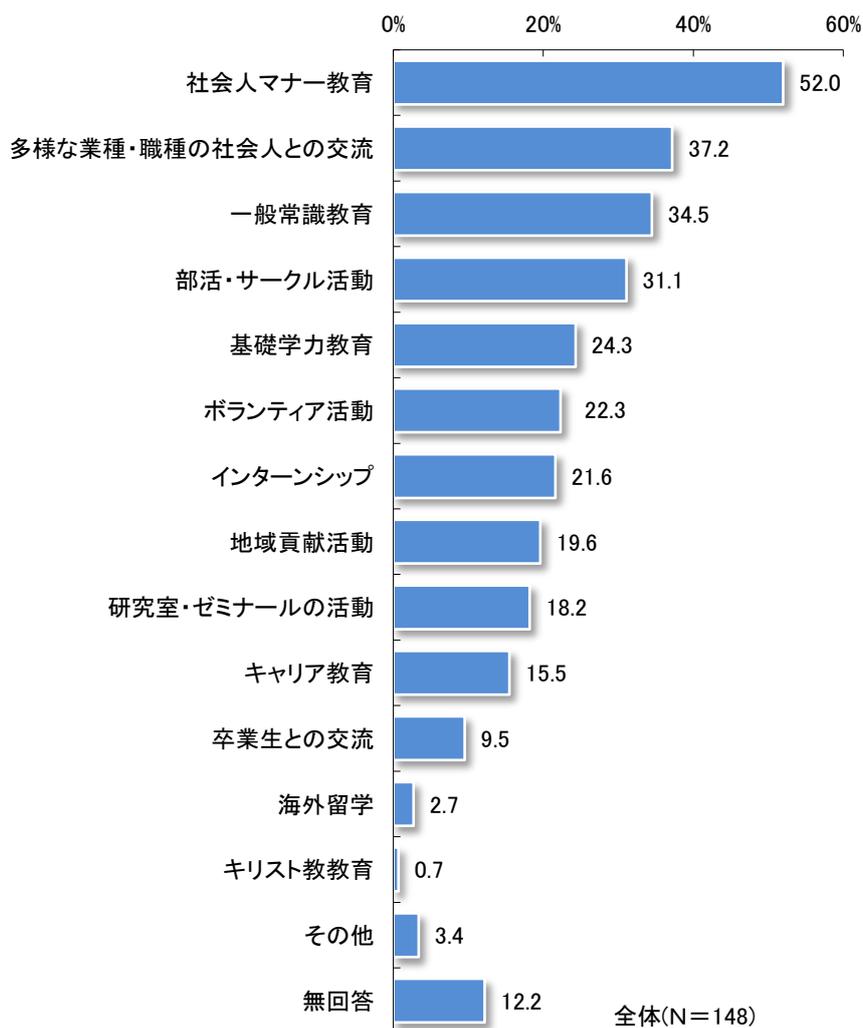
全体 (人)	販売士	高等学校教諭免許(看護)	旅行業務取扱管理者	日本漢字能力検定	英語ビジネス文書作成技能検定	色彩士検定・色彩検定	観光英語検定	旅行地理検定	外務員(金融商品)	フードコーディネーター	フードスペシャリスト	ピアヘルパー資格	その他	無回答
全体	148	2.0	1.4	1.4	1.4	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	4.1	6.8
看護学科	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7
福祉学科	35	-	5.7	-	2.9	-	-	-	-	2.9	-	2.9	-	5.7
栄養学科	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	11.1
英語学科	14	-	-	-	7.1	-	7.1	-	-	-	-	-	14.3	7.1
観光文化学科	27	11.1	-	7.4	3.7	3.7	7.4	3.7	3.7	-	-	-	7.4	11.1
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	3.6	-

〔5〕大学生の人間形成に必要な支援

問 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

大学の人間形成に必要な支援は、「社会人マナー教育」(52.0%)が最も多く、次いで、「多様な業種・職種の社会人との交流」(37.2%)、「一般常識教育」(34.5%)となっている。

【大学生の人間形成に必要な支援】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援 (1/2)】 (%)

	全体(人)	社会人マナー教育	多様な業種・職種との交流	一般常識教育	部活・サークル活動	基礎学力教育	ボランティア活動	インターンシップ	地域貢献活動
全体	148	52.0	37.2	34.5	31.1	24.3	22.3	21.6	19.6
看護学科	13	69.2	38.5	38.5	30.8	53.8	7.7	7.7	15.4
福祉学科	35	57.1	42.9	34.3	31.4	8.6	37.1	22.9	28.6
栄養学科	27	44.4	29.6	25.9	25.9	22.2	7.4	18.5	14.8
英語学科	14	50.0	35.7	28.6	35.7	14.3	14.3	21.4	14.3
観光文化学科	27	37.0	40.7	29.6	25.9	25.9	3.7	18.5	11.1
助産別科	4	50.0	100.0	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0
保育科	28	60.7	25.0	42.9	35.7	32.1	42.9	32.1	21.4

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援 (2/2)】 (%)

	全体(人)	研究室・ゼミナールの活動	キャリア教育	卒業生との交流	海外留学	キリスト教教育	その他	無回答
全体	148	18.2	15.5	9.5	2.7	0.7	3.4	12.2
看護学科	13	-	46.2	15.4	-	-	-	7.7
福祉学科	35	17.1	5.7	11.4	2.9	-	8.6	5.7
栄養学科	27	14.8	3.7	3.7	-	-	-	22.2
英語学科	14	14.3	14.3	14.3	7.1	-	14.3	21.4
観光文化学科	27	18.5	18.5	3.7	7.4	-	-	18.5
助産別科	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-
保育科	28	32.1	21.4	10.7	-	3.6	-	3.6

〔6〕採用について

問 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。

各事業所において、過去5年間で採用に実績がある大学名を3校まで自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

看護学科

大学名	記入数
関東学院大学	3
福岡女学院看護大学	2
神奈川県立保健福祉大学	2
純真学園大学	2
山口県立大学	2
九州大学	2
福岡県立大学	1
日本赤十字九州国際看護大学	1
日本赤十字看護大学	1
東京医療保健大学	1
大分大学	1
千葉科学大学	1
鹿児島純心大学	1
産業医科大学	1
山口大学	1
県立看護科学大学	1
熊本大学	1
活水女子大学	1
福岡大学	1
久留米大学	1
宇部フロンティア大学	1

栄養学科

大学名	記入数
北九州市立大学	3
中村学園大学	3
九州女子大学	3
九州栄養福祉大学	3
下関市立大学	3
西南学院大学	2
福山大学	1
福岡女子大学	1
福岡女学院大学	1
福岡大学	1
中村学園短期大学	1
西南女学院大学	1
聖泉大学	1
崇城大学	1
九州共立大学	1
京都女子大学	1

福祉学科

大学名	記入数
福岡県立大学	7
東筑紫短期大学	6
西南女学院大学	5
西南学院大学	5
九州女子短期大学	3
福岡大学	2
山口県立大学	2
山口大学	2
九州女子大学	2
九州産業大学	2
九州大学	2
北九州市立大学	2
別府大学	1
福岡教育大学	1
福岡こども専門学校	1
梅光女学院大学	1
日本文理大学	1
長崎国際大学	1
長崎大学	1
中村学園大学	1
大分大学	1
西南女学院大学短期大学部	1
西九州短期大学	1
周南公立大学	1
至誠館大学	1
佐賀女子短期大学	1
熊本大学	1
九州龍谷短期大学	1
九州大谷短期大学	1
九州共立大学	1
近畿大学九州短期大学	1
久留米大学	1
関西学院大学	1

英語学科

大学名	記入数
福岡女子大学	2
長崎大学	2
九州産業大学	2
北九州市立大学	2
明治大学	1
福岡女学院大学	1
福岡大学	1
東京女子大学	1
筑紫女学園大学	1
西日本工業大学	1
西南学院大学	1
昭和女子大学	1
山口大学	1
九州国際大学	1
久留米大学	1
下関市立大学	1
西南女学院大学	1

助産別科

大学名	記入数
日本赤十字九州国際看護大学	1
徳島大学	1
東筑紫学園大学	1
神戸大学	1
熊本大学	1
京都大学	1
関西医科大学	1
宇部フロンティア大学	1

観光文化学科

大学名	記入数
北九州市立大学	5
福岡大学	4
中村学園大学	3
下関市立大学	3
西南学院大学	3
梅光学院大学	2
山口大学	2
九州女子大学	2
福岡女学院大学	1
武庫川女子大学	1
長崎外国語大学	1
西南女学院大学	1
戸板女子短期大学	1
九州産業大学	1
九州工業大学	1
近畿大学	1
宮崎大学	1
関西学院大学	1
関西大学	1
園田学園女子大学	1
九州国際大学	1
折尾愛真短期大学	1

保育科

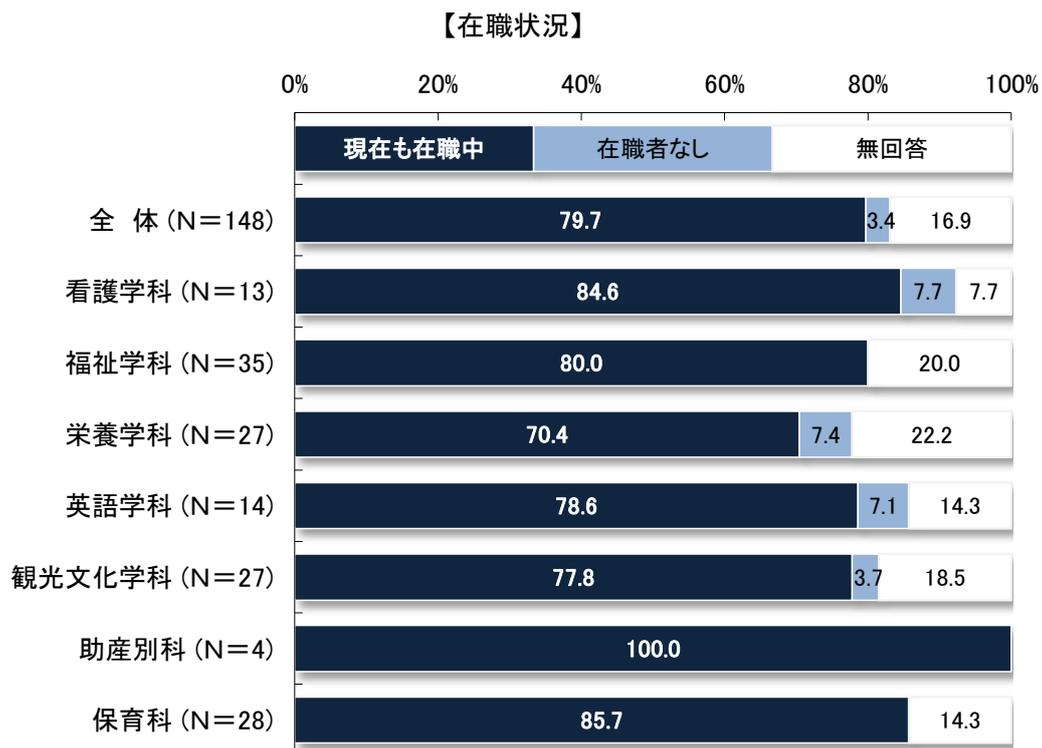
大学名	記入数
東筑紫短期大学	14
西南女学院大学短期大学部	9
九州女子大学	8
九州女子短期大学	4
北九州保育福祉専門学校	2
中村学園大学	2
西南女学院大学	2
別府短期大学	1
梅光学院大学	1
東洋英和女子大学	1
東九州短期大学	1
西南学院大学	1
精華女子短期大学	1
就実短期大学	1
鹿児島県立短期大学	1
山口芸術短期大学	1
溝部学園短期大学	1
近畿短期大学	1
下関短期大学	1
宇部フロンティア短期大学	1
龍谷短期大学	1

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

問 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

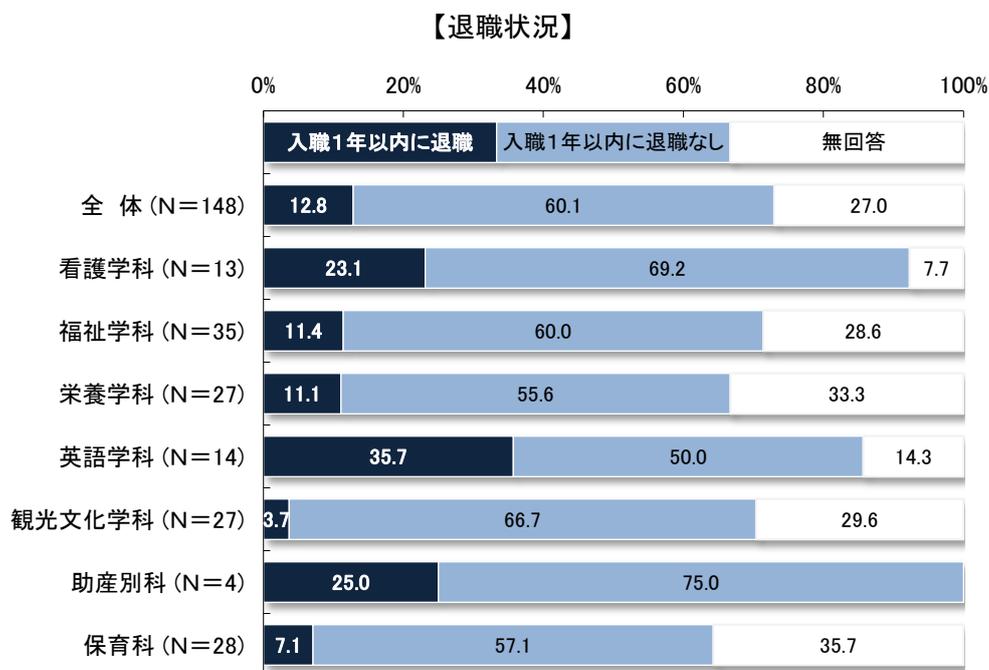
在職状況について、就業先全体では「現在も在職中」(79.7%)が最も多くなっている。

学科別にみると看護学科、助産別科、保育科では「現在も在職中」(看護学科：84.6%、助産別科：100.0%、保育科：85.7%)が80%を超えて多くなっている。



退職状況について、就業先全体では、「入職1年以内に退職なし」(60.1%)が最も多くなっている。

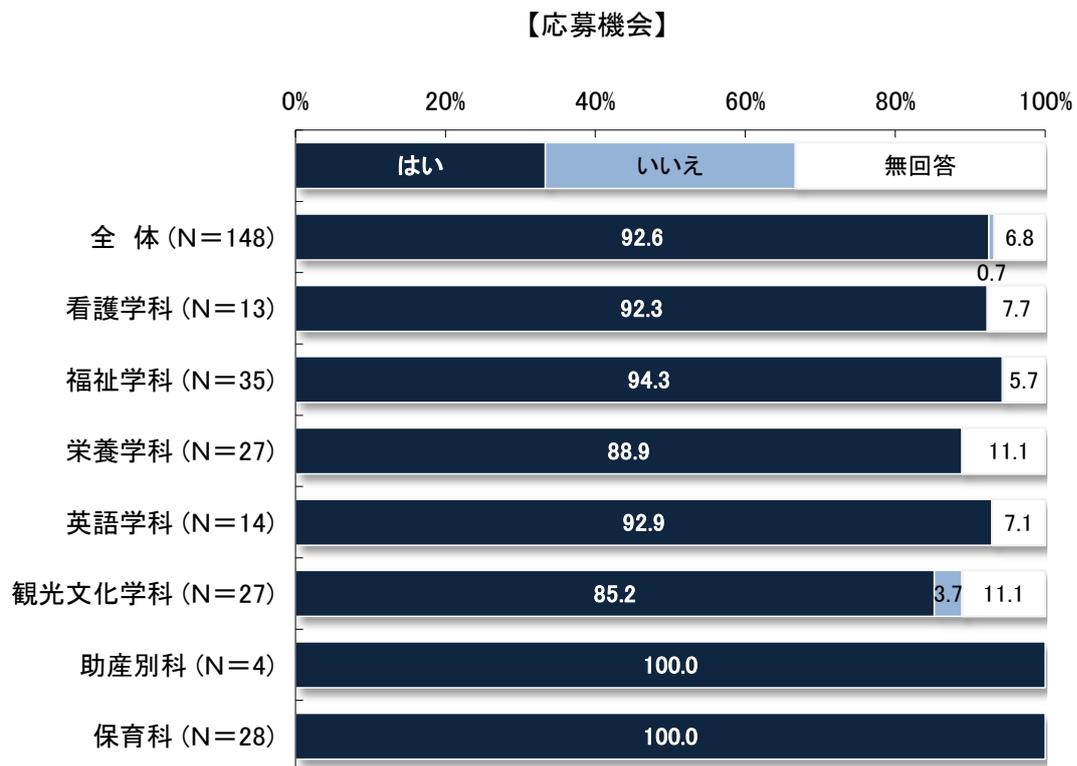
学科別にみると、無回答の割合が高い学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、看護学科、英語学科、助産別科では「入職1年以内に退職」の割合が他学科に比べ高い傾向にある。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

問 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

今後の応募機会について、全体結果及び学科別ともに「はい」の割合が大半を占める結果となっている。



〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【採用・就職支援について】

（回答者数：58人/148人）

学科	自由回答
看護学科	個別に就職説明会を開催頂き感謝申し上げます。 病院見学、インターンシップを企画しておりますので、貴校の学生の皆様にも参加して頂き、卒業生との交流する機会を作れればと思います。
福祉学科	採用については教育委員会なので本校での把握はしていません。養護教諭ではなく講師として採用されています。
栄養学科	来年度への応募もございましたが、募集時と採用試験日とで状況が変わってしまい、枠がなくなっておりました。学生の方には申し訳ない気持ちでいっぱいです。
観光文化学科	平素よりお世話になっております。2025年卒採用も3月より実施致しますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。 特に必要な資格はありませんので、観光業、接客業、商品開発等に興味がある方を積極的に採用しております。 貴学の優秀な学生様に本市を志望いただきたく、今後とも宜しく願い申し上げます。（本市では貴学出身の行政事務職、保育士、保健師、管理栄養士、志望者の応募をお受け致します。）
保育科	特にありません。就職課には、いつも丁寧に対応して頂き感謝しています。 今年度も求人1～2名出しております。よろしくお願い致します。

【現在就業中の卒業生について】

学科	自由回答
看護学科	今年度推薦頂いた方2名が早期に退職された。今まで貴校の学生さんは長く勤務頂けていたのに残念です。コロナの影響もあり実習経験が少なく、こんな忙しい病院では勤務は難しい、と言われてました。インターンシップ等で現場とのギャップをなくして就職先を選んでほしい。 今年度採用した職員は、業務の習得に対する意欲に欠け、8カ月で退職に至っています。まず、社会人としての自己管理を身に付けてほしいと感じました。今後共、よろしくお願い致します。
福祉学科	在職中2名の職員は、他の職員と比べて少し精神的に脆いところが見られますが、基本的に真面目でよく頑張っています。今後ともご指導よろしくお願い致します。 とても活躍されております。現在、〇〇氏と〇〇氏が在籍しています。 本年度採用者を含め、貴大学卒業生の方、皆さんとても頑張ってくれています。 養護教諭1年目として、様々なことを自ら吸収し、熱心に努力する姿が見られる。2年目が楽しみです。 弊社を選んでくださった卒業生の方は、当然のことながら、実習にみえる学生の皆さんが利用児者様及び同僚一人一人を大事に考え、何事にも真摯に穏やかに取り組まれる方ばかりで、感謝しています。

福祉学科	<p>大変素晴らしい人材を頂き、感謝しています。 現在職中の2名はとても優秀です。ありがとうございます。今後ともよろしくお 願い致します。</p>
栄養学科	<p>現在、在職されている貴大学卒業生の方は非常に良く、又、実習、試験を2回 も受けて頂き、感謝しています。とても評判の良い方です。ありがとうございます ました。 いつも素晴らしい人材の輩出をありがとうございます。本当に助かっていま す。</p>
観光文化学科	<p>明るく元気で一生懸命な〇〇さんのような学生とまたご縁がありましたら嬉し いです。 お世話になっております。この度入社頂きました卒業生の方は大変店舗のスタ ップにも好かれ、活発に過ごしていらっしゃるようです。今後もご縁を頂けますと 幸いです。宜しくお願ひ致します。 令和5年入社 of 〇〇さんは優秀な人材だと思います。今後順調に育っていけ ば将来は、管理職について頂ければと私は思います。御校におきましては今 後も彼女のような人材を多く育てていって頂ければと思います。</p>
保育科	<p>今年度採用させて頂いた職員の中に、西南女学院大学短期大学部卒業者が おります。とても明るく気付いたところがあると、率先して取り組むことができ、 同僚との関係も良好です。只今、クラス補助とお預かり保育の担当で頑張っ ています。将来は、担任としても頑張ってくれることと期待しております。感 謝致します。 R3. 4月に採用した1名は、適性に疑問があり、本人も他業種に転職を希望 したため、R4. 3月末に退職した。個々の特性を踏まえ、学内での就職相談 時に、保育にこだわらず、適性のある職業を探すことで本人の自信にも繋が ると思う。 非常に真面目で明るい卒業生が活躍しております。無資格で入社しまし た が、来年は資格取得のため研修を受け介護福祉士の受験をする予定です。 来年度は卒業生を連れて貴校を訪問させて頂きたいと思っております。どうぞ よろしくお願ひ致します。 基本的には、真面目な学生が多く、責任感を持ち働く事が出来ています。今 後共、宜しくお願ひ致します。 平素よりお世話になっております。御校から入社頂いた方は明るく元気な方が 多く、すぐに周りの従業員やお客様に愛され、活躍してくれています。引き続 き、よろしくお願ひ致します。</p>

【大学への要望】

学科	自由回答
福祉学科	特に要望等はありません。今後共、よろしくお願い致します。
	これからも情報の共有をよろしくお願い致します。
	今後ともどうぞ宜しくお願い致します。
	いつも大変お世話になります。今後も宜しくお願い致します。
	弊社では月に一度、職場体験付会社説明会を実施しております。リアルに職場の雰囲気を感じることができると好評を頂いていますので学生の方へご周知頂けたらと思います。
	福祉業界は人材不足と言われ続けています。業界の問題もあるかと思いますが是非、活躍できる人材を育てて頂ければと思います。
	今後ともよろしくお願い致します。
	平素よりお世話になっております。今後とも宜しくお願い致します。
栄養学科	いつもお世話になっております。今年度、当院に入職して頂き、ありがとうございます。当院では管理栄養士が3名所属しており、すべて貴学の卒業生です。昨今、就職先に病院を選ぶ学生が減少しているようです。今後は、病院管理栄養士に対するネガティブなイメージ(病院は大変、調理業務がハード、委託会社との関わりなど)を少しでもなくすため、実習とは別に「職場体験」を通して、医療現場で活躍する管理栄養士の姿を見たり感じたりして頂きたいと思います。よろしくお願い致します。
	2024年度においても、2名の本学生に内定通知させて頂きました。今後も有望な人材を引き続きよろしくお願い致します。
	今後ともよろしくお願い致します
	保健師をお願いします。
	また機会がございましたら、宜しくお願い致します。
英語学科	2024年3月卒もまだ募集しておりますのでぜひともご紹介ください。2025年3月卒の方も早くから受け付けております。御校の卒業生は前向きに一生懸命頑張ってくれています。これからも末永くよろしくお願い致します。
	平素は大変お世話になり、ありがとうございます。これからも良いご縁が続きますよう、祈っております。
	いつもお世話になっております。引き続きよろしくお願い致します。
観光文化学科	今後とも宜しくお願い致します。
	学生さんへ大学側が親身になって対応し、自発性の高い社会人となって社会に出ているのが就職課の方とお話をしているととても感じています。社会人としてのマナーは、社会に出た際にギャップを感じる学生さんも多いので力を入れて頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。
助産別科	卒業生の恩師から、応援メッセージを頂き、本人はもちろんのこと当院で一緒に働く仲間や先輩も勇気を頂きました。心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
保育科	保育士になる方が減少している大変な職種ではありますが、小さなお子さんとの日々の保育の中でたくさんのパワーと笑顔に癒され、共に育ち合う事の出来る生きがいのある仕事であります。学生さんが誠実で笑顔で元気一杯活動出来る環境づくりをこれからも宜しくお願い致します。
	保育士不足なので学生の紹介を希望します。
	今後も情報交換をお願いします。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	<p>貴大学卒業生に関わらず、社会人基礎力が十分に養えていない学生が増えました。</p> <p>対象者に関しては、所属長に記載を依頼しました。</p>
福祉学科	<p>いつもお世話になり、ありがとうございます。</p> <p>特別支援教育については社会的ニーズが高まっています。児童生徒数が減少している最近ですが、特別支援学級・学校の児童・生徒数は増加しています。それだけニーズがあると言えます。</p>
栄養学科	<p>当院は看護学生に対しての奨学金制度がございます。興味がある学生がおりましたら、お気軽に当職までお問い合わせ下さい。</p> <p>色々な機会を声をかけて頂いて有難いと思っています。</p>
観光文化学科	<p>美容専門職という特殊採用において回答させていただきます。</p> <p>卒業後、コミュニケーション能力と対人能力があれば望ましいと思いますが、学生の方には、学生だからできることを楽しんで取り組んで頂きたいと思いません。</p>

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2022年度（令和4度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2023年度（令和5年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケートの総括とする。

▶仕事に必要な能力

<必要性と達成度>

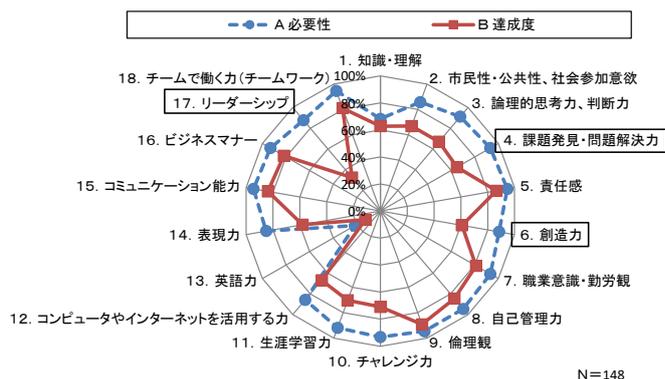
就職受け入れ先から見た、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「必要である」+「やや必要である」）、卒業生の力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）として分析し、必要性と達成度の差が最も大きい上位3つの項目には枠を付けた。

仕事上では、「1. 知識・理解」「13. 英語力」以外はどの項目も必要性が80%を超えている。

必要性に比べ、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあるが、とりわけ「17. リーダーシップ」、「4. 課題発見・問題解決力」、「6. 創造力」でその差が大きい。しかし、これらの力やスキルは、学生生活のうちに習得するというよりも、本来、社会経験を積むことで得られる要素が強いため、今後、卒業生の職場での成長に期待したい。

一方、「1. 知識・理解」、「9. 倫理観」、「5. 責任感」、「13. 英語力」などは、必要性に対する達成度のギャップが小さく、これらについては卒業生の評価が比較的高いと言える。

こうした達成度とのギャップについては、前回調査結果と同様の傾向を示していることから、在学生に対しては、リーダーシップや創造力、課題発見・問題解決力など自主性を育むような指導・取り組みを取り入れる必要があると言える。



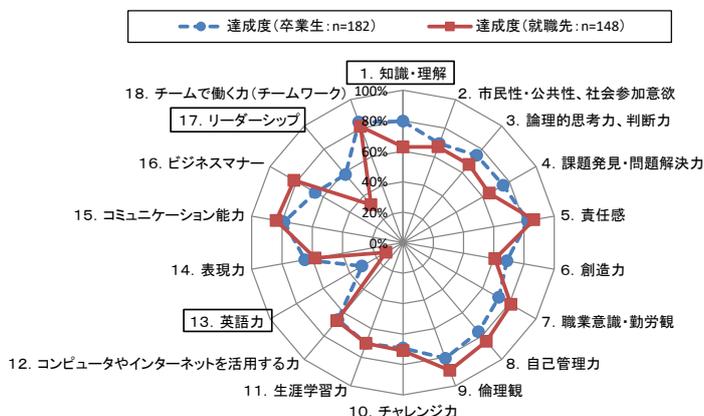
<達成度評価のギャップ（就職先と卒業生との比較）>

就職先が評価する卒業生の達成度と、卒業生本人が考える自身の達成度について比較を行った。

卒業生本人が考える自身の達成度に比べて、就職先が評価する卒業生の達成度の方が低い項目として「17. リーダーシップ」、「13. 英語力」、「1. 知識・理解」については、特にギャップが大きい。

しかしながら、就職先の評価対象であるのは2023年3月卒業生となり、卒業後1年未満と経験が浅いことを踏まえ、特に「リーダーシップ」は妥当な評価とも考えられる。今後、経験を積んでいく中で、これらの能力を伸ばしてゆけるよう期待したい。

【就職先と卒業生の達成度評価の比較】



▶採用について

＜採用時に重要視する能力＞

事業所が採用の際に重要視する能力として、「15. コミュニケーション能力」や「5. 責任感」、「18. チームで働く力 (チームワーク)」が約7割～8割と他の項目より高くなっており、特に人と連携して働いていくスキルを重視している様子がうかがえる。これらは、前回調査結果でも上位に挙げられており、常に採用の判断基準となっていると言える。また、卒業生アンケートでも大学・短期大学部で得たスキルとして上位に挙げられており、就職先が重要視している能力と大学・短期大学部で得られたスキル (達成度) が一致する。

なお、学科別にみても最も重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」と「5. 責任感」、「18. チームで働く力 (チームワーク)」の有無が重要とされていることがわかる。

また、就職先から学生に希望する資格や検定について学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」、助産別科で「助産師」、保育科で「保育士」等、当然のことながら卒業学科に応じた専門性が求められており、資格の有無が採用に大きく影響すると言える。

▶大学・短期大学部で必要な支援

大学生の人間形成に必要な支援として、「社会人マナー教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」、「一般常識教育」が上位に挙げられた。これらは前回調査でも上位に挙げられていることから、大学でも基礎的な社会人マナーや一般常識など社会に出て役立つ教育機会の充実や、社会人との交流、社会参加など、在学中に経験できるような環境づくりが必要とされている。

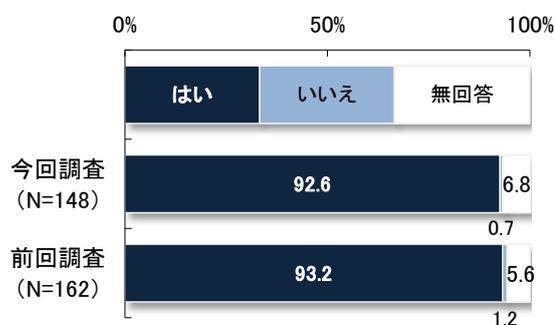
＜今後の採用について＞

今後の採用時に、本学の学生に応募機会を与えるか否かについては、9割を超える事業所が応募機会を与えると回答しており、前回調査から引き続き高い支持を得ている。

調査結果から、卒業生の仕事に必要な力やスキルに不十分な部分はあるものの、就職受け入れ先では今後も引き続き採用意向があることから、本学の学生は採用に値する一定の評価を得ているものと考えられる。

本学の卒業生が今後も事業所の期待に応え、社会に貢献できるよう、在学時からの人材育成に引き続き取り組む必要がある。

【今後の採用意向 (前回調査との比較)】



▶大学に対する意見や要望

大学に対する意見や要望について自由記述形式にて回答を得たところ、本学の卒業生に対して好評価の事業所が多く、大学に対する意見としても、インターンシップや就職説明会 (就職セミナー) などに参加する機会を設けてほしい等、採用に積極的な意見が多い。

総じて、就職先から見た本学卒業生の評価は高いものと考えられるが、就職受け入れ先では共通して、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力のある学生を求めており、大学・短期大学部においては、専門的な知識や経験、スキル等だけではなく、こうした人間形成の基礎を育む教育・指導が今後も求められていると言える。

第3章 調査票

2023(令和5)年12月

卒業生の皆さまへ

西南女学院大学
学長 浅野 嘉延

「西南女学院大学 卒業生アンケート調査」について（お願い）

拝啓 卒業生の皆様におかれましては、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、卒業生の皆様の現在の状況を確認するとともに、卒業生からの本学に対する率直なご意見やご要望をいただくことで、今後のより良い大学運営に役立てていきたいと考えております。

つきましては、年末のお忙しい時期に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力をくださいますようお願いいたします。 敬 具

1. 調査内容

西南女学院大学 卒業生アンケート調査

2. 対象者

2021年3月大学卒業生

3. アンケート用紙

別紙のとおり

4. 回答期限

2024年1月31日（水）

5. 回答方法：次のいずれかの方法でご回答ください。

- ① QRコード（本紙左下）又は下記 URL より、WEB ページで回答後、送信
<https://forms.gle/V3yjZo172M87Rad7A>
- ② 同封の返信用封筒によるアンケート票の返送
- ③ FAX によるアンケート票の返信

※このアンケート調査により得られた結果は統計的に集計し、皆様の個人的な情報が公表されることや他の目的に使用することは一切ありません。



【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835
北九州市小倉北区井堀 1-3-5
西南女学院大学 就職課
TEL (093) 583-5777
FAX (093) 583-4633

西南学院大学 卒業生アンケート調査

I. あなたご自身のことについて該当するものに○をつけてください。

1. 卒業した学科を教えてください。

1. 看護学科 2. 福祉学科 3. 栄養学科 4. 英語学科 5. 観光文化学科 6. 助産別科

2. 現在の状況を教えてください。

1. 現在、仕事をしている → IIへ進んでください 2. 現在、仕事をしていない → IVへ進んでください

II. 現在仕事をしている方におたずねします。

1. 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

2. 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

3. 現在の勤務先について○をつけてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わっていない 2. 転職した → IIIに進んでください

4. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

1. 満足している 2. どちらでもない 3. 満足していない

↓
Vに進んでください

6. II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

1. 転職(退職)を考えている 2. 転職(退職)するまではしない

↓
Vに進んでください

III. II-3で「転職した」を選択した方におたずねします。

1. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

2. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

3. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

4. 転職された時期をご記入ください。(複数回転職された場合は最初の転職についてご記入ください。)

入職後、年ヶ月目

5. 転職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生
5. 人間関係 6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性
9. 家庭の事情 10. その他()

↓
Vに進んでください

IV. 現在、仕事をされていない方におたずねします。

1. 現在の状況に○をつけてください。(複数選択可)

1. 求職中 2. 学生 3. 家事、子育て 4. その他()

2. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

3. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

4. 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生 5. 人間関係
6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性 9. 家庭の事情
10. その他()

V. 仕事をする中で感じたこと(苦勞したことや成長したことなど)をご記入ください。

(裏面につづく)

【業種・職種区分表】

A 業種	
1	農業
2	林業
3	漁業
4	鉱業、採石業、砂利採取業
5	建設業
6	製造業
7	電気・ガス・熱供給・水道業
8	情報通信業
9	運輸業
10	卸売・小売業
11	金融・保険業
12	不動産業、物品賃貸業
13	飲食業
14	宿泊業
15	一般病院
16	精神科病院
17	クリニック
18	高齢者施設
19	障がい児・者施設
20	児童施設
21	保育施設
22	教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)
23	幼稚園
24	学習支援業
25	サービス業
26	公務
27	その他()

B 職種	
1	事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)
2	販売
3	営業
4	接客
5	看護師
6	保健師
7	助産師
8	医療ソーシャルワーカー
9	相談員
10	精神保健福祉士
11	支援員・指導員
12	介護職
13	保育士
14	管理栄養士
15	栄養士
16	幼稚園教諭
17	養護教諭
18	英語教諭
19	公務員
20	その他()

VI. 西南女学院大学で受けた教育について教えてください。

①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、()内に具体的内容をご記入ください。

	A 達成度 西南女学院大学で 得た力やスキル				B 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				C 能力やスキルを身につけるため役立った事 (複数回答可)										
	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	役に立つ	やや役に立つ	あまり役に立たない	役に立たない	大学での講義	研究室・ゼミ活動	キャリア教育	実習・インターンシップ	留学	部活サークル 先輩や友人との交流	アルバイト	独学・専門学校	ボランティア・地域貢献活動	勤務先での研修	
1 知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができます。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2 市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができます。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3 論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができます。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4 課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5 責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6 創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7 職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8 自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9 倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10 前に踏み出す力(チャレンジ力) 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11 生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
12 コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術(ICT)を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト(エクセル・ワードなど)を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
13 英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
14 表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
15 コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
16 ビジネスマナー 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
17 リーダーシップ 周囲を鼓舞し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
18 チームで働く力(チームワーク) 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19 その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

②上記の表の1~19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、5つまでその番号をご記入ください。 ➡

VII. 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければその理由をご記入ください。

VIII. どの様な授業があれば更によかったか具体案があればご記入ください。

IX. 大学に対して講義以外でもっと支援をしてもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください(5つまで選択可)。

また、具体的な内容があればご記入ください。

1. 部活、サークル活動	2. 研究室・ゼミの活動	3. キャリア教育	4. 実習、インターンシップ	5. ボランティア活動
6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流	9. 多様な業種・職種の社会人との交流	10. キリスト教教育
11. 一般常識教育	12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育		

【具体的な内容】

X. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。

なお、今後、仕事のことなどで相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

下記の項目は差し支えない範囲でご記入ください。

氏名	住所	勤務先
	〒	
	携帯番号	- -

(個人情報保護について)ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2023(令和5)年12月

採用ご担当者様

西南女学院大学
西南女学院大学短期大学部
学長 浅野 嘉延

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査」について(お願い)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本学学生の就職に関しましては、格別のご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では、卒業生を受け入れていただいた事業者様から、本学の教育に関する評価を
いただくことで、更なる大学教育の質の向上を図り、より社会で活躍できる人材の育成に役立て
て参りたいと考えております。

つきましては、本学卒業生の評価に関するアンケート調査のご回答をお願いいたします。

ご多用中まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

敬 具

1. 調査内容

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査

2. アンケート用紙

別紙のとおり

3. 回答期限

2024年1月31日(水)

4. 回答方法

同封の返信用封筒またはFAXにて返信をお願いいたします。

メールに添付していただいても結構です。

就職課アドレス syusyoku@seinan-jo.ac.jp

※件名を 就職先アンケート【企業名】 でご送付ください。

【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835

北九州市小倉北区井堀1-3-5

西南女学院大学 就職課

TEL (093)583-5777

FAX (093)583-4633

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

アンケート対象者：2023年4月就職者 _____ 卒業生 ※在職者複数の場合、総合的評価としてご記入ください。

II. 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。
 その他を選択した場合は、()内に具体的内容を記入してください。

		A 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				B 達成度 西南女学院大学 卒業生の力やスキル					C 採用の際、 重要視する能力 上位5つに○を つけてください	
		必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	わからない		
1	知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1
2	市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	2
3	論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	3
4	課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	4
5	責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	5
6	創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
7	職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	7
8	自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	8
9	倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	9
10	前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	10
11	生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	11
12	コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	12
13	英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	13
14	表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	14
15	コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	15
16	ビジネスマナー 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	16
17	リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	17
18	チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	18
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	19

(裏面につづく)

貴事業所に関するアンケート調査

※本様式は一事業所につき
1枚ご回答ください。

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

II. 主たる業種に○をつけてください。(1つ選択)

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	
8. 情報通信業	9. 運輸業	10. 卸売・小売業	11. 金融・保険業
12. 不動産業、物品賃貸業	13. 飲食・宿泊業	14. 医療・福祉業	15. 教育・学習支援業
16. サービス業	17. 公務		

III. 従業員数に○をつけてください。

1. 従業員 5,000 人以上	2. 従業員 1,000～4,999 人	3. 従業員 100～999 人
4. 従業員 50～99 人	5. 従業員 50 人未満	

IV. 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

1. 特に必要なし

<本学で取得可能な資格・免許等>

2. 看護師	3. 保健師	4. 助産師	5. 管理栄養士
6. 栄養士	7. 社会福祉士	8. 精神保健福祉士	9. 認定心理士
10. 保育士	11. 幼稚園教諭一種免許	12. 幼稚園教諭二種免許	13. 高等学校教諭免許(看護)
14. 高等学校教諭免許(英語)	15. 中学校教諭免許(英語)	16. 養護教諭免許	17. 栄養教諭免許

<本学が取得支援している主な資格・検定等>

18. BLS	19. TOEIC	20. 実用英語技能検定	21. TOEFL
22. 観光英語検定	23. 旅行業務取扱管理者	24. 通訳案内士	25. 旅行地理検定
26. 貿易実務検定	27. 外務員(金融商品)	28. 日本語教員養成課程修了	29. 日本漢字能力検定
30. 日商簿記	31. 秘書技能検定	32. 医療請求事務検定	
33. ビジネスコミュニケーション検定	34. ビジネス能力検定	35. ビジネス実務マナー検定	36. キータッチ 2000
37. 英語ビジネス文書作成技能検定		38. コンピュータサービス技能評価試験	
39. 販売士	40. 色彩士検定・色彩検定	41. フードコーディネーター	42. フードスペシャリスト
43. 介護職員初任者研修	44. ピアヘルパー資格	45. その他()	

V. 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

1. 部活・サークル活動	2. 研究室・ゼミナールの活動	3. キャリア教育	4. インターンシップ
5. ボランティア活動	6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流
9. 多様な業種・職種の社会人との交流		10. キリスト教教育	11. 一般常識教育
12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育	14. その他()	

VI. 採用について

1. 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。(本学卒業生と同職種の女子)

大学	大学	大学
----	----	----

2. 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

現在も在職中	人	入職1年以内に退職	人
--------	---	-----------	---

3. 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

1. はい 2. いいえ(差し支えなければその理由:)

VII. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございます。
集計結果については後日、送付させていただきます。

(個人情報保護について)ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2023 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

2024 年 6 月

発行 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部
就職課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5777
